（様式第 10）

海 大 第 ７ ２ ３ 号
令和３年１０月２８日

厚生労働大臣　　殿

北海道大学総長　寶金　清博

北海道大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和２年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒060－0808　札幌市北区北８条西５丁目
氏　　名	国立大学法人北海道大学

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

国立大学法人北海道大学　北海道大学病院

3　所在の場所

〒060－8648
札幌市北区北14条西５丁目
電話（０１１）７１６－１１６１

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科			(有)・無
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	4腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科
診療実績			

（注）1　「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2　「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科	㊀・無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科　②消化器外科　③乳腺外科　4心臓外科 5血管外科　6心臓血管外科　7内分泌外科　⑧小児外科	
診療実績	

(注) 1　「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2　「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科　②小児科　③整形外科　④脳神経外科　⑤皮膚科　⑥泌尿器科　7産婦人科
⑧産科　⑨婦人科　⑩眼科　⑪耳鼻咽喉科　⑫放射線科　⑬放射線診断科
⑭放射線治療科　⑮麻酔科　⑯救急科

(注)　標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4)歯科

歯科	㊀・無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科　2矯正歯科　3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1　「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2　「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 腫瘍内科	2 循環器外科	3 形成外科	4 リハビリテーション科	5 病理診断科	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21						

(注)　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
70床	0床	0床	0床	874床	944床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種		員数
医師	223人	305.22人	528.2人	看護補助者	121人	診療エックス線技師		0人
歯科医師	94人	59.16人	153.1人	理学療法士	17人	臨床検査技師		80人
薬剤師	73人	0人	73人	作業療法士	11人	衛生検査技師		0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	13人		その他	0人
助産師	36人	0人	36人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師		0人
看護師	985人	21.9人	1006.9人	臨床工学士	26人	医療社会事業従事者		14人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員		37人
歯科衛生士	12人	0人	12人	歯科技工士	6人	事務職員		318人
管理栄養士	7人	0人	7人	診療放射線技師	59人	その他の職員		139人

(注) 1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	66人	眼科専門医	19人
外科専門医	66人	耳鼻咽喉科専門医	14人
精神科専門医	16人	放射線科専門医	33人
小児科専門医	35人	脳神経外科専門医	14人
皮膚科専門医	11人	整形外科専門医	34人
泌尿器科専門医	15人	麻酔科専門医	28人
産婦人科専門医	15人	救急科専門医	10人
		合計	376人

(注) 1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（　秋田　弘俊　）　任命年月日　平成３１年４月１日

「医療安全管理委員会」
副病院長　平成２８年４月１日～
病院長　　平成３１年４月１日～現在に至る

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	704.60人	12.90人	717.50人
1日当たり平均外来患者数	2,285.83人	586.74人	2,872.57人
1日当たり平均調剤数			1,428剤
必要医師数			203人
必要歯科医師数			37人
必要薬剤師数			24人
必要（准）看護師数			455人

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	942m²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	8床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	［固定式の場合］　床面積　222m²　　病床数　6床 ~~［移動式の場合］　台数　　台~~					
医薬品情報管理室	［専用室の場合］　床積　13m² ~~［共用室の場合］　共用する室名~~					
化学検査室	93m²	同上	（主な設備）生化学自動分析装置			
細菌検査室	173m²	同上	（主な設備）オートクレーブ			
病理検査室	799m²	同上	（主な設備）切り出し台			
病理解剖室	208m²	同上	（主な設備）剖検台			
研究室	2,031m²	同上	（主な設備）安全キャビネット			
講義室	37m²	同上	室数	1室	収容定員	50人
図書室	136m²	同上	室数	3室	蔵書数	1,850冊程度

（注）1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		92．82%	逆紹介率	58．83%
算出根拠	A：紹介患者の数			13,343人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			9,640人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			1,866人
	D：初診の患者の数			16,386人

（注）1　「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2　「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3　A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
橋本　暁佳	札幌医科大学		医療安全に精通	無	1
萩原　正子	小樽市立病院		医療安全に精通	無	1
坂本　大蔵	ほくと総合法律事務所	○	法律に精通	無	1
高田　久	北海道信用保証協会		医師・患者関係に精通	無	2
生駒　一憲	北海道大学病院		医療を提供する者	有	3

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本学ホームページ及び本院ホームページ	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
陽子線治療	27人
細胞診検体を用いた遺伝子検査	26人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	0人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法	0人
周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法　非小細胞肺がん（CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。）	0人
テモゾロミド用量強化療法	1人
S－1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法　膵臓がん（遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。）	0人
陽子線治療　（根治切除が可能な肝細胞がん）【陽子線治療を実施する施設】	0人
腎血管筋脂肪腫に対する腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるものに限る。） 【腎血管筋脂肪腫の診断および術後治療実施施設（泌尿器科）】	2人
内視鏡的エタノール局所注入療法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

（注）1　当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2　医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	16	82	原発性胆汁性肝硬変	137
2	筋萎縮性側索硬化症	45	83	原発性硬化性胆管炎	23
3	脊髄性筋萎縮症	4	84	自己免疫性肝炎	64
4	原発性側索硬化症	1	85	クローン病	215
5	進行性核上性麻痺	21	86	潰瘍性大腸炎	362
6	パーキンソン病	306	87	好酸球性消化管疾患	3
7	大脳皮質基底核変性症	6	88	腸管神経節細胞僅少症	2
8	ハンチントン病	3	89	CFC症候群	1
9	神経有棘赤血球症	2	90	若年性特発性関節炎 旧病名（全身型若年性特発性関節炎）	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	91	先天性ミオパチー	2
11	重症筋無力症	117	92	筋ジストロフィー	26
12	多発性硬化症／視神経脊髄炎	138	93	脊髄空洞症	7
13	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	27	94	脊髄髄膜瘤	4
14	封入体筋炎	4	95	アイザックス症候群	1
15	クロウ・深瀬症候群	8	96	脳表ヘモジデリン沈着症	1
16	多系統萎縮症	34	97	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1
17	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	213	98	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1
18	ライソゾーム病	14	99	前頭側頭葉変性症	1
19	副腎白質ジストロフィー	3	100	アレキサンダー病	1
20	ミトコンドリア病	18	101	ドラベ症候群	2
21	もやもや病	164	102	ミオクロニー欠神てんかん	2
22	亜急性硬化性全脳炎	1	103	レノックス・ガストー症候群	16
23	HTLV-1関連脊髄症	4	104	ラスムッセン脳炎	1
24	全身性アミロイドーシス	26	105	レット症候群	1
25	自己貪食空胞性ミオパチー	1	106	結節性硬化症	16
26	神経線維腫症	65	107	色素性乾皮症	1
27	天疱瘡	96	108	先天性魚鱗癬	8
28	表皮水疱症	18	109	家族性良性慢性天疱瘡	1
29	膿疱性乾癬（汎発型）	12	110	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	72
30	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	111	特発性後天性全身性無汗症	3
31	高安動脈炎	61	112	マルファン症候群	8
32	巨細胞性動脈炎	19	113	ウィルソン病	16
33	結節性多発動脈炎	28	114	クルーゾン症候群	2
34	顕微鏡的多発血管炎	84	115	アペール症候群	1
35	多発血管炎性肉芽腫症	32	116	歌舞伎症候群	2
36	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	44	117	ウェルナー症候群	2
37	悪性関節リウマチ	17	118	修正大血管転位症	1
38	バージャー病	13	119	完全大血管転位症	3
39	原発性抗リン脂質抗体症候群	15	120	単心室症	6
40	全身性エリテマトーデス	748	121	三尖弁閉鎖症	3
41	皮膚筋炎／多発性筋炎	290	122	ファロー四徴症	2
42	全身性強皮症	178	123	両大血管右室起始症	2
43	混合性結合組織病	59	124	アルポート症候群	1
44	シェーグレン症候群	553	125	急速進行性糸球体腎炎	4
45	成人スチル病	30	126	抗糸球体基底膜腎炎	3
46	再発性多発軟骨炎	12	127	一次性ネフローゼ症候群	98
47	ベーチェット病	265	128	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	5
48	特発性拡張型心筋症	146	129	紫斑病性腎炎	12
49	肥大型心筋症	80	130	先天性腎性尿崩症	3
50	拘束型心筋症	1	131	間質性膀胱炎（ハンナ型）	14
51	再生不良性貧血	49	132	オスラー病	17
52	自己免疫性溶血性貧血	6	133	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	4
53	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4	134	α1－アンチトリプシン欠乏症	2
54	特発性血小板減少性紫斑病	115	135	副甲状腺機能低下症	2
55	血栓性血小板減少性紫斑病	1	136	偽性副甲状腺機能低下症	2
56	原発性免疫不全症候群	65	137	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	14
57	IgA 腎症	62	138	グルタル酸血症1型	1
58	多発性嚢胞腎	204	139	リジン尿性蛋白不耐症	1
59	黄色靭帯骨化症	6	140	複合カルボキシラーゼ欠損症	2
60	後縦靭帯骨化症	174	141	肝型糖原病	2
61	広範脊柱管狭窄症	7	142	家族性地中海熱	18
62	特発性大腿骨頭壊死症	174	143	強直性脊椎炎	43
63	下垂体性ADH分泌異常症	63	144	骨形成不全症	1
64	下垂体性TSH分泌亢進症	7	145	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	2

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

65	下垂体性PRL分泌亢進症	21	146	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	1
66	クッシング病	36	147	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
67	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	122	148	後天性赤芽球癆	1
68	下垂体前葉機能低下症	367	149	自己免疫性出血病XIII	2
69	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	3	150	クロンカイト・カナダ症候群	6
70	先天性副腎皮質酵素欠損症	38	151	総排泄腔遺残	2
71	先天性副腎低形成症	1	152	胆道閉鎖症	11
72	アジソン病	4	153	IgG4関連疾患	21
73	サルコイドーシス	304	154	黄斑ジストロフィー	8
74	特発性間質性肺炎	73	155	若年発症型両側性感音難聴	1
75	肺動脈性肺高血圧症	64	156	好酸球性副鼻腔炎	30
76	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1	157	進行性白質脳症	1
77	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	60	158	三頭酵素欠損症	1
78	リンパ脈管筋腫症	34	159	シトリン欠損症	1
79	網膜色素変性症	49	160	遺伝性自己炎症疾患	2
80	バッド・キアリ症候群	2	161	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	6
81	特発性門脈圧亢進症	3	162	特発性多中心性キャッスルマン病	15

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料（一般は7対1） 特定機能病院入院基本料（精神13対1）	・ハイリスク分娩管理加算
・臨床研修病院入院診療加算　1基幹型	・呼吸ケアチーム加算
・救急医療管理加算1及び2	・後発医薬品使用体制加算1
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・医師事務作業補助体制加算1	・データ提出加算2
・急性期看護補助体制加算25対1（看護補助者5割以上）	・入退院支援加算2
・夜間100対1急性期看護補助体制加算	・認知症ケア加算2
・夜間看護体制加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護職員夜間12対1配置加算1	・精神疾患診療体制加算
・看護補助加算2	・精神科急性期医師配置加算
・療養環境加算	・排尿自立支援加算
・重症者等療養環境特別加算	・特定集中治療室管理料2
・無菌治療室管理加算1及び2	・特定集中治療室管理料2（小児加算）
・緩和ケア診療加算	・特定集中治療室管理料2（早期離床・リハビリテーション加算）
・精神科応急入院施設管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料 （母体・胎児集中治療室管理料）
・精神科リエゾンチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料 （新生児集中治療室管理料）
・摂食障害入院医療管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医療安全対策加算1	・小児入院医療管理料2
・感染防止対策加算1	・小児入院医療管理料2（プレイルーム加算）
・感染防止対策地域連携加算	・
・抗菌薬適正使用支援加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・医療機器安全管理料1
・喘息治療管理料	・医療機器安全管理料2
・糖尿病合併症管理料	・精神科退院時共同指導料1及び2
・がん性疼痛緩和指導管理料	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
・がん患者指導管理料イ	・在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料
・がん患者指導管理料ロ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ハ	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・がん患者指導管理料ニ	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定
・外来緩和ケア管理料	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
・移植後患者指導管理料（臓器移植後）	・骨髄微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）	・BRCA1／2遺伝子検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・小児運動器疾患指導管理料	・遺伝学的検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・先天性代謝異常症検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）
・腎代替療法指導管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・外来放射線照射診療料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
・ニコチン依存症管理料	・検体検査管理加算（Ⅳ）
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	・国際標準検査管理加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・遺伝カウンセリング加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・がん治療連携計画策定料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・外来排尿自立指導料	・胎児心エコー法
・薬剤管理指導料	・ヘッドアップティルト試験

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工膵臓検査、人工膵臓療法	・乳房MRI撮影加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・小児鎮静下MRI撮影加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・脳磁図（その他のもの）	・外来化学療法加算1
・脳磁図（自発活動を測定するもの）	・無菌製剤処理料
・脳波検査判断料1	・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
・遠隔脳波診断	・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
・神経学的検査	・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
・補聴器適合検査	・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
・黄斑局所網膜電図	・各種リハビリテーション初期加算
・全視野精密網膜電図	・摂食機能療法の注3に掲げる摂食嚥下支援加算
・ロービジョン検査判断料	・がん患者リハビリテーション料
・小児食物アレルギー負荷検査	・救急患者精神科継続支援料
・内服・点滴誘発試験	・認知療法・認知行動療法1
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）	・精神科作業療法
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・CT透視下気管支鏡検査加算	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・経気管支凍結生検法	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）
・画像診断管理加算1	・医療保護入院等診療料
・画像診断管理加算2	・硬膜外自家血注入
・ポジトロン断層撮影	・エタノールの局所注入（甲状腺）
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・エタノールの局所注入（副甲状腺）
・コンピュータ断層撮影（CT）	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・磁気共鳴コンピュータ断層撮影（MRI）	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・冠動脈CT撮影加算	・磁気による膀胱等刺激法
・心臓MRI撮影加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・センチネルリンパ節加算	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・皮膚移植術（死体）	・肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る。）
・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））	・食道縫合術（穿孔、損傷に内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、等
・後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・椎間板内酵素注入療法	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・腫瘍脊椎骨全摘術	・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
・頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）	・胸腔鏡下弁形成術
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下弁置換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便失禁）	・経皮的僧帽弁クリップ術
・角膜移植術（内皮移植加算）	・不整脈手術（左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）に限る。）
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
・網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）	・両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）
・網膜再建術	・両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）	・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（心筋電極の場合）
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）	・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）	・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・補助人工心臓

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型補助人工心臓（非拍動流型）	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・同種心移植術	・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・経皮的下肢動脈形成術	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）	・生体腎移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）	・膀胱水圧拡張術
・ダメージコントロール手術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・胃瘻造設術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下腟式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
・同種死体肝移植術	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・無心体双胎焼灼術
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・胎児輸血術
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・輸血管理料Ⅰ
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術	・麻酔管理料（Ⅰ）
・腹腔鏡下小切開腎摘出術	・麻酔管理料（Ⅱ）
・腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	・放射線治療専任加算

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来放射線治療加算	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・高エネルギー放射線治療	
・強度変調放射線治療（IMRT）	
・画像誘導放射線治療（IGRT）	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・粒子線治療	
・粒子線治療適応判定加算	
・粒子線治療医学管理加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・保険医療機関間の連携による病理診断	
・病理診断管理加算2	
・悪性腫瘍病理組織標本加算	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	約100回/年
剖検の状況	剖検症例数　14例　／　剖検率　2.03 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）　高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1　研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づくBRCA変異を有する胆道がんに対する医師主導治験	川本　泰之	腫瘍センター	66,825,150	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構理事長
進行期乳房外パジェット病に対するエリブリン単剤療法	柳　輝希	皮膚科	5,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
水疱性類天疱瘡の発症機序の解明と発症リスク因子の同定	氏家　英之	皮膚科	10,150,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構理事長
表皮水疱症の治療最適化戦略	夏賀　健	皮膚科	6,570,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構理事長
新型コロナウィルス感染症の唾液診断	豊嶋　崇徳	検査・輸血部	769,230	補委	公益社団法人日本医師会
希少がんに対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTER KEY Protocol)	秋田　弘俊	腫瘍内科	7,692,307	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
札幌市児童精神科医療提供体制構築・運用に関する共同研究事業	齊藤　卓弥	児童思春期精神医学研究部門	2,300,000	補委	札幌市
遺伝性間質性肺疾患等の遺伝子検査に関する報告書作成支援	長　和俊	周産母子センター	183,348	補委	公益財団法人かずさDNA研究所
HER2陽性の切除不能または再発胆道がんに対するDS-8201aの医師主導治験に付随するトランスレーショナル業務	川本　泰之	腫瘍センター	880,000	補委	国立研究開発法人国立がん研究センター
国内唯一:カダバーラボで医療機器開発が可能な拠点	七戸　俊明	消化器外科Ⅱ	19,998,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脳梗塞に対する再生医療等製品の実用化に向けた自動細胞培養による新規製法の確立及び周辺技術の開発	川堀　真人	神経細胞治療研究部門	22,454,248	補委	経済産業省
新規医療技術の持続的創出を実現するオープンアクセス型拠点形成	佐藤　典宏	臨床研究開発センター	95,338,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
安全性確保に立脚した新規医療技術開発推進に関する研究	佐藤　典宏	臨床研究開発センター	177,295,847	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
中央IRB促進事業	佐藤　典宏	臨床研究開発センター	1,800,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
臨床研究総合促進事業:臨床研究・治験従事者等に対する研修プログラム	佐藤　典宏	臨床研究開発センター	12,000,000	補委	厚生労働省
臨床研究総合促進事業:先進医療等実用化促進プログラム	佐藤　典宏	臨床研究開発センター	10,428,000	補委	厚生労働省
正常血管に作用しない悪性腫瘍特異的血管新生阻害剤のハイスループットスクリーニング	樋田 泰浩	地域医療連携福祉センター	3,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高分解能PET装置を用いた冠動脈プラーク炎症病変の可視化と心筋梗塞発症の機序解明	納谷　昌直	循環器内科	3,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
呼吸器上皮に存在するM細胞の生理的・病理的条件における機能の解明	乃村　俊史	皮膚科	5,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
易傷害性肝グラフトの至適体外灌流法と非侵襲的グラフト機能評価法の開発	嶋村　剛	臓器移植医療部	6,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IgG4-IgE複合体の病態における意義の解明	中野　恵一	検査・輸血部	480,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
mCIMを応用したカルバペネマーゼおよびESBL、AmpC型βラクタマーゼの同時検出法の開発	岩崎 澄央	検査・輸血部	480,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
左室駆出率の保たれた心不全患者における心筋線維化、左室拡張機能、運動耐容能の関連	岩野 弘幸	循環器内科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
MRIによる頭頸部癌の生物学的特性の画像化と人工知能による予後予測モデル開発	藤間 憲幸	放射線診断科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌との共通メカニズムに基づく肝芽腫の新規分子診断・治療開発	本多 昌平	消化器外科Ⅰ	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小腸由来αディフェンシンによる腸内細菌叢制御機構に着目した心不全の進展機序解明	横田 卓	臨床研究開発センター	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
光遺伝学を用いた心室細動誘発におけるプルキンエ線維網-心筋接合部の役割の解明	渡邉 昌也	循環器内科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺癌組織系の違いによるNumbの肺癌増殖に対する機能について	榊原 純(小西純)	内科Ⅰ	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
紫外線皮膚障害と癌化におけるミトコンドリア分裂関連分子の機能解析	柳 輝希	皮膚科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
外傷急性期の線溶亢進から線溶抑制への病態解明	早川 峰司	救急科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膀胱がんサバイバーの患者立脚型アウトカムを適切に測定できるQOL評価法の確立	大澤 崇宏	泌尿器科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎移植における慢性抗体関連型拒絶反応の早期診断法の開発	堀田 記世彦	泌尿器科	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高悪性度唾液腺癌に対する網羅的遺伝子解析による新規治療標的分子の発見	加納 里志	耳鼻咽喉科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病の脈絡膜厚調節に対するVEGF-αB-クリスタリン系の関与	加瀬 諭	眼科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
造血幹細胞移植患者のQOL改善に直結する薬剤性味覚障害のメカニズム解明	阿部 貴惠	高齢者歯科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害剤を用いたH. suis感染胃リンパ腫抑制効果の検討	山本 幸司	先進消化器がん分子標的治療・予防学研究部門	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規血管作動性物質の動脈硬化促進機序の解明と虚血性心疾患のバイオマーカーへの応用	佐藤 健吾	検査・輸血部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症の認知機能障害に対する新規の聴知覚・視知覚訓練の開発と改善効果の検討	豊巻 敦人	精神科神経科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IMPTを用いた「辛くない」頭頸部癌放射線治療法の開発	安田 耕一	放射線治療科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
陽子線治療におけるパラメトリックDVH予測モデルの構築と治療高度化の試み	高尾 聖心	放射線治療科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
羊膜由来間葉系幹細胞を用いた放射線性口内炎の治療法の開発	結城 敏志	消化器内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
レポーターアッセイによる新規・大規模抗HBV薬スクリーニング系を用いた薬剤開発	須田 剛生	消化器内科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア心筋症の新規診断法の確立	武田 充人	小児科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自己免疫疾患における補体の新たな働きの解明	岩田 浩明	皮膚科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
単球で合成されるプロトロンビンが関与する抗リン脂質抗体産生機序の解明	藤枝 雄一郎	内科Ⅱ	900,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト化マウスによる難治性胆汁うっ滞性疾患と移植後HLA抗体の病態解明と治療法開発	後藤 了一	消化器外科Ⅰ	1,300,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
増殖型レトロウイルスベクターを用いた胆道癌に対する新規遺伝子治療の開発	岡村 圭祐	消化器外科Ⅱ	1,100,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
低悪性度神経膠腫に対する蛍光診断:ポルフィリン代謝分子に対する機能解析	山口 秀	脳神経外科	1,300,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
後縦靭帯骨化症における肥満/耐糖能異常に関連する遺伝素因と環境因子の探索	遠藤 努	整形外科	700,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
手掌腱膜の繊維化における炎症増幅回路活性化分子の解析	松井 雄一郎	整形外科	1,200,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
新規免疫チェックポイント分子B7H3経路による子宮体癌転移能獲得の分子基盤解明	井平 圭	婦人科	1,000,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
卵巣がんの血管新生阻害薬耐性の発生を予防するためのCCR2阻害薬併用療法の開発	三田村 卓	婦人科	400,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
ぶどう膜炎における上皮増殖因子受容体依存性局所炎症増幅回路の検討	南場 研一	眼科	1,100,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
根面う蝕の撲滅を目指して！バイオミメティック法を用いたセメント質強化法の確立	田中 佐織	口腔総合治療部	1,400,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
睡眠時ブラキシズムに影響する測定環境要因の解明ー真のブラキシズム発現数を求めて	三上 紗季	高次口腔医療センター	900,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
一軸配向化高靭性合成コラーゲンゲル繊維束の生体内再構築に関する適応制御機序の解明	近藤 英司	スポーツ医学診療センター	1,100,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
エピジェネティクス機構によるDNA修復機構制御を標的とした新たな癌治療法の開発	菊地 英毅	内科Ⅰ	1,000,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
SWI/SNF異常を有する固形がんに対するEZH2阻害療法の最適化	木下 一郎	がん遺伝子診断部	1,200,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
マイクログリア、免疫・炎症因子異常からみた統合失調症の精神刺激薬モデル研究	伊藤 侯輝	精神科神経科	1,400,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎、新規診断マーカー・治療標的としての糖鎖修飾解析	小川 浩司	消化器内科	1,300,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト羊膜MSCが持つ新規抗炎症物質の同定ならびに治療効果の検討	山本 桂子	光学医療診療部	1,100,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
シクロフィリンDをターゲットとしたANCA関連血管炎の新規治療開発	中沢 大悟	血液浄化部	1,300,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
多発性嚢胞腎進展に対するアミノ酸の関与と治療法の解明	西尾 妙織	内科Ⅱ	1,500,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
難治性白血病発症機序の解明	小野澤 真弘	臨床研修センター	1,000,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
オートファジー受容体オプチニューリンを標的とした新しい関節破壊制御法の開発	加藤 将	内科Ⅱ	1,100,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
補体異常を介する自己免疫性自閉症モデルマウスの作成	奥 健志	内科Ⅱ	900,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会
癌幹細胞におけるエネルギー代謝の制御と化学・放射線療法感受性に関する基礎的研究	蒲池 浩文	消化器外科Ⅰ	1,300,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
胆道悪性腫瘍に対するアミノレブリン酸の有用性実証のための探索的研究	田中 公貴	消化器外科Ⅱ	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム・遺伝子変異プロファイル解析を用いた膵癌における新規治療戦略の構築	浅野 賢道	消化器外科Ⅱ	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頭部外傷特異的な免疫応答と二次性感染症におけるインフラマソーム制御機構の解明	和田 剛志	救急科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷急性期に対する間葉系幹細胞静脈投与に対する脊髄腸相関に関する研究	関 俊隆	脳神経外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳出血慢性期モデルに対する幹細胞とScaffold合剤の有効性評価	川堀 真人	神経細胞治療研究部門	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗炎症性マクロファージ由来因子と骨関連細胞に着目した新規骨粗鬆症メカニズムの解明	高橋 大介	整形外科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ANCA関連血管炎性中耳炎における好中球細胞外トラップの役割と臨床応用	森田 真也	耳鼻咽喉科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
低酸素応答システム活性化薬剤を用いた下肢慢性創傷の新治療	大澤 昌宏	形成外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
"舌の老い"とは？エピジェネティクスの視点からオーラルフレイルに迫る	浮田 真由美	冠橋義歯補綴科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
力学・機能評価による最適化アタッチメントに基づくインプラント支持部分床義歯の構築	野川 敏史	予防歯科	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子情報に基づいたインプラント周囲炎の画期的治療法の開発	堀内 留美	義歯補綴科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
唾液中の炎症サイトカイン測定による新しいインプラント予後評価法の開発	石川 誠	高次口腔医療センター	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん幹細胞血管ニッチを標的とした口腔がん治療への応用	佐藤 千晴	口腔内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SLC46A1新規変異を有した遺伝性葉酸吸収不全症に関する研究	野川 奈津子	小児・障害者歯科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性グリオーマに対するケモタキシスを応用した細胞誘殺療法の研究	茂木 洋晃	脳神経外科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
本邦の小児～若年成人骨髄異形成症候群における先天性素因と臨床像の解明	平林 真介	小児科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CDDP耐性肝芽腫におけるメチル化異常の解明と新規治療法の探求	荒(和田)桃子	消化器外科Ⅰ	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
老化促進マウスにおける敗血症関連脳障害の機序－神経炎症からの検討－	千野 晃嗣	麻酔科	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網脈絡膜組織に対する網膜色素上皮由来胎盤成長因子の保護効果	安藤 亮	眼科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
世界初！ナノセラミクス配合ヒトコラーゲンによる安心安全な歯周組織再生法	西田 絵利香	歯周・歯内療法科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
デジタル半導体PET装置による被曝低減・定量精度向上を担保した画像構築法の開発	孫田 惠一	放射線部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シクロオキシゲナーゼ2選択的阻害薬がシスプラチン起因性腎障害に与える影響の検討	齋藤 佳敬	薬剤部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フローサイトメトリーによるヒト流血中活性化血小板の検出法の確立	安本 篤史	検査・輸血部	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Advanced dynamic statistical parametric mapping to identify minimum epileptogenic lesion for seizure freedom	中島 翠	小児科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波内視鏡下針生検による膵臓癌腫瘍内細菌叢の検出可能性の研究	川本 泰之	消化器内科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
4D Flow-MRIを用いた大動脈弁置換術後合併症予測指標に関する研究	神谷 究	循環器内科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症の新規治療法の開発	永井 礼子	小児科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
制御性T細胞に着目した新規乾癬マウスモデルの作製と治療応用	氏家 韻欣	皮膚科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
吸入麻酔薬の血中および脳内濃度の簡便な測定法の開発と臨床への応用	長谷 由理	歯科麻酔科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肥満モデルマウスにおける術後認知機能障害の検討ー機序およびその予防ー	内田 洋介	麻酔科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いたATRX変異神経膠腫におけるテロメア伸長機構の解明	伊師 雪友	脳神経外科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎癌転移における腫瘍血管内皮細胞ーがん細胞クラスターの役割解明	菊地 央	泌尿器科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
母体環境化学物質曝露が児の性分化に与える影響と遺伝子多型による修飾	今 雅史	泌尿器科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
妊娠・出産に伴う血中ケトン体の役割：胎児の成長と産後うつ病の回避	馬詰 武	産科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IL-12による好酸球性副鼻腔炎の病態制御機構の解明	中薗 彬	耳鼻咽喉科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子解析による鼻副鼻腔悪性黒色腫新規治療標的分子の同定	対馬 那由多	耳鼻咽喉科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
バイオインフォマティクスアプローチによる後天性中耳真珠腫シグナル伝達機構の解析	福田 篤	耳鼻咽喉科	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メラノーマ転移動物モデルにおける低酸素ストレス応答の解析	草島 英梨香	形成外科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HIF-PH阻害剤を用いた顔面神経麻痺治療～神経再生促進と表情筋萎縮防止の二刀流	三浦 隆洋	形成外科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔内で長期間の薬剤徐放を実現する新規な薬剤キャリアガラスフィラーの開発	成徳 英理	歯冠修復科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ニューラルネットワーク応用によるブラキシズムパワー値推定システム構築への挑戦	中島 利徳	冠橋義歯補綴科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍血管の異常性獲得に乳酸アシドーシスが及ぼす影響の検討	北條 敬之	歯科麻酔科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
"はがせる"新規歯科矯正用接着材の開発	中西 康	矯正歯科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高難度新規手術に対するハイブリッドシミュレーション修練モデルの実証研究	渡邊 祐介	臨床研究開発センター	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小細胞肺癌におけるDLL3の機能及び遺伝子異常の検討	古田 恵	内科Ⅰ	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
拡散尖度画像による、躁うつ病と大うつ病患者の大脳白質構造差異について	成田 尚	精神科神経科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
免疫治療における効果予測・評価のための低酸素イメージングバイオマーカーの確立	渡邊 史郎	核医学診療科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児特発性ネフローゼ症候群治療における耐糖能異常の病態解明	高橋 俊行	臨床研究開発センター	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
BET阻害によるDNA損傷修復阻害効果を用いた新たな肺癌治療の開発	高島 雄太	内科Ⅰ	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症喘息におけるエンドタイプと増悪の関連性についての検討	木村 孔一	内科Ⅰ	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性移植片対宿主病と肝類洞閉塞症候群に対する線維化特異的バイオマーカーの開発	大東 寛幸	血液内科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ニューロメジンB受容体拮抗薬はクッシング病の新規治療薬となるか	亀田 啓	内科Ⅱ	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵β細胞における細胞内代謝変化に着目した糖尿病病態の解明	野本 博司	内科Ⅱ	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
直腸癌術前化学放射線療法前後の免疫担当細胞のプロファイリングに関する基礎的研究	吉田 雅	消化器外科Ⅰ	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症における細胞外DNA分解に対する血漿中DNaseの役割と補充効果の検証	吉田 知由	集中治療部	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性大腿骨頭壊死症の発生・圧潰と自然免疫異常の関連	清水 智弘	整形外科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢神経再生に至適な線維芽細胞の同定	遠藤 健	整形外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
成長板軟骨損傷後の修復過程におけるケモカインCCR7/CCL21の果たす役割	松岡 正剛	整形外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SIRT1を介した時計遺伝子によるアレルギー性鼻炎病態制御の解明	本間 あや	耳鼻咽喉科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
機能的MRIを用いた痛覚過敏型ドライアイの新しい分類と診断法の確立	田川 義晃	眼科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
羊膜由来間葉系幹細胞を用いた糖尿病足病変の感染制御	北條 正洋	形成外科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Breakthrough in Oncoplastic Skin Surgery	石川 耕資	形成外科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
う蝕象牙質に対する修復治療の予後向上を目指した多面的基礎研究	松本 真理子	歯冠修復科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体活性を付与したジルコニア開発による持続可能なインプラント治療確立への挑戦	伊藤 達郎	義歯補綴科	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児の口腔と腸内の細菌叢は自閉スペクトラム症に関連しているか	豊田 有希	小児・障害者歯科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
在宅療養する医療的ケア児の口腔に存在するリスク評価と新たな口腔管理システムの開発	高井 理人	小児・障害者歯科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内在性線維芽細胞・基質複合体被覆下における液性因子処理移植腱再構築促進の機序解明	後藤 佳子	整形外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
手洗いの除菌によりカルバペネム耐性緑膿菌を激減させる革新的手法の開発と基礎的研究	石黒 信久	感染制御部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
画期的マウスモデルを用いた皮膚免疫寛容の破綻機序の解明	氏家 英之	皮膚科	3,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Break-induced replicationによる遺伝子変異消失機構の解明	乃村 俊史	皮膚科	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
BET阻害による非相同末端結合機構抑制効果を用いた新しい肺癌治療の開発	高島 雄太	内科Ⅰ	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小細胞肺癌におけるDLL3の機能及び遺伝子異常の検討	古田 恵	内科Ⅰ	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔内病変を生じた類天疱瘡患者の唾液中自己抗体の病原性解析	和田 麻友美	口腔内科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
M. abscessus group に対するRifabutinの抗菌作用	鎌田 啓佑	内科Ⅰ	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
もやもや病の病因探索;iPS細胞由来の血管内皮細胞と血管平滑筋細胞の共培養モデル	東海林 菊太郎	脳神経外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝浸潤リンパ球の網羅的解析を応用したNAFLD肝細胞癌に対する革新的治療法の開発	坂本 譲	消化器外科Ⅰ	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シスプラチン耐性肺癌における免疫プロテアソーム阻害剤治療の開発	庄司 哲明	内科Ⅰ	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ぶどう膜炎におけるリン脂質酸化物の動態と網膜障害軽症化の試み	長谷 敬太郎	眼科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カーボンナノホーンをDDSキャリアとするインプラント周囲炎への革新的治療法の開発	前田 由佳利	義歯補綴科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヘリコバクター・ピロリの薬剤耐性モニタリングと除菌戦略の立案	杉山 敏郎	先進消化器がん分子標的治療・予防学研究部門(消化器内科)	3,000,000	補委	厚生労働省
新型コロナパンデミック下の造血幹細胞移植ドネーションを推進するためのシステム改革のための研究	豊嶋 崇徳	検査・輸血部	16,021,539	補委	厚生労働省
滑膜肉腫に対するレチノイン酸代謝を介した新規治療ターゲットの探索	松岡 正剛	整形外科	400,000	補委	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
腫瘍血管の異常性亢進に着目した膀胱癌の新規治療法開発	菊地 央	泌尿器科	400,000	補委	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
北海道内の超急性期脳梗塞カテーテル治療体制の包括的解析	東海林 菊太郎	脳神経外科	400,000	補委	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
新規ケモカインレセプター抗体による肝外胆管癌治療法の開発	中西 喜嗣	消化器外科Ⅱ	1,600,000	補委	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
国内唯一:カダバーラボで医療機器開発が可能な拠点	佐藤 典宏	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	19,998,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脳梗塞に対する再生医療等製品の実用化に向けた自動細胞培養による新規製法の確立及び周辺技術の開発	川堀 真人	神経細胞治療研究部門	22,454,248	補委	経済産業省
幹細胞輸送時の性能を向上させる足場材開発	川堀 真人	神経細胞治療研究部門	5,000,000	補委	公益財団法人JKA
リン酸化プルラン複合物を用いた頭蓋低再建材料の開発補助事業	茂木 洋晃	脳神経外科	5,000,000	補委	公益財団法人JKA
椎間板再生治療における組織修復材の開発	須藤 英毅	整形外科	51,884,796	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
非血縁者間末梢血幹細胞移植における新規慢性GVHD予防法と持続型 G-CSFによる幹細胞動員の開発研究	豊嶋 崇徳	血液内科	5,550,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
動体追跡技術を発展させ、がん標的の3次元的形状と位置の時間的変化を把握する実体適合陽子線治療(Real-world Adaptive Proton Beam Therapy)システムの非臨床POC取得	清水 伸一	放射線治療科	49,555,231	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
末梢神経の軸索再生を支える細胞機構と接着因子の解明	角家 健	整形外科	20,962,313	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多系統萎縮症の自然歴と新規バイオマーカー開発に関する研究	矢部 一郎	神経内科	9,630,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
酸素の安定同位体O-17標識水による筋萎縮性側索硬化症の早期診断MRI	工藤 與亮	放射線診断科	64,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
シスプラチンを含む化学療法を施行される子宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果 ープラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験	渡利 英道	婦人科	8,580,100	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
小児急性リンパ性白血病に対する標準的治療法の確立:フォローアップ課題	真部 淳	小児科	7,194,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
血清・肝組織の網羅的グライコミクス等による、肝線維化の病態を効率的に評価・予後予測するバイオマーカーの探索	坂本 直哉	消化器内科	15,115,385	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
量子線手術(クオンタム・ビーム・サージェリー)と放射線照射後手術における治療術中の迅速な判断・決定を支援するための診断支援機器・システム開発	清水 伸一	放射線治療科	9,707,693	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発に関する研究	本間 明宏	耳鼻咽喉科	12,600,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
混合性腰部脊柱管狭窄症に対する高純度同種間葉系幹細胞(REC)を用いた新規治療法の開発	須藤 英毅	整形外科	15,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高純度同種間葉系幹細胞(REC)と硬化性ゲルを用いた腰部脊柱管狭窄症に対する細胞治療	須藤 英毅	整形外科	19,920,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
バイオマテリアルを用いたがんの不均一性制御の研究開発	田中 伸哉	病理診断科	8,800,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
T細胞細胞内代謝に注目した全身性エリテマトーデスの病態解明	河野 通仁	内科II	10,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
基盤研究C:末梢血エクソームRNA解析による閉塞性肺疾患の類似性・相違点・合併病態の解明	鈴木 雅	内科I	0	補委	日本学術振興会
基盤研究C:喘息-COPDオーバーラップ病態におけるIL-33/ST2シグナルの役割の解明	鈴木 雅	内科I	1,200,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):抗リン脂質抗体による中枢神経障害メカニズムの解明	渥美 達也	内科II	6,600,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:Effects of fish consumption on clinical response to targeted therapies in Japanese and Spanish patients with rheumatoid arthritis	Amengual Olga(アメングアル オルガ)	内科II	1,100,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:グルコキナーゼの制御による膵β細胞量調節メカニズムの解明	中村 昭伸	内科II	700,000	補委	日本学術振興会
若手研究:精神神経ループス発症の分子機序と新規治療の開発:ミクログリアの細胞型分化機構	河野 通仁	内科II	1,300,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):肝硬変の組織学的進展・軽快を担う間質微小環境因子の包括的解析	坂本 直哉	消化器内科	3,900,000	補委	日本学術振興会
挑戦的研究(萌芽):肝組織間質蛋白の糖鎖修飾構造を標的とした肝線維化に対する糖鎖創薬の基盤形成	坂本 直哉	消化器内科	2,500,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:羊膜由来間葉系幹細胞がもつEPA-レゾルビン産生と早産予防効果の検討	大西 俊介	消化器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:B型肝炎ウイルス宿主制限因子を標的とした新規抗ウイルス治療の開発	森川 賢一	消化器内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
若手研究:新規生体吸収性シートを用いた内視鏡的絆創膏の開発	大野 正芳	消化器内科	1,200,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
基盤研究(B):左室駆出率が保持された心不全に対する個別化医療を目指した多分野融合研究	安斉 俊久	循環器内科	6,800,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:大規模臨床データを用いたアジア欧米間心不全診療の実態の解明と国際リスクモデルの開発	永井 利幸	循環器内科	500,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):GVHDによる腸内フローラ異常の網羅的解析と治療法の開発	豊嶋 崇徳	血液内科	3,100,000	補委	日本学術振興会
挑戦的研究(萌芽):R-Spondinによる肝幹細胞を標的とした造血幹細胞移植後肝傷害の治療開発	豊嶋 崇徳	血液内科	2,000,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:CRISPRスクリーニングによるT/NK細胞性リンパ腫の網羅的分子標的同定	中川 雅夫	血液内科	900,000	補委	日本学術振興会
若手研究:がん患者末梢血浮遊DNAの全身性炎症反応への役割の解明	野口 卓郎	腫瘍内科	800,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):DGKα/ζを標的とした消化器がんに対する次世代免疫療法の開発研究	武冨 紹信	消化器外科Ⅰ	4,300,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:全ゲノム解析とCRISP/Cas9を応用した大腸癌肝転移に対する新規治療戦略	本間 重紀	消化器外科Ⅰ	900,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):増殖型レトロウイルスを用いた遺伝子治療を応用した膵癌の新規治療戦略	平野 聡	消化器外科Ⅱ	3,500,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:膵癌の浸潤・増殖を阻害する細胞膜透過性ペプチドを応用した新規治療法の開発	中村 透	消化器外科Ⅱ	1,000,000	補委	日本学術振興会
挑戦的研究(萌芽):培養細胞上の糖鎖抗原変化と自家細胞移植における免疫応答発生機序の解明	岩崎 倫政	整形外科	2,200,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):免疫グロブリン様受容体(IgLR)分子群を標的とした次世代骨吸収抑制薬の開発	高畑 雅彦	整形外科	1,700,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:老化促進モデルマウスを用いた術後高次脳機能障害ならびに認知症への麻酔・手術の影響	森本 裕二	麻酔科	1,100,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):内臓脂肪の潜在能力:循環と免疫賦活におけるhyper 2-way player	山本 有平	形成外科	4,600,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:羊膜由来幹細胞の大いなる可能性～理想的な乳房再建を目指して	舟山 恵美	形成外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:頭部外傷特異的な免疫応答と二次性感染症におけるインフラマソーム制御機構の解明	和田 剛志	救急科	1,400,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):Bassoon proteinopathyの病態解析研究	矢部 一郎	神経内科	5,100,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):Glycer-AGEによる網膜神経病態の機序解明と糖尿病網膜症に対する創薬	石田 晋	眼科	3,700,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:糖尿病網膜症における不飽和アルデヒドアクロレインの網膜グリア細胞活性化機構	野田 航介	眼科	1,200,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:コンピュータ分子設計PAI-1阻害薬を用いたぶどう膜炎モデル軽症化の検討	岩田 大樹	眼科	1,100,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:好酸球性副鼻腔炎新規治療開発ためのSIRT1活性化剤の基礎的研究	中丸 裕爾	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委	日本学術振興会
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)):細胞内亜鉛とTGF-βシグナル制御による好酸球性副鼻腔炎の新規治療法の開発	鈴木 正宣	耳鼻咽喉科	0	補委	日本学術振興会
若手研究:好酸球性副鼻腔炎におけるSIRT1によるサイトカイン発現制御機序の解明	鈴木 正宣	耳鼻咽喉科	600,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
若手研究:水疱性類天疱瘡においてDPP-4阻害薬が免疫寛容の破綻に及ぼす影響についての研究	泉 健太郎	皮膚科	1,600,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:青年期の抑うつ症状と社交不安症状に関する包括的、縦断的検討	朝倉 聡	精神科神経科	700,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:新規陰性症状評価システムの構築と、陰性症状の生物学的基盤の探索	橋本 直樹	精神科神経科	0	補委	日本学術振興会
基盤研究C:目標生成の障害を含む陰性症状と社会認知機能が統合失調症患者の社会機能に及ぼす影響	橋本 直樹	精神科神経科	1,200,000	補委	日本学術振興会
若手研究:双極性障害寛解期における認知機能障害に関する研究	豊島 邦義	精神科神経科	900,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:脳動脈瘤破裂機構解明へ向けた分子生物学的・血行力学的統合解析と新規薬剤治療の開拓	中山 若樹	脳神経外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:HELLP症候群における補体活性化と血管新生関連因子についての研究	森川 守	産科	900,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:妊娠高血圧腎症の発症を予知する尿中バイオマーカーの探索	古田 伊都子	産科	1,000,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:子宮頸癌進展におけるPD-L1の役割とPD-L1発現亢進の制御機構の解明	董 培新	婦人科	1,000,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:遺伝性葉酸吸収不全症の早期の診断と治療開始による予後の改善を目的とした研究	山田 雅文	小児科	700,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):GABA持続抑制不全の多様性がもたらすアンジェルマン症候群の病態解明と治療法開発	江川 潔	小児科	2,900,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B)(繰越):GABA持続抑制不全の多様性がもたらすアンジェルマン症候群の病態解明と治療法開発	江川 潔	小児科	350,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):陽子線CT搭載型ヘリウム・陽子線混合治療装置と免疫賦活照射法の研究開発	白土 博樹	放射線治療科	2,400,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B)(繰越):陽子線CT搭載型ヘリウム・陽子線混合治療装置と免疫賦活照射法の研究開発	白土 博樹	放射線治療科	645,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):微小空間画像による極低侵襲・マーカーレス実時間画像誘導放射線治療技法の開発	清水 伸一	放射線治療科	3,800,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B)(繰越):脳放射線治療の個別最適化に向けた包括的研究	青山 英史	放射線治療科	1,400,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:Radiomicsを用いた肝癌に対する"個別化"陽子線治療法の確立	加藤 徳雄	放射線治療科	0	補委	日本学術振興会
基盤研究C:量子生命科学的アプローチによる金ナノ粒子の放射線増感効果の解明と最適化への挑戦	橋本孝之	放射線治療科	1,000,000	補委	日本学術振興会
若手研究:人工知能を用いて管腔臓器の位置および形状を予測・追跡する技術の開発	西岡 健太郎	放射線治療科	400,000	補委	日本学術振興会
研究活動スタート支援:深層学習による血管造影用カテーテライゼーション難易度と最適なカテーテル形状の解明	森田 亮	放射線診断科	1,100,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:半導体PETと深層学習を利用したFDG PETからの腫瘍血流・代謝の同時定量	平田 健司	核医学診療科	1,200,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B)(繰越):0－17酸素MRIによる細胞内代謝の仮視化	工藤 與亮	放射線診断科	600,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:肺疾患合併肺高血圧症における心筋および骨格筋評価系の確立と臨床応用	辻野 一三	内科Ⅰ	500,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
基盤研究C:環境因子と高血圧の関連に及ぼす遺伝因子の影響に関する検討	平田 匠	内科Ⅱ	1,400,000	補委	日本学術振興会
研究活動スタート支援:心房細動患者の運動耐容能と心不全発症に関する研究:運動負荷心エコー法を用いた検討	辻永 真吾	循環器内科	700,000	補委	日本学術振興会
研究活動スタート支援:光干渉断層診断におけるプラーク不安定性に着目した冠動脈疾患新規リスク層別法の開発	小西 崇夫	循環器内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
若手研究:HFpEFの虚血条件における催不整脈性の解明	鎌田 塁	循環器内科	1,000,000	補委	日本学術振興会
若手研究:腸内細菌叢を標的とした新たな肝細胞癌術後再発制御法の開発	島田 慎吾	消化器外科Ⅰ	1,400,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:14-3-3とNrf2の制御による革新的な心停止腎グラフトの灌流修復法の開発	深井 原	消化器外科Ⅰ	0	補委	日本学術振興会
基盤研究C:易傷害性心グラフトの体外灌流修復法と非侵襲的グラフト機能評価法の開発	深井 原	消化器外科Ⅰ	1,600,000	補委	日本学術振興会
若手研究:転移性大腸癌における原発巣切除による免疫状態変化と予後に関する検討	市川 伸樹	消化器外科Ⅰ	1,100,000	補委	日本学術振興会
若手研究:過小肝グラフトの肝再生を賦活する体外灌流治療の開発とメカニズム探索	川村 典生	消化器外科Ⅰ	1,300,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:内視鏡外科修練に関する全国サーベイおよび修練プログラムモデルの開発	倉島 庸	消化器外科Ⅱ	900,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):移植組織制御による新規脊髄再生方法の開発	角家 健	整形外科	5,100,000	補委	日本学術振興会
若手研究:革新的ソフトバイオマテリアルによる椎間板性疼痛の制御	山田 勝久	整形外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
若手研究:転移性脊椎腫瘍に対する次世代シーケンサーを用いたがん遺伝子パネル検査	岩田 玲	整形外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
若手研究:抗神経成長因子抗体と関節注射併用による変形性膝関節症に対する新たな疼痛治療の開発	岩崎 浩司	整形外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
若手研究:Ex vivo 冠動脈CTと病理を用いた脆弱性プラーク診断法の開発と生体への応用	外山 穏香(菊池 穏香)	放射線診断科	800,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:死後CT・MRIを用いた薬毒物検査の有用性に関する研究	兵頭 秀樹	放射線診断科	1,300,000	補委	日本学術振興会
研究活動スタート支援:女性アスリート障害の病態解明とバイオマーカーの探索的研究	清水 幸衣	放射線診断科	1,100,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(A):高機能ゲルによるがん幹細胞リプログラミングと治療薬開発基盤の創出	田中 伸哉	病理診断科	7,400,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:脳腫瘍の不均一性に対する遺伝子解析および人工知能画像解析の統合的検索の開発	石田 雄介	病理診断科	1,300,000	補委	日本学術振興会
挑戦的研究(萌芽):加齢による慢性炎症に関連する炎症惹起細胞の解析と炎症制御標的候補分子の探索	外丸 詩野	病理診断科	2,500,000	補委	日本学術振興会
基盤研究(B):自己免疫惹起性T細胞の分子病理学的解析と診断・治療への展開	外丸 詩野	病理診断科	2,600,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:タイト結合のジスルフィド結合を介した機能調節:酸化還元シグナルの入り口として	田中 敏	病理診断科	1,400,000	補委	日本学術振興会
基盤研究C:全身主要血管壁内における歯周病原性菌の存在分布ー脳血管障害による死亡例をもとに	竹内 明子	歯科放射線科	1,500,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
眼科用デバイスの実用化検証に関する研究	石田 晋	眼科	1,000,000	補委	株式会社シード
下肢運動器疾患に関する基礎的および臨床的研究	岩崎 倫政	整形外科	1,818,182	補委	社会医療法人北斗 北斗病院
ゲノタイプ2型C型肝炎合併透析患者におけるglecaprevir/pibrentasvirの効果・安全性の検討	坂本 直哉	消化器内科	2,500,000	補委	アッヴィ合同会社
消化器疾患に対する漢方薬の改善機序の解明	武冨 紹信	消化器外科Ⅰ	7,000,000	補委	株式会社ツムラツムラ漢方研究所
内視鏡的絆創膏の開発	大西 俊介	消化器内科	192,300	補委	グンゼ株式会社
先進イメージングアプリケーションの研究	工藤 與亮	放射線診断科	7,692,308	補委	株式会社日立製作所
1,4-ジヒドロピラジン構造保有蛋白に関わる眼科領域の疾患に対する治療薬の研究	石田 晋	眼科	3,075,400	補委	Bloom Technology株式会社
DGKの機能解明	武冨 紹信	消化器外科Ⅰ	9,000,000	補委	小野薬品工業株式会社
骨修復能が低下した高齢患者に対するヒト歯髄由来幹細胞を用いた骨折治癒促進治療法の開発	髙畑 雅彦	整形外科	489,000	補委	株式会社ジーンテクノサイエンス
次世代型高精度粒子線治療システムの研究(2)	白土 博樹	放射線治療科	4,230,769	補委	株式会社日立製作所研究開発グループテクノロジーイノベーション統括本部
最先端技術を駆使した心房細動合併心不全における新規個別化医療の開発-多施設共同前向き観察研究	安斉 俊久	循環器内科	27,653,356	補委	ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
腰椎椎間板ヘルニア手術の臨床成績及びMRIによる椎間板変性評価に関する研究、及び腰椎椎間板ヘルニア患者におけるdMD-001の安全性及び性能についての探索的臨床試験	須藤 英毅	整形外科	23,083,008	補委	持田製薬株式会社
抗リン脂質抗体測定における開発試薬の性能評価のための予備検討	渥美 達也	内科Ⅱ	1,100,000	補委	シスメックス株式会社 第一エンジニアリング本部
運動器先端医学分野	角家 健	整形外科	18,399,623	補委	株式会社日立ハイテクノロジーズ
バイオマテリアル機能再生分野	岩崎 倫政	整形外科	9,780,000	補委	持田製薬株式会社
脊柱靭帯骨化症の新規ラット病態モデルの確立	髙畑 雅彦	整形外科	4,230,769	補委	旭化成ファーマ株式会社 医薬研究センター長
非アルコール性脂肪肝炎(NASH)由来肝線維化マーカーの開発	坂本 直哉	消化器内科	500,000	補委	住友ベークライト株式会社
混合性腰部脊柱管狭窄症に対する細胞治療法の開発	須藤 英毅	整形外科	2,640,000	補委	持田製薬株式会社
細胞架橋技術を用いた筋組織再生機能を有するバイオマテリアルの開発	岩崎 倫政	整形外科	4,400,000	補委	持田製薬株式会社
がんと静脈血栓塞栓症の臨床研究:多施設共同前向き登録研究	平野 聡	消化器外科Ⅱ	291,923	補委	EPクルーズ株式会社
Breast cancer susceptibility gene(BRCA)関連バイオマーカー{ Mutational Signature-based Biomarker: MSBM }の探索研究	渡利 英道	婦人科	230,769	補委	国立大学法人東京大学医学部附属病院
Trail Making Test、Stroop Test、California Verbal Learning Test日本語版の標準化に関する臨床研究	久住 一郎	精神科神経科	2,724,796	補委	大日本住友製薬株式会社
放射線治療の予後予測関連データに関する国際標準化	白土 博樹	放射線治療科	4,709,904	補委	株式会社三菱総合研究所

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
CMLモデルマウスを用いた，PonatinibのAgn1-Tie2シグナル阻害による休止期がん幹細胞への作用の検討	豊嶋 崇徳	血液内科	3,668,280	補委	大塚製薬株式会社
外科手術前後補助薬物療法早期臨床試験の研究体制確立に関する研究	武冨 紹信	消化器外科Ⅰ	300,000	補委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
陽子線治療の高精度技術の標準化とその評価方法確立	清水 伸一	放射線治療科	150,000	補委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	本間 明宏	耳鼻咽喉科	250,000	補委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
コルヒチン無効あるいは不耐の家族性地中海熱(FMF)を対象としたトシリズマブの継続投与試験	渥美 達也	内科Ⅱ	956,153	補委	国立大学法人長崎大学
ソフトウェア機能評価	工藤 與亮	放射線診断科	500,000	補委	富士フイルムメディカル株式会社 営業本部 ITソリューション事業部
低リスク骨髄異形成症候群におけるダルベポエチンアルファに対する反応性に関する解析	豊嶋 崇徳	血液内科	24,923	補委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
Separation of graft-versus-leukemia effect from graft-versus-host disease using KRP203 in combination with cyclosporine A	豊嶋 崇徳	血液内科	2,380,770	補委	Priothera SAS
自己免疫性肺胞蛋白症に対するSK-1401吸入製剤の多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験(以下、PAGE試験)に参加した各施設の患者の予後調査結	鈴木 雅	内科Ⅰ	200,000	補委	国立大学法人新潟大学
肺高血圧症患者レジストリ Japan Pulmonary Hypertension Registry: JAPHR	辻野 一三	内科Ⅰ	280,758	補委	特定非営利活動法人Japan PH Registry
CD30陽性PTCL細胞株におけるブレンツキシマブベドチン感受性調節遺伝子の検討	中川 雅夫	血液内科	1,760,000	補委	武田薬品工業株式会社
臨床医学の献体利用を推進する専門人材養成	七戸 俊明	消化器外科Ⅱ	13,000,000	補委	文部科学省
Drug repositioningによる新規脊髄保護薬の開発	角家 健	整形外科	1,700,000	補委	日本医療研究開発機構
DPP-4阻害薬関連水泡性類天疱瘡自己抗体の新規同定法開発	泉 健太郎	皮膚科	2,550,000	補委	日本医療研究開発機構
顔面神経治療における人工神経リナーブ®を用いたハイブリッド神経の開発	山本 有平	形成外科	2,550,000	補委	日本医療研究開発機構
新規生体吸収性シートによる消化管穿孔の閉鎖～内視鏡的絆創膏を目指して～」	大野 正芳	消化器内科	2,550,000	補委	日本医療研究開発機構
産科医・小児科医養成支援特別対策事業	渡利 英道	婦人科	142,000	補委	北海道
産科医・小児科医養成支援特別対策事業	真部 淳	小児科	730,000	補委	北海道
革新的口腔領域用生体材料を目的としたインテリジェントカーボンナノマテリアルの創製	横山 敦郎	義歯補綴科	3,900,000	補委	(独)日本学術振興会
低酸素分子イメージングに基づく新しい口腔癌治療戦略の構築	北川 善政	口腔内科	3,700,000	補委	(独)日本学術振興会
通いの場における状態別の口腔機能向上・栄養改善プログラムに関する地域介入研究	山崎 裕	高齢者歯科	2,900,000	補委	(独)日本学術振興会
オーラルフレイルに関する高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する研究	渡邊 裕	高齢者歯科	3,100,000	補委	(独)日本学術振興会
「うま味」成分配合の口腔保湿剤を利用した新たな口腔乾燥症対策	岡田 和隆	高齢者歯科	1,000,000	補委	(独)日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
光殺菌と組織再生効果を併せ持つ新しい歯周病治療用ゲル剤の開発	加藤 昭人	歯周・歯内療法科	1,300,000	(補)委	(独)日本学術振興会
口腔がんの転移に関わる口腔常在菌の解析	大廣 洋一	口腔外科	700,000	(補)委	(独)日本学術振興会
ストレス・自律神経活動が口腔癌の発癌・増殖に与える影響の解明	佐藤 淳	口腔内科	1,400,000	(補)委	(独)日本学術振興会
カーボンナノ物質の生物学的特性を用いた革新的組織修復・骨再生のストラテジーの構築	横山 敦郎	義歯補綴科	1,800,000	(補)委	(独)日本学術振興会
エナメル質を保全できる矯正歯科治療―量子力学・錯体化学・プラズマ物理学的展開―	山方 秀一	矯正歯科	700,000	(補)委	(独)日本学術振興会
突然死の原因となり得る口腔病態の評価ーAutopsy imagingをもとにして	箕輪 和行	歯科放射線科	600,000	(補)委	(独)日本学術振興会
歯髄の治癒促進と硬組織接着性を併せ持つ革新的直接覆髄材の探索研究	佐野 英彦	歯冠修復科	1,200,000	(補)委	(独)日本学術振興会
バイオメカニクス的手法による姿勢制御、顎口腔と身体の機能の関連性と因果関係の解明	坂口 究	義歯補綴科	300,000	(補)委	(独)日本学術振興会
緑茶カテキンを利用した新規生活歯髄切断材料は作れるか～歯髄作用機構の解析から～	中村 光一	小児・障害者歯科	600,000	(補)委	(独)日本学術振興会
幼少期に身体抑制を経験したラットの成長後のストレス反応性亢進を緩和できるか。	吉原 俊博	小児・障害者歯科	600,000	(補)委	(独)日本学術振興会
インプラント周囲炎治療を可能とする光応答性ナノカーボンインプラントの開発	平田 恵理	義歯補綴科	1,000,000	(補)委	(独)日本学術振興会
早期咬合負荷を目的としたカーボンナノホーンコーティングチタンインプラントの開発	山本 悟	義歯補綴科	1,200,000	(補)委	(独)日本学術振興会
振動解析を用いた関節頭の機能的な位置付けへの挑戦-顎変形症、骨折、再建において-	松下 和裕	口腔外科	1,800,000	(補)委	(独)日本学術振興会
複雑な乳歯根管系の制御ー歯根外部吸収への修復機構の誘導と歯根安定の獲得ー	八若 保孝	小児・障害者歯科	1,300,000	(補)委	(独)日本学術振興会
閉経後の骨粗鬆症に対する乳歯由来歯髄幹細胞の培養上清の効果	菊入 崇	小児・障害者歯科	1,800,000	(補)委	(独)日本学術振興会
O-17標識水を用いたMRIと同位体顕微鏡による中枢神経系の水動態の解明	亀田 浩之	歯科放射線科	1,500,000	(補)委	(独)日本学術振興会
"はがせる"新規歯科矯正用接着材の開発	中西 康	矯正歯科	1,200,000	(補)委	(独)日本学術振興会
歯科充填用コンポジットレジンの物性評価	佐野 英彦	歯冠修復科	384,615	補(委)	株式会社トクヤマデンタル
株式会社村田製作所が製品化中の口腔湿潤計を用いた臨床研究	渡邊 裕	高齢者歯科	153,846	補(委)	株式会社村田製作所

計 329

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	著頭者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Kimura H, Makita H, Taniguchi N,	内科 I	Determination of the cutoff values of Th2 markers for the prediction of future exacerbation in severe asthma: An analysis from the Hokkaido Severe Asthma Cohort Study	Allergol Int ,2021.1	Original Article
2	Nakakubo S, Suzuki M, Kamada K,	内科 I	Proposal of COVID-19 Clinical Risk Score for the management of suspected COVID-19 cases: a case control study	BMC Infect Dis,2020.11	Original Article
3	Nakakubo S, Kimura S, Mimura K,	内科 I	Traditional Japanese Herbal Medicine Hochu-Ekki-to Promotes Pneumococcal Colonization Clearance via Macrophage Activation and Interleukin 17A Production in Mice	Front Cell Infect Microbiol, 2020.10	Original Article
4	Nakaya T, Ohira H, Sato T,	内科 I	Right ventriculo-pulmonary arterial uncoupling and poor outcomes in pulmonary arterial hypertension	Pulm Circ,2020.10	Original Article
5	Shimizu K,Tanabe N, Tho NV,	内科 I	Per cent low attenuation volume and fractal dimension of low attenuation clusters on CT predict different long-term outcomes in COPD	Thorax,2020.2	Original Article
6	Shoji T, Kikuchi E, Kikuchi J,	内科 I	Evaluating the immunoproteasome as a potential therapeutic target in cisplatin-resistant small cell and non-small cell lung cancer	Cancer Chemother Pharmacol ,2020.5	Original Article
7	Yamashita Y, Nagaoka K, Kimura H,	内科 I	Pathogenic effect of Prevotella intermedia on a mouse pneumonia model due to methicillin-resistant Staphylococcus aureus with up-regulated α-hemolysin expression	Front Microbiol,2020.10	Original Article
8	Abe Y, Suzuki M, Kimura H,	内科 I	Annual Fractional Exhaled Nitric Oxide Measurements and Exacerbations in Severe Asthma	J Asthma Allergy, 2020, 12	Original Article
9	Yajima N, Tsujimoto Y, Fukuma S,	内科 II	The development of quality indicators for systemic lupus erythematosus using electronic health data: A modified RAND appropriateness method.	Mod Rheumatol 30:525-31, 2020	Original Article
10	Tsuda S, Sameshima A, Sekine M,	内科 II	Pre-conception status, obstetric outcome and use of medications during pregnancy of systemic lupus erythematosus (SLE), rheumatoid arthritis (RA) and inflammatory bowel disease (IBD) in Japan: Multi-center retrospective descriptive study.	Mod Rheumatol. 30(5):852-861.2020	Original Article
11	Takada K, Katada Y, Ito S,	内科 II	Impact of adding tacrolimus to initial treatment of interstitial pneumonitis in polymyositis/dermatomyositis: a single-arm clinical trial.	Rheumatology (Oxford). 59(5):1084-1093. 2020	Original Article
12	Tanaka Y, Oba K, Koike T,	内科 II	Sustained discontinuation of infliximab with a raising-dose strategy after obtaining remission in patients with rheumatoid arthritis: the RRRR study, a randomised controlled trial.	Ann Rheum Dis. 79(1):94-102. 2020	Original Article
13	Jinnin M, Ohta A, Ishihara S,	内科 II	Research Team for Autoimmune Diseases, The Research Program for Intractable Disease of the Ministry of Health, Labor and Welfare. First external validation of sensitivity and specificity of the European League Against Rheumatism (EULAR)/American College of Rheumatology (ACR) classification criteria for idiopathic inflammatory myopathies with a Japanese cohort.	Ann Rheum Dis. 79(3):387-392.2020	Original Article
14	Nakaoka Y, Isobe M, Tanaka Y,	内科 II	Long-term efficacy and safety of tocilizumab in refractory Takayasu arteritis: final results of the randomized controlled phase 3 TAKT study.	Rheumatology (Oxford). 59(9):2427-2434. 2020	Original Article

15	Tanaka Y, Atsumi T, Yamamoto K,	内科II	Factors associated with successful discontinuation of certolizumab pegol in early rheumatoid arthritis.	Int J Rheum Dis. 23(3):316-324.2020	Original Article
16	Fukui S, Ichinose K, Sada KE,	内科II	Complement profile in microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis: analysis using sera from a nationwide prospective cohort study.	Scand J Rheumatol. 49(4):301-311. 2020	Original Article
17	Khanna D, Allanore Y, Denton CP,	内科II	Riociguat in patients with early diffuse cutaneous systemic sclerosis (RISE-SSc): randomised, double-blind, placebo-controlled multicentre trial.	Ann Rheum Dis.79(5):618-625. 2020	Original Article
18	Zuily S, Clerc-Urmès I, Bauman C,	内科II	Cluster analysis for the identification of clinical phenotypes among antiphospholipid antibody-positive patients from the APS ACTION Registry.	Lupus. in press	Original Article
19	Tanaka T, Warner BM, Odani T,	内科II	LAMP3 induces apoptosis and autoantigen release in Sjögren's syndrome patients.	Sci Rep. 16;10(1):15169.2020	Original Article
20	Sevim E, Zisa D, Andrade D,	内科II	Characteristics of Antiphospholipid Antibody Positive Patients in AntiPhospholipid Syndrome Alliance for Clinical Trials and InternatiOnal Networking.	Arthritis Care Res (Hoboken). in press	Original Article
21	Kikuchi R, Tsuboi N, Sada KE,	内科II	Vascular endothelial growth factor (VEGF)-A and VEGF-A165b are associated with time to remission of granulomatosis with polyangiitis in a nationwide Japanese prospective cohort study.	Ann Clin Biochem. in press	Original Article
22	Takeuchi T, Rischmueller M, Blanco R,	内科II	Upadacitinib monotherapy versus methotrexate monotherapy in methotrexate-naïve Japanese patients with rheumatoid arthritis: A sub-analysis of the Phase 3 SELECT-EARLY study.	Mod Rheumatol. in press	Original Article
23	Gkrouzman E, Sevim E, Finik J, JS,	内科II	Antiphospholipid Antibody Profile Stability Over Time: Prospective Results from APS ACTION Clinical Database and Repository.	J Rheumatol. in press	Original Article
24	Yin X, Kim K, Suetsugu H, Lee SS,	内科II	Meta-analysis of 208370 East Asians identifies 113 susceptibility loci for systemic lupus erythematosus.	Ann Rheum Dis. in press	Original Article
25	Takeuchi T, Matsubara T, Atsumi T,	内科II	Efficacy and safety of filgotinib in Japanese patients with refractory rheumatoid arthritis: Subgroup analyses of a global Phase 3 study (FINCH 2).	Mod Rheumatol. in press	Original Article
26	Westhovens R, Rigby WFC,	内科II	Filgotinib in combination with methotrexate or as monotherapy versus methotrexate monotherapy in patients with active rheumatoid arthritis and limited or no prior exposure to methotrexate: the phase 3, randomised controlled FINCH 3 trial.	Ann Rheum Dis (in press)	Original Article
27	Amengual O, Atsumi T.	内科II	COVID-19 pandemic in Japan.	Rheumatol Int.in press	Original Article
28	Mok CC, Hamijoyo L, Nuntana K,	内科II	The Asia Pacific Leagure of Associations for Rheumatology (APLAR) Consensus Statements on the Management of Systemic Lupus Erythematosus.	Lancet Rheum. in press	Original Article
29	Kato M.	内科II	New insights into IFN-γ in rheumatoid arthritis: role in the era of JAK inhibitors.	Immunol Med. in press	Original Article
30	Kato K, Sutherland K, Tanaka Y,	内科II	Fully-automatic quantitative software for assessment of minute finger joint space narrowing progression on radiographs: evaluation in rheumatoid arthritis patients with long-term sustained clinical low disease activity.	Jpn J Radiol. in press	Original Article

31	Kato M, Hattori T, Shimizu T,	内科II	Intrafamilial phenotypic distinction of hypophosphatasia with identical tissue nonspecific alkaline phosphatase gene mutation: A family report	J Bone Miner Metab. in press	Original Article
32	Kato M, Sugimoto A, Atsumi T.	内科II	Diagnostic and prognostic markers and treatment of connective tissue disease-associated pulmonary arterial hypertension: current recommendations and recent advances.	Expert Rev Clin Immunol. in press	Original Article
33	Fujieda Y, Doi M, Asaka T,	内科II	Incidence and risk of antiresorptive agents-related osteonecrosis of the jaw (ARONJ) after tooth extraction in patients with autoimmune disease.	J Bone Miner Metab. Jul;38(4):581-588.2020	Original Article
34	Fujieda Y, Atsumi T.	内科II	Antiresorptive agents-related osteonecrosis of the jaw (ARONJ) in rheumatoid arthritis.	J Bone Miner Metab. 38(5):739-741.2020	Original Article
35	Fukae J, Isobe M, Hattori T,	内科II	Convolutional neural network for classification of two-dimensional array images generated from clinical information may support diagnosis of rheumatoid arthritis.	Sci Rep.10(1):5648.2020	Original Article
36	Fujieda Y, Horita T, Nishimoto N,	内科II	Efficacy and safety of sodium RISedronate for glucocorticoid-induced OsTeoporosis with rheumaTOid arthritis (RISOTTO study): a multicentre, double-blind, randomized, placebo-controlled trial.	Mod Rheumatol. in press	Original Article
37	Khatri S, Psaraftis N, Funaro A,	内科II	Serological comparison of systemic lupus erythematosus with neuropsychiatric lupus using synthetic nucleic acid antigens.	J Transl Autoimmun. in press	Original Article
38	Murayama M, Nishida M, Kudo Y,	内科II	Case with long-standing gout showing various ultrasonographic features caused by monosodiumurate monohydrate crystal deposition.	Mod Rheumatol Case Rep. 4(1):110-115. 2020	Original Article
39	Fujieda Y.	内科II	Diversity of neuropsychiatric manifestations in systemic lupus erythematosus.	Immunol Med. in press.	Original Article
40	Fujieda Y, Amengual O.	内科II	New insights into the mechanism and treatment of arterial thrombosis in antiphospholipid syndrome.	Eur J Rheumatol. in press	Original Article
41	Nakamura H, Fujieda Y, Nakamura A,	内科II	How should rheumatologists manage glucocorticoid-induced hyperglycemia?	Mod Rheumatol. in press	Original Article
42	Kono M, Yoshida N, Tsokos GC.	内科II	Metabolic control of T cells in autoimmunity.	Curr Opin Rheumatol. 32(2):192-199, 2020.	Original Article
43	Kono M,Vukeli M, Tsokos GC.	内科II	T cell Metabolism in Lupus,	Immunometabolism. 2(2):e200009. 2020	Original Article
44	Meidan E, Li H, Pan W,	内科II	Serine/Threonine phosphatase PP2A is essential for optimal B cell function.	JCI Insight. 12;5(5):e130655. 2020	Original Article
45	Tanimura S, Nishida M, Horie T,	内科II	Fluvastatin prevents the development of arthritis in env-pX rats via up-regulation of Rho GTPase-activating protein 12.	Exp Mol Pathol. 115:104454. 2020	Original Article
46	Lee WS, Amengual O.	内科II	Cells targeting therapy in the management of systemic lupus erythematosus.	Immunol Med. 43(1):16-35. 2020.	Original Article

47	Lee WS, Yasuda S, Kono M,	内科II	MicroRNA-9 Ameliorates Destructive Arthritis through Down-regulation of NF-κB1-RANKL Pathway in Fibroblast-like Synoviocytes.	Clin Immunol. 212:108348.2020	Original Article
48	Lee WS, Kato M, Sugawara E,	内科II	Optineurin in Synovial Fibroblasts Plays a Protective Role against Joint Destructions in Rheumatoid Arthritis.	Arthritis Rheumatol. 72(9):1493-1504. 2020	Original Article
49	OgataY, Fujieda Y, Sugawara M,	内科II	Morbidity and mortality in antiphospholipid syndrome based on cluster analysis: a 10-year longitudinal cohort study.	Rheumatology (Oxford). in press	Original Article
50	Abe N, Kudo T, Jodo S.	内科II	Calcific uraemic arteriolopathy.	Postgrad Med J. in press	Original Article
51	Abe N, Fujieda Y.	内科II	Chronic active Epstein-Barr virus infection.	Blood.136(18):2090. 2020.	Original Article
52	Karino K, Kono M, Kono M,	内科II	Myofascia-dominant involvement on whole-body MRI as a risk factor for rapidly progressive interstitial lung disease in dermatomyositis.	Rheumatology (Oxford). 59(7):1734-1742.2020	Original Article
53	Aso K, Kono Michihito, Kono Michihiro,	内科II	Low complement component 4 as a risk factor for severe neuropsychiatric flare in patients with systemic lupus erythematosus.	Lupus. 29(10):1238-1247. 2020.	Original Article
54	Ninagawa K, Fujieda Y, Matsui Y,	内科II	Non-tuberculosis Mycobacterium Tenosynovitis with Rice Bodies in a Patient with Systemic Lupus Erythematosus.	Intern Med. 59(18): 2317-2320. 2020	Original Article
55	Nakamura A, Miyoshi H, Ukawa S,	内科II	Proinsulin is sensitive to reflect glucose intolerance.	J Diabetes Investig. 11: 75-79, 2020	Original Article
56	Nakamura A, Miyoshi H, Kameda H,	内科II	Impact of sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors on renal function in participants with type 2 diabetes and chronic kidney disease with normoalbuminuria.	Diabetol Metab Syndr. 12: 4, 2020	Original Article
57	Nakamura A, Miyoshi H, Ukawa S,	内科II	Inverse correlation between serum high-molecular-weight adiponectin and proinsulin level in a Japanese population: the DOSANCO Health Study.	J Diabetes Investig. 2020 (in press).	Original Article
58	Cho KY, Nakamura A, Yamamoto C,	内科II	Switching to once-daily insulin degludec/insulin aspart from basal insulin improves postprandial glycemia in patients with type 2 diabetes: Randomized controlled trial.	Diabetes Metab J. 44: 532-541, 2020	Original Article
59	Cho KY, Nomoto H, Nakamura A,	内科II	Favorable effect of the SGLT2 inhibitor canagliflozin plus the DPP-4 inhibitor teneligliptin in combination on glycemic fluctuation: An open-label, prospective, randomized, parallel-group comparison trial (the CALMER study).	Diabetes Obes Metab. 22: 458-462, 2020	Original Article
60	Cho KY, Nakamura A, Omori K,	内科II	Favorable effect of sodium-glucose co-transporter-2 inhibitor dapagliflozin on nonalcoholic fatty liver disease compared with pioglitazone.	J Diabetes Investig. 2020 (in press).	Original Article
61	Nomoto H, Pei L, Montemurro C,	内科II	Activation of the HIF1α/PFKFB3 stress response pathway in beta-cells in type 1 diabetes.	Diabetologia. 63:149-161, 2020.	Original Article
62	Nomoto H, Oba-Yamamoto C,	内科II	Effects of switching from liraglutide or dulaglutide to subcutaneous semaglutide on glucose metabolism and treatment satisfaction in patients with type 2 diabetes: protocol for a multi-center, prospective, randomized, open-label, blinded endpoint parallel-group comparison study (the SWITCH-SEMA 1 study).	Diabetes Ther. 2020, in press	Original Article

63	Miya A, Nakamura A, Miyoshi H,	内科Ⅱ	Correlation between serum proinsulin levels and fatty liver: the DOSANCO Health Study.	J Diabetes Investig. 11: 964-970, 2020	Original Article
64	Miya A, Nakamura A, Handa T,	内科Ⅱ	Impaired insulin secretion predicting unstable glycemic variability and Time-Below-Range in type 2 diabetes regardless of HbA1c or diabetes treatment.	J Diabetes Investig. 2020 (in press).	Original Article
65	Miya A, Nakamura A, Cho KY,	内科Ⅱ	Impact of endogenous insulin secretion on the improvement of glucose variability in Japanese patients with type 2 diabetes treated with canagliflozin plus teneligliptin.	J Diabetes Investig. 2020 (in press).	Original Article
66	Oba-Yamamoto C, Takeuchi J,	内科Ⅱ	Combination of alcohol and glucose consumption as a risk to induce reactive hypoglycemia	J Diabetes Investig, 2020 (in press).	Original Article
67	Kameda R, Nomoto H, Cho KY,	内科Ⅱ	Effects of switching from a dipeptidyl peptidase-4 inhibitor to luseogliflozin on nocturnal blood pressure in patients with type 2 diabetes: protocol for a multicenter, prospective, randomized, open-label, blinded endpoint parallel-group comparison study.	BMJ Open. 10: e034883, 2020	Original Article
68	Kato S, Kuwatani M, Kawakubo K,	消化器内科	Efficacy of a novel ultra-sharp dilation device for dilating bare metal stent mesh in patients with hilar malignant biliary obstruction.	Scand J Gastroenterol. 2021 Mar;56(3):374-377	Original Article
69	Kuwatani M, Imamura M, Hayashi T,	消化器内科	A drainage strategy for postoperative pancreatic fistula after left-sided pancreatectomy based on the wall status of collected fluid.	Langenbecks Arch Surg. 2021 Jan 3.	Original Article
70	Hirata H, Kuwatani M, Nakajima K,	消化器内科	Near-infrared photoimmunotherapy (NIR-PIT) on cholangiocarcinoma using a novel catheter device with light emitting diodes.	Cancer Sci. 2021 Feb;112(2):828-838.	Original Article
71	Okada T, Mizukami Y, Ono Y,	消化器内科	Digital PCR-based plasma cell-free DNA mutation analysis for early-stage pancreatic tumor diagnosis and surveillance.	J Gastroenterol. 2020 Dec;55(12):1183-1193.	Original Article
72	Sugiura R, Kuwatani M, Kato S,	消化器内科	Risk factors for dysfunction of preoperative endoscopic biliary drainage for malignant hilar biliary obstruction.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2020 Nov;27(11):851-859.	Original Article
73	Kato S, Kuwatani M, Hayashi T,	消化器内科	Inutility of endoscopic sphincterotomy to prevent pancreatitis after biliary metal stent placement in the patients without pancreatic duct obstruction.	Scand J Gastroenterol; 55:503-508, 2020	Original Article
74	Yane K, Kuwatani M, Yoshida M,	消化器内科	Non-negligible rate of needle tract seeding after endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration for patients undergoing distal pancreatectomy for pancreatic cancer.	Dig Endosc. 2020 Jul;32(5):801-811.	Original Article
75	Hirata K, Kuwatani M, Sakamoto N.	消化器内科	Feasibility of a distal pigtail shaped stent placement above the papilla for biliary obstruction.	Dig Endosc; 32:e73-e74, 2020	Case report
76	Hirata H, Kuwatani M, Mitsuhashi T.	消化器内科	A case with eosinophilic cholangitis which presented the unique cholangioscopic findings.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2020 Nov 11. doi: 10.1002/jhbp.862. Online ahead of print.	Case report
77	Kuwatani M, Nagai K, Takishin Y,	消化器内科	Endoscopic ultrasonography-guided pancreaticoduodenostomy with a lumen-apposing metal stent to treat main pancreatic duct dilatation.	Endoscopy. 2021 Mar 30. doi: 10.1055/a-1408-0148.	Case report
78	Kuwatani M, Sakamoto N.	消化器内科	Angiogenic Dreaded Killer: Cholesterol Crystal Embolization.	Intern Med. 2021 Mar 15;60(6):825-826.	Editorial

79	Kuwatani M, Sakamoto N.	消化器内科	Evolution and a Promising Role of EUS-FNA in Gene and Future Analyses.	Endosc Ultrasound. May-Jun 2020;9(3):151-153	Commentary
80	Ono S, Nozaki A, Matsuda K,	消化器内科	In vivo optical cellular diagnosis for uterine cervical or vaginal intraepithelial neoplasia using flexible gastrointestinal endocytoscopy -a prospective pilot study-	BMC cancer, 20(1),955, 2020	orijinal
81	Ono S, Shimoda Y, Tanaka I,	消化器内科	Optical effect of spraying l-menthol on gastric intestinal metaplasia visualized by linked color imaging.	Eur J Gastroenterol Hepatol, 33(3), 358-363, 2020	Original Article
82	Ono S, Kawata K, Dohi O,	消化器内科	Linked Color Imaging Focused on Neoplasm Detection in the Upper Gastrointestinal Tract: A Randomized Trial.	Ann Intern Med, 174(1), 18-24, 2021	Original Article
83	Ono S, Dohi O, Yagi N,	消化器内科	Accuracies of endoscopic diagnosis of Helicobacter pylori-gastritis: multicenter prospective study using white light imaging and linked color imaging.	Digestion, 101(5), 624-630, 2020	Original Article
84	Inoue M, Shimizu Y, Ishikawa M,	消化器内科	Relationships of early esophageal cancer with human papillomavirus and alcohol metabolism.	World J Gastroenterol, 26(39), 6047-6056, 2020	Original Article
85	Yamanashi K, Katsurada T, Nishida M,	消化器内科	Crohn's DiseaseActivity Evaluation by Transabdominal Ultrasonography: Correlation with Double-Balloon Endoscopy.	J Ultrasound Med. 2021 Feb 17. doi: 10.1002/jum.15645. Epubahead of print.	Original Article
86	Sakurai K, Furukawa S, Katsurada T,	消化器内科	Effectivenessof administering zinc acetate hydrate to patients with inflammatory boweldisease and zinc deficiency: a retrospective observational two-center study.	Intest Res. 2021 Jan 22. doi: 10.5217/ir.2020.00124. Epub ahead of print.	Original Article
87	Otagiri S, Katsurada T, Yamanashi K,	消化器内科	Immune checkpoint inhibitor-induced enteritis assessed usingcapsule endoscopy.	JGH Open. 2020 Jul 20;4(6):1231-1232. doi:10.1002/jgh3.12392.	Case report
88	Otagiri S, Nakajima S, Katsurada T,	消化器内科	Chronic Diarrhea as the Presenting Feature ofAmyloidosis with Multiple Myeloma: A Case Report Diagnosed by a MyocardialBiopsy.	Intern Med. 2021 Apr 15;60(8):1197-1203. doi:10.2169/internalmedicine.6038-20. Epub 2020 Nov 16.	Case report
89	Shigesawa T	消化器内科	Baseline angiopoietin-2 and FGF19 levels predict treatment response in patients receiving multikinase inhibitors for hepatocellular carcinoma	JGH Open. 2020 Apr 11;4(5):880-888.	Original Article
90	Suda G	消化器内科	Time-dependent changes in the seroprevalence of COVID-19 in asymptomatic liver disease outpatients in an area in Japan undergoing a second wave of COVID-19	Hepatol Res. 2020 Oct;50(10):1196-1200.	Original Article
91	Nakai M	消化器内科	Durable response without recurrence to Tolvaptan improves long-term survival	J Gastroenterol. 2020 Dec;55(12):1150-1161.	Original Article
92	Shigesawa T	消化器内科	Baseline serum angiopoietin-2 and VEGF levels predict the deterioration of the liver functional reserve during lenvatinib treatment for hepatocellular carcinoma	PLoS One. 2021 Mar 1;16(3):e0247728.	Original Article
93	Shigesawa T	消化器内科	Lenvatinib suppresses cancer stem-like cells in HCC by inhibiting FGFR1-3 signaling, but not FGFR4 signaling	Carcinogenesis. 2021 Feb 11;42(1):58-69.	Original Article
94	Takahashi K, Nakamura A, Furusawa S,	消化器内科	Initial dip predicts renal protective effects after the administration of sodium-glucose cotransporter 2 inhibitors in patients with type 2 diabetes and chronic kidney disease with normoalbuminuria.	J Clin Transl Endocrinol, 2020 (in press).	Original Article

95	Takase T, Nakamura A, Miyoshi H,	循環器内科	Effects of Palmaria palmata on lipid metabolism and glycemic control in participants with hypercholesterolemia in a randomized double-blind placebo-controlled trial.	Phytother Res. 34: 2303-2312, 2020	Original Article
96	Yanagiya S, Nakamura K, Ukawa S,	循環器内科	Household income and the risk of incident hypertension in employees at multiple workplaces in Japan: J-HOPE.	Hypertens Res. 2020 (in press).	Original Article
97	Shibayama Y, Wada N, Baba S,	循環器内科	The risk factors for hepatic steatosis in patients with primary aldosteronism.	Endocr J. 67: 623-629, 2020	Original Article
98	Chiba K, Nomoto H, Nakamura A,	循環器内科	SGLT2 inhibitors reduce day-to-day glucose variability in patients with type 1 diabetes.	J Diabetes Investig, 2020 (in press).	Original Article
99	Baba N, Kameda H, Cho KY,	循環器内科	Silent pituitary adenoma and metabolic disorders: obesity, abnormal glucose tolerance, hypertension, and dyslipidemia.	Endocr J, 2020 (in press).	Original Article
100	Ueki K, Tanizawa Y, Nakamura J,	循環器内科	Long-term safety and efficacy of alogliptin, a DPP-4 inhibitor, in patients with type 2 diabetes: a 3-year prospective, controlled, observational study (J-BRAND Registry).	BMJ Open Diabetes Res Care, 2020 (in press).	Original Article
101	Sato M, Miyoshi H, Nakamura A,	循環器内科	Cross-cultural adaptation of the chronic illness resources survey in Japanese patients with diabetes.	Jpn J Nurs Sci. 17: e12279, 2020	Original Article
102	Higuchi I, Kimura Y, Kobayashi M,	循環器内科	Relationships between plasma lactate, plasma alanine, genetic variations in lactate transporters and type 2 diabetes in the Japanese population.	Drug Metab Pharmacokinet. 35: 131-138, 2020	Original Article
103	Naruse K, Abiko A, Nakayama H,	循環器内科	on behalf of the Japan Diabetes Society Committee to Promote Female Diabetologists. The work style and living condition survey of diabetologists and the expectations for the Japan Diabetes Society: results of questionnaires about the current state and the future prospect of their carrier in 2017.	Diabetol Int. 11: 299-308, 2020	Original Article
104	Suzuki K, Suda G, Yamamoto Y,	循環器内科	Tenofovir disoproxil fumarate modulates lipid metabolism via hepatic CD36/PPAR-alpha activation in hepatitis B virus infection.	J Gastroenterol, 2020 (in press).	Original Article
105	Yuno A, Kenmotsu Y, Takahashi Y,	循環器内科	Successful management of a patient with active Cushing's disease complicated with coronavirus disease 2019 (COVID-19) pneumonia.	Endocr J. 2020 (in press).	Original Article
106	Kimura Y, Higuchi I, Kobayashi M,	循環器内科	The association between SLC16A11 haplotype and lipid metabolism in Japanese patients with type 2 diabetes.	Drug Metab Pharmacokinet. 2020 (in press).	Original Article
107	Metin-Armagan D, Comunoglu N, Bulut G,	循環器内科	A Novel Expression Profile of Cell Cycle and DNA Repair Proteins in Nonfunctioning Pituitary Adenomas.	Endocr Pathol. 31:2-13, 2020.	Original Article
108	Watanabe-Kusunoki K, Nakazawa D,	循環器内科	Thrombomodulin as a Physiological Modulator of Intravascular Injury.	Front Immunol. 2020 Sep 16;11:575890	Original Article
109	Nakazawa D, Ishizu A.	循環器内科	Immunothrombosis in severe COVID-19.	EBioMedicine. 2020 Sep;59:102942.	Original Article
110	Nonokawa M, Shimizu T, Yoshinari M,	循環器内科	Association of Neutrophil Extracellular Traps with the Development of Idiopathic Osteonecrosis of the Femoral Head.	Am J Pathol. 2020 Nov;190(11):2282-2289.	Original Article

111	Kawakami T, Kikuchi A, Miyabe C,	循環器内科	Relationship between lysosomal-associated membrane protein-2 and anti-phosphatidylserine/prothrombin complex antibody in the pathogenesis of cutaneous vasculitis.	Clin Exp Rheumatol. 2020 Mar-Apr;38 Suppl 124(2):161-165	Original Article
112	Watanabe-Kusunoki K, Nakazawa D,	循環器内科	Recombinant thrombomodulin ameliorates autoimmune vasculitis via immune response regulation and tissue injury protection.	J Autoimmun. 2020 Mar;108:102390.	Original Article
113	Uozumi R, Iguchi R, Masuda S,	循環器内科	Pharmaceutical immunoglobulins reduce neutrophil extracellular trap formation and ameliorate the development of MPO-ANCA-associated vasculitis.	Mod Rheumatol. 2020 May;30(3):544-550.	Original Article
114	Yamamoto J, Nakazawa D, Nishio S,	循環器内科	Impact of Weekly Teriparatide on the Bone and Mineral Metabolism in Hemodialysis Patients With Relatively Low Serum Parathyroid Hormone: A Pilot Study.	Ther Apher Dial. 2020 Apr;24(2):146-153.	Original Article
115	Yamamoto R, Imai E, Maruyama S,	循環器内科	Incidence of remission and relapse of proteinuria, end-stage kidney disease, mortality, and major outcomes in primary nephrotic syndrome: the Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS).	Clin Exp Nephrol. 2020 Jun;24(6):526-540.	Original Article
116	Muto S, Ando M, Nishio S,	循環器内科	The relationship between liver cyst volume and QOL in Japanese ADPKD patients.	Clin Exp Nephrol. 2020 Apr;24(4):314-322.	Original Article
117	Yokoyama H, Yamamoto R, Imai E,	循環器内科	Better remission rates in elderly Japanese patients with primary membranous nephropathy in nationwide real-world practice: The Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS).	Clin Exp Nephrol. 2020 Oct;24(10):893-909.	Original Article
118	Anzai T, Sato T, Fukumoto Y,	循環器内科	JCS 2021/JHFS 2021 Statement on Palliative Care in Cardiovascular Diseases.	Circ J 2020 in press.	Guideline Report
119	Iwakami N, Nagai T, Furukawa T,	循環器内科	Evidence-Based Utilization of Prognostic Prediction Models in Cardiovascular Medicine	Circ Rep 2020 in press	Review
120	Manabe O, Naya M, Aikawa T,	循環器内科	Recent advances in cardiac positron emission tomography for quantitative perfusion analyses and molecular imaging	Ann Nucl Med 2020; 34: 697-706(Review article).	Review
121	Naya M, Manabe O, Tamaki N.	循環器内科	New trials for assessment of left atrial dysfunction by FDG-PET.	J Nucl Cardiol 2020; 27: 1563-1565.	letter
122	Konishi T, Funayama N, Yamamoto T,	循環器内科	Takotsubo Syndrome in Association with Acute Myocardial Infarction: Diagnostic Caveats and Clinical Implications.	Kardiol Pol 2020,	letter
123	Katayama T, Kinugawa S, Takada S,	循環器内科	A mitochondrial delivery system using liposome-based nanocarriers that target myoblast cells.	Mitochondrion 2020; 49: 66-72.	Original Article
124	Obata Y, Ishimori N, Saito A,	循環器内科	Activation of invariant natural killer T cells by alpha-galactosylceramide ameliorates doxorubicin-induced cardiotoxicity in mice.	Eur J Prev Cardiol 2020 in press	Original Article
125	Okuno K, Naito Y, Asakura M,	循環器内科	Anemia has an impact on prognosis in heart failure with preserved ejection fraction with mild chronic kidney disease	Int J Cardiol Heart Vasc. 2021 May 20;34:100796. doi: 10.1016/j.ijcha.2021.100796.	Original Article
126	Nagashima K, Hiro T, Fukamachi D, Shishido K, Murakami M, Negishi K, Nii M, Wakatsuki D, Suzuki H, Motoike Y, Ozaki Y, Nakazato J, Hayashi H, Higuchi S and Shoda M.	循環器内科	Anomalous origin of the coronary artery coursing between the great vessels presenting with a cardiovascular event (J-CONOMALY Registry)	Eur Heart J Cardiovasc Imaging 2020; 21: 222-230	Original Article

127	Yamanashi K, Kinugawa S, Fukushima A,	循環器内科	Branched-chain amino acid supplementation ameliorates angiotensin II-induced muscle atrophy.	Life Sci 2020; 250: 117593.	Original Article
128	Hayashi T, Morita Y, Mitani H,	循環器内科	Burden of heart failure on patient daily life and patient-physician discordance in disease management - results from a cross-sectional survey in Japan	Circ Rep. 2020 Nov 17;2(12):722-729. doi: 10.1253/circrep.CR-20-0073.	Original Article
129	Kadosaka T, Tsujinaga S, Iwano H,	循環器内科	Cardiac involvement with anti-mitochondrial antibody-positive myositis mimicking cardiac sarcoidosis.	ESC Heart Fail. 2020 Sep 11;7(6):4315-9.	Original Article
130	Ishikawa K, Fukushima A, Yokota T,	循環器内科	Clinical impacts and associated factors of delayed ambulation in patients with acute heart failure.	Circ Rep. 2020 Apr 5;1(4):179-186.	Original Article
131	Nakano H, Hamatani Y, Nagai T,	循環器内科	Current practice and effects of intravenous anticoagulant therapy in hospitalized acute heart failure patients with sinus rhythm	Sci Rep. 2021 Jan 13;11(1):1202.	Original Article
132	Shiraishi Y, Kohsaka S, Abe T,	循環器内科	Derivation and validation of clinical prediction models for rapid risk stratification for time-sensitive management for acute heart failure.	J Clin Med 2020; 9: E3394.	Original Article
133	Hamatani Y, Takada Y, Miyamoto Y,	循環器内科	Development and practical test of quality indicators for palliative care in patients with chronic heart failure.	Circ J 2020: 84: 584-591	Original Article
134	Hasegawa T, Asakura M, Asanuma H,	循環器内科	Difference in the prevalence of subclinical left ventricular impairment among left ventricular geometric pattern in a community-based population.	J Cardiol 2020; 75: 439-446	Original Article
135	Tenma T, Nagai T, Watanabe M,	循環器内科	Differential prognostic impact of atrial fibrillation in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction according to coronary artery disease status - report from the Japanese nationwide multicenter registry -.	Circ J 2020; 84: 397-403.	Original Article
136	Funabashi S, Omote K, Nagai T,	循環器内科	Elevated admission urinary N-acetyl- β -D-glucosamidase level is associated with worse long-term clinical outcomes in patients with acute heart failure	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care 2020 in press	Original Article
137	Nakano I, Hori H, Fukushima A,	循環器内科	Enhanced echo intensity of skeletal muscle is associated with exercise intolerance in patients with heart failure.	J Card Fail 2020; 26: 685-693	Original Article
138	Kawaguchi J, Hamatani Y, Hirayama A,	循環器内科	Experience of morphine therapy for refractory dyspnea as palliative care in advanced heart failure patients.	J Cardiol 2020; 75: 682-688.	Original Article
139	Sarashina-Motoi M, Iwano, Okada K,	循環器内科	Functional significance of intra-left ventricular vortices on energy efficiency in normal, dilated, and hypertrophied hearts	J Clin Ultrasound. 2021 May;49(4):358-367. doi: 10.1002/jcu.22938	Original Article
140	Yamaguchi T, Nakai M, Nishimura K,	循環器内科	Gender differences in Japanese patients with ruptured aortic aneurysms.	Eur J Vasc Endovasc Surg 2020; 71: 1907-1912.	Original Article
141	Omote K, Yokota I, Nagai T,	循環器内科	HDL Cholesterol and cardiovascular events in patients with stable coronary artery disease treated with statin: an observation from the REAL-CAD study	J Atheroscler Thromb 2020 in press.	Original Article
142	Tsujinaga S, Iwano H, Chiba Y,	循環器内科	Heart Failure With Preserved Ejection Fraction vs. Reduced Ejection Fraction - Mechanisms of Ventilatory Inefficiency During Exercise in Heart Failure	Circ Rep. 2020 Apr 7;2(5):271-279.	Original Article

143	Lee WC, Watanabe M, Yokoshiki H,	循環器内科	Higher pulmonary arterial pressure was related to non-pulmonary vein atrial tachyarrhythmia.	Int Heart J 2020 in press	Original Article
144	Aikawa T, Naya M, Kazuhiro K,	循環器内科	Improved regional myocardial blood flow and flow reserve after coronary revascularization assessed by serial 15O-water PET/CT.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging 2020; 21: 36-46.	Original Article
145	Harada T, Obokata M, Omote K,	循環器内科	Independent and incremental prognostic value of semiquantitative measures of tricuspid regurgitation severity in heart failure with preserved ejection fraction.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2020 Nov 7	Original Article
146	Chiba Y, Iwano H, Kaga S,	循環器内科	Influence of advanced pulmonary vascular remodeling on accuracy of echocardiographic parameters of left ventricular filling pressure	Pulm Circ. 2021 Jan 20;11(1):2045894020983723.	Original Article
147	Ishizaka S, Iwano H, Motoi K,	循環器内科	Influence of left ventricular systolic dysfunction on occurrence of pulsus tardus in patients with aortic stenosis	J Cardiol. 2021 May 13:S0914-5087(21)00106-4.	Original Article
148	Nambu H, Takada S, Maekawa S,	循環器内科	Inhibition of xanthine oxidase in the acute phase of myocardial infarction prevents skeletal muscle abnormalities and exercise intolerance.	Cardiovasc Res. 2021 Feb 22;117(3):805-819.	Original Article
149	Omote K, Nagai T, Iwano H,	循環器内科	Left ventricular outflow tract velocity time integral in hospitalised heart failure with preserved ejection fraction.	ESC Heart Fail 2020; 7: 167-175.	Original Article
150	Komoriyama H, Omote K, Nagai T,	循環器内科	Lower left ventricular ejection fraction and higher serum angiotensin-converting enzyme activity are associated with histopathological diagnosis by endomyocardial biopsy in patients with cardiac sarcoidosis	Int J Cardiol. 2020 Dec 15;321:113-117.	Original Article
151	Koyanagawa K, Kobayashi Y, Aikawa T,	循環器内科	Myocardial T1-mapping and extracellular volume quantification in patients and putative carriers of muscular dystrophy: early experience	Magn Reson Med Sci. 2020 Sep 7.	Original Article
152	Iwakami N, Nagai T, Furukawa A,	循環器内科	Optimal sampling in derivation studies is associated with improved discrimination in external validation for heart failure prognostic models.	J Clin Epidemiol 2020; 121: 71-80	Original Article
153	Fujiki S, Iijima K, Okabe M,	循環器内科	Placebo-controlled, double-blind study of empagliflozin (EMPA) and implantable cardioverter-defibrillator (EMPA-ICD) in patients with type 2 diabetes (T2DM): rationale and design.	Diabetes Ther. 2020 Nov;11(11):2739-2755.	Original Article
154	Tada A, Omote K, Nagai T,	循環器内科	Prevalence, determinants, and prognostic significance of hospital acquired pneumonia in patients with acute heart failure	J Clin Med. 2020 Jul 13;9(7):2219.	Original Article
155	Aikawa T, Yamaji K, Nagai T,	循環器内科	Procedural volume and outcomes after percutaneous coronary intervention for unprotected left main coronary artery disease - Report from the National Clinical Data (J-PCI Registry).	J Am Heart Assoc. 2020 May 5;9(9):e015404.	Original Article
156	Oikawa M, Yoshihisa A, Sato Y,	循環器内科	Prognostic impact of moderate mitral regurgitation on hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction: A report from the JASPER registry	Heart Vessels 2020; 35: 1087-1094	Original Article
157	Mababe O, Koyanagawa K, Hirata K,	循環器内科	Prognostic Value of 18F-FDG PET Using Texture Analysis in Cardiac Sarcoidosis.	JACC Cardiovasc imaging 2020; 13: 1096-1097	Original Article
158	Nagai T, Honda Y, Honda S,	循環器内科	Prognostic value of base excess as indicator of acid-base balance in acute heart failure	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care 2020 in press	Original Article

159	Koyanagawa K, Naya M, Aikawa T,	循環器内科	Prognostic value of phase analysis on gated single photon emission computed tomography in patients with cardiac sarcoidosis	J Nucl Cardiol. 2021 Feb;28(1):128-136. doi: 10.1007/s12350-019-01660-9.	Original Article
160	Kobayashi Y, Omote K, Nagai T,	循環器内科	Prognostic value of serum uric acid in hospitalized heart failure patients with preserved ejection fraction: A report from the Japanese nationwide multicenter registry.	Am J Cardiol 2020; 125: 772-776.	Original Article
161	Kakutani N, Fukushima A, Kinugawa S,	循環器内科	Progressive mobilization program for patients with acute heart failure reduces hospital stay and improves clinical outcome.	Circ Rep 2020 in press.	Original Article
162	Mizuno A, Miyashita M, Oishi S,	循環器内科	Quality indicators of palliative care for acute cardiovascular disease.	J Cardiol 2020; 76: 177-183	Original Article
163	Lee WC, Watanabe M, Yokoshiki H,	循環器内科	Rapid-rate nonsustained ventricular tachycardias in high-risk dilated cardiomyopathy patients.	Pacing Clin Electrophysiol. 2020 Oct;43(10):1086-1095.	Original Article
164	Nakano Y, Kinugawa S, Hori H,	循環器内科	Serum brain-derived neurotrophic factor levels are associated with skeletal muscle function but not with muscle mass in patients with heart failure	Int Heart J 2020; 61: 96-102	Original Article
165	Iwano H, Yokoyama S, Kamiya K,	循環器内科	Significance and prognostic impact of v wave on pulmonary artery pressure in patients with heart failure: beyond the wedge pressure.	Heart Vessels 2020; 35: 1079-1086.	Original Article
166	Iwano H, Shibayama K, Kitai T,	循環器内科	Study protocol for prospect trial to elucidate the utility of echocardiography-based cardiac output in acute heart failure (PREDICT)	J Echocardiogr. 2020 Dec;18(4):235-239.	Original Article
167	Takahashi M, Kinugawa S, Takada S,	循環器内科	The disruption of invariant natural killer T cells exacerbates cardiac hypertrophy and failure caused by pressure overload in mice	Exp Physiol. 2020; 105: 489-501	Original Article
168	Kaku H, Funakoshi K, Ide T,	循環器内科	The impact of hospital practice factors on mortality in patients hospitalized for heart failure in Japan: an analysis of a large number of health records from a nationwide claims-based database, the JROAD-DPC	Circ J. 2020 Apr 24;84(5):742-753.	Original Article
169	Koyanagawa K, Naya M, Aikawa T,	循環器内科	The rate of myocardial perfusion recovery rate after steroid therapy and its implication for cardiac events in cardiac sarcoidosis and primarily preserved left ventricular ejection fraction.	J Nucl Cardol 2020 in press	Original Article
170	Abe T, Yokota T, Fukushima A,	循環器内科	Type 2 diabetes is an independent predictor of lowered peak aerobic capacity in heart failure patients with non-reduced left ventricular ejection fraction	Cardiovasc Diabetol. 2020 Sep 19;19(1):142	Original Article
171	Kato Y, Nagai T, Oyama-Manabe N,	循環器内科	Usefulness of liver magnetic resonance elastography for estimating right atrial pressure in heart failure patients.	JACC Cardiovasc Imaging 2020; 13: 2050-2052.	Original Article
172	Manabe O, Klein R, Katoh C,	循環器内科	Validation of regional myocardial blood flow quantification using three-dimensional PET with rubidium-82: repeatability and comparison with two-dimensional PET data acquisition.	Nuclear Medicine Communications 2020; 41: 768-775.	Original Article
173	Manabe O, Oyama-Manabe N, Nagai T,	循環器内科	Detailed visualization of the right and left ventricular, left atrial, and epicardial involvement of cardiac sarcoidosis with novel semiconductor PET/CT.	EJNMMI Res 2020; 47: 1773-1774.	Case Report
174	Sato T, Wakita M, Matsushima M,	循環器内科	A Novel Deletion of the Dystrophin Gene in a Patient without Muscle-related Symptoms.	European Heart Journal 2020, in press	Case Report

175	Konishi T, Hotta D, Tanaka S,	循環器内科	A rare combination: cardiac myxoma and aortic stenosis.	Int Med 2020 in press	Case Report
176	Chiba Y, Kamiya K, Aikawa T,	循環器内科	Abnormal FDG uptake predicting the instability of thoracic aortic aneurysms	J Nucl Cardiol 2020; 27: 1841-1843	Case Report
177	Konishi T, Funayama N, Yamamoto T,	循環器内科	Acute anterior myocardial infarction complicated by takotsubo syndrome: the value of multimodality imaging	Kardiol Pol 2020; 78: 1055-1056.	Case Report
178	Sato T, Konishi T, Kamada R,	循環器内科	Acute Gastric Dilation after Catheter Ablation.	Intern Med 2020; 59: 2341	Case Report
179	Kato T, Uemura Y, Naya M,	循環器内科	Association of coronary revascularisation after physician-referred non-invasive diagnostic imaging tests with outcomes in patients with suspected coronary artery disease: a post hoc subgroup analysis.	BMJ Open 2020; 10: e035111.	Case Report
180	Aikawa T, Koyanagawa K,	循環器内科	Cardiac sarcoidosis mimicking myocardial infarction: a comprehensive evaluation using computed tomography and positron emission tomography.	J Nucl Cardiol 2020; 27: 1066-1067.	Case Report
181	Konishi T, Funayama N, Yamamoto T,	循環器内科	Cerebral embolization from left atrial myxoma causing takotsubo cardiomyopathy complicated with congestive heart failure.	Cardiol J 2020; 27: 439-440	Case Report
182	Nishino H, Iwano H, Sarashina M,	循環器内科	Clinical significance of end-diastolic opening of pulmonary valve in a case complicating left ventricular systolic dysfunction.	J Echocardiography 2020 in press	Case Report
183	Konishi T, Hamabe A, Tabata H.	循環器内科	Esophageal Perforation by Fish Bone Complicated with Pseudoaneurysm	Intern Med 2020; 59: 2197	Case Report
184	Konishi T, Funayama N, Yamamoto T,	循環器内科	Histopathologically confirmed very late stent thrombosis associated with stent fracture after implantation of first-generation drug eluting stent.	Cardiol J 2020; 27: 204-205	Case Report
185	Kadosaka T, Tsujinaga S	循環器内科	Invasive cardiac lipoma complicating visceral inversion	J Am Coll Cardiol Case Rep. 2020; 2: 1570-1571	Case Report
186	Miura S, Manabe O, Naya M,	循環器内科	Multibodality evaluation of Takotsubo cardiomyopathy in an isolated single coronary artery anomaly.	J Nucl Cardiol 2020; Online ahead of print	Case Report
187	Sato T, Konishi T, Wakasa S,	循環器内科	Phosphoglyceride crystal deposition disease as a rare tumour after cardiac surgery.	Eur Heart J 2020; 41: 2596.	Case Report
188	Koya T, Temma T, Watanabe M,	循環器内科	Radiofrequency catheter ablation of a sporadically occurring ventricular arrhythmia originating from the right ventricular outflow tract: a novel arrhythmia induction strategy involving atrial fibrillation provocation.	HeartRhythm Case Rep 2020; 6: 411-414.	Case Report
189	Chiba Y, Fukushima A, Nakao M,	循環器内科	Refractory Right Ventricular Failure in a Patient with Emery-Dreifuss Muscular Dystrophy	Intern Med. 2020; 59: 1277-1281	Case Report
190	Sato T, Kamada R, Koizumi T,	循環器内科	Refractory ventricular tachycardia in a patient with a left ventricular assist device successfully treated with stellate ganglion phototherapy	Can J Cardiol. 2020 Dec;36(12):1977.e1-1977.e3.	Case Report

191	Tsujinaga S, Iwano H, Oshino T	循環器内科	Reversible cancer therapeutics-related cardiac dysfunction complicating intra-cardiac thrombi.	Intern Med. 2020 Sep 1;59(17):2155-2160.	Case Report
192	Hitsumoto T, Hasegawa T, Hamatani Y,	循環器内科	Severely impaired leaflet mobility of the tricuspid valve in an elderly woman	Circ Rep 2020; 82: 289-292	Case Report
193	Nakao M, Watanabe M, Kamada R,	循環器内科	Successful epicardial ablation for ventricular tachycardia originating from the true apex of apical aneurysm associated with hypertrophic cardiomyopathy	J Electrocardiol. 2020 Jul-Aug;61:170-174.	Case Report
194	Teshima T	血液内科	Learning to mellow out GVHD.	Blood. 2021 Mar 4;137(9):1142-1143. doi: 10.1182/blood.2020009315.	Review
195	Yokoyama E, Hashimoto D, Hayase E,	血液内科	Short-term KRP203 and posttransplant cyclophosphamide for graft-versus-host disease prophylaxis.	Bone Marrow Transplant. 2020 Apr;55(4):787-795. doi: 10.1038/s41409-019-0733-8. Epub 2019 Nov 4.	Original Article
196	Matsuda K, Ono S, Tanaka I,	消化器内科	Histological and magnified endoscopic evaluation of villous atrophy in gastrointestinal graft-versus-host disease.	Ann Hematol. 2020 May;99(5):1121-1128. doi: 10.1007/s00277-020-03966-y. Epub 2020 Mar 4.	Original Article
197	Kitagataya T, Suda G, Nagashima K,	消化器内科	Prevalence, clinical course, and predictive factors of immune checkpoint inhibitor monotherapy-associated hepatitis in Japan.	J Gastroenterol Hepatol. 2020 Oct;35(10):1782-1788. doi: 10.1111/jgh.15041. Epub 2020 Mar 31.	Original Article
198	Goto H, Makita S, Kato K,	血液内科	Efficacy and safety of tisagenlecleucel in Japanese adult patients with relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma.	Int J Clin Oncol. 2020 Sep;25(9):1736-1743. doi: 10.1007/s10147-020-01699-6. Epub 2020 May 24.	Original Article
199	Senjo H, Hirata K, Izumiyama K,	血液内科	High metabolic heterogeneity on baseline 18FDG-PET/CT scan as a poor prognostic factor for newly diagnosed diffuse large B-cell lymphoma.	Blood Adv. 2020 May 26;4(10):2286-2296. doi: 10.1182/bloodadvances.2020001816.	Original Article
200	Sato K, Ujiie H, Nakazato S,	皮膚科	Rosai-Dorfman disease: earlier spontaneous regression of skin lesions relative to nasal, pharyngeal, and bone lesions.	Eur J Dermatol. 2020 Apr 1;30(2):182-183. doi: 10.1684/ejd.2020.3718.	Original Article
201	Hidaka D, Onozawa M, Miyashita N,	血液内科	Short-term treatment with imetelstat sensitizes hematopoietic malignant cells to a genotoxic agent via suppression of the telomerase-mediated DNA repair process.	Leuk Lymphoma. 2020 Jun 22:1-11. doi: 10.1080/10428194.2020.1779256. Online ahead of print.	Original Article
202	Immunological Genome Project.	血液内科	ImmGen at 15.	Nat Immunol. 2020 Jul;21(7):700-703. doi: 10.1038/s41590-020-0687-4.	Review
203	Hattori T, Amishima M, Morinaga D,	呼吸器内科	Older age is associated with sustained detection of SARS-CoV-2 in nasopharyngeal swab samples.	J Infect. 2020 Jun 21;82(1):159-98. doi: 10.1016/j.jinf.2020.06.046. Online ahead of print.	Original Article
204	Teshima T.	血液内科	Create a healthy diet after transplant!	Blood. 2020 Jul 2;136(1):8-9. doi: 10.1182/blood.2020006611.	Review
205	Shiratori S, Sugita J, Ota S,	血液内科	Low-dose anti-thymocyte globulin for GVHD prophylaxis in HLA-matched allogeneic peripheral blood stem cell transplantation.	Bone Marrow Transplant. 2021 Jan;56(1):129-136.	Original Article
206	Sakakibara-Konishi J, Sato M, Sato MT,	内科 I	Nivolumab-induced immune thrombocytopenia in a patient with malignant pleural mesothelioma.	Respir Med Case Rep. 2020 Jul 17;31:101170. doi: 10.1016/j.rmcr.2020.101170. eCollection 2020.	Original Article

207	Goto H, Hidaka D, Yamamoto S,	血液内科	Feasibility and efficacy of low-dose pegfilgrastim for CD34+ cell mobilization in lymphoma.	J Clin Apher. 2020 Sep;35(5):413-419. doi: 10.1002/jca.21816. Epub 2020 Jul 29.	Original Article
208	Kagami K, Ishiguro N, Yamada T,	薬剤部	Efficacy and safety of colistin for the treatment of infections caused by multidrug-resistant gram-negative bacilli.	J Infect Chemother. 2021 Mar;27(3):473-479.	Original Article
209	Senjo H, Onozawa M, Hidaka D,	血液内科	A novel nutritional index "simplified CONUT" and the disease risk index independently stratify prognosis of elderly patients with acute myeloid leukemia.	Sci Rep. 2020 Nov 10;10(1):19400. doi: 10.1038/s41598-020-76250-8.	Original Article
210	Shiratori S, Ohigashi H, Ara T,	血液内科	High lymphocyte counts before antithymocyte globulin administration predict acute graft-versus-host disease.	Ann Hematol. 2020 Nov 19. doi: 10.1007/s00277-020-04347-1. Online ahead of print.	Original Article
211	Suto K, Sugita J, Hashimoto D,	血液内科	Extramedullary hematopoiesis of the cranial dura.	Int J Hematol. 2021 Mar;113(3):315-317.	Case Report
212	Tomoaki Muramatsu, Takuro Noguchi,	臓器内科	Newly emerged immunogenic neoantigens in established tumors enable hosts to regain immunosurveillance in a T-cell-dependent manner	International Immunology. 2021 Jan 1;33(1):39-48.	Original Article
213	Aiyama T, Orimo T, Yokoo H,	消化器外科 I	Adenomatous polyposis coli-binding protein end-binding 1 promotes hepatocellular carcinoma growth and metastasis.	PLoS One. 2020 Sep 21;15(9):e0239462	Original Article
214	Asahi Y, Hatanaka KC, Hatanaka Y,	消化器外科 I	Prognostic impact of CD8+ T cell distribution and its association with the HLA class I expression in intrahepatic cholangiocarcinoma	Surg Today. 2020 Aug;50(8):931-940.	Original Article
215	Emoto S, Shibasaki S, Nagatsu A,	消化器外科 I	Triazolopyrimidine derivative NK026680 and donor-specific transfusion induces CD4(+)CD25(+)Foxp3(+) T cells and ameliorates allograft rejection in an antigen-specific manner.	Transpl Immunol. 2021 Apr;65:101338	Original Article
216	Fujiyoshi S, Honda S, Minato M,	消化器外科 I	Hypermethylation of CSF3R is a novel cisplatin resistance marker and predictor of response to postoperative chemotherapy in hepatoblastoma	Hepatol Res. 2020 May;50(5):598-606.	Original Article
217	Fukasaku Y, Goto R, Ganchiku Y,	消化器外科 I	Novel immunological approach to asses donor reactivity of transplant recipients using a humanized mouse model.	Hum Immunol. 2020 Jul;81(7):342-353.	Original Article
218	Goto R, Kosai-Fujimoto Y, Yagi S,	消化器外科 I	De novo hepatocellular carcinoma in living donor liver grafts: A Japanese multicenter experience.	Hepatol Res. 2020 Dec;50(12):1365-1374.	Original Article
219	Honda S, Chatterjee A, Leichter AL,	消化器外科 I	A MicroRNA Cluster in the DLK1-DIO3 Imprinted Region on Chromosome 14q32.2 Is Dysregulated in Metastatic Hepatoblastomas.	Front Oncol. 2020 Nov 12;10:513601.	Original Article
220	Ichikawa N, Homma S, Funakoshi T,	消化器外科 I	Impact of technically qualified surgeons on laparoscopic colorectal resection outcomes: results of a propensity score-matching analysis.	Front Oncol. 2020 Nov 12;10:513601.	Original Article
221	Ichikawa N, Kamiyama T, Yokoo H,	消化器外科 I	Preoperative chemotherapy in colorectal cancer patients with synchronous liver metastasis.	Mol Clin Oncol. 2020 Apr;12(4):374-383.	Original Article
222	Ishiguro Y, Sakihama H, Yoshida T,	消化器外科 I	Prognostic Significance of Circulating Tumor Cells with Mesenchymal Phenotypes in Patients with Gastric Cancer: A Prospective Study.	Ann Surg Oncol. 2021 Feb;28(2):1178-1186.	Original Article

223	Ohira M, Yoshizumi T, Yugawa K,	消化器外科 I	Association of inflammatory biomarkers with long-term outcomes after curative surgery for mass-forming intrahepatic cholangiocarcinoma.	Surg Today. 2020 Apr;50(4):379-388.	Original Article
224	Orimo T, Kamiyama T, Kamachi H,	消化器外科 I	Predictive value of gadoxetic acid enhanced magnetic resonance imaging for posthepatectomy liver failure after a major hepatectomy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2020 Aug;27(8):531-540.	Original Article
225	Orimo T, Kamiyama T, Wakayama K,	消化器外科 I	Hepatectomy Combined with Diaphragmatic Resection for Hepatocellular Carcinoma with Diaphragmatic Involvement: A Propensity Score-Matched Analysis.	Ann Surg Oncol. 2020 Oct;27(11):4153-4163.	Original Article
226	Shibata K, Hayasaka T, Hashimoto S,	消化器外科 I	Imaging Mass Spectrometry Reveals the Changes in the Taurine Conjugates of Dihydroxycholanoic Acid During Hepatic Warm Ischemia and Reperfusion in a Rat Model.	Transplant Proc. Jul-Aug 2020;52(6):1880-1883.	Original Article
227	Shimada S, Kamiyama T, Orimo T,	消化器外科 I	Long-term prognostic factors of patients with hepatocellular carcinoma who survive over 10 years after hepatectomy.	J Surg Oncol. 2020 Jun;121(8):1209-1217.	Original Article
228	Shimada S, Kamiyama T, Orimo T,	消化器外科 I	Prognoses, outcomes, and clinicopathological characteristics of very elderly patients with hepatocellular carcinoma who underwent hepatectomy	World J Surg Oncol. 2020 Jun 10;18(1):122.	Original Article
229	Takahashi H, Kamiyama T, Hirane N,	消化器外科 I	Analysis of the correlation between alterations in Nglycans and invasiveness in liver cancer cell lines.	Oncol Rep. 2020 Dec;44(6):2757-2769.	Original Article
230	Toyoshima Y, Nemoto K, Matsumoto S,	消化器外科 I	SARS-CoV-2 genomic variations associated with mortality rate of COVID-19.	J Hum Genet. 2020 Dec;65(12):1075-1082.	Original Article
231	Wakizaka K, Kamiyama T, Wakayama K,	消化器外科 I	Role of Wnt5a in suppressing invasiveness of hepatocellular carcinoma via epithelial-mesenchymal transition.	Oncol Lett. 2020 Nov;20(5):268.	Original Article
232	Wakizaka K, Yokoo H, Kamiyama T,	消化器外科 I	CD133 and epithelial cell adhesion molecule expressions in the cholangiocarcinoma component are prognostic factors for combined hepatocellular cholangiocarcinoma	Hepatol Res. 2020 Feb;50(2):258-267.	Original Article
233	Kamachi H, Homma S, Kawamura H,	消化器外科 I	Intermittent pneumatic compression versus additional prophylaxis with enoxaparin for prevention of venous thromboembolism after laparoscopic surgery for gastric and colorectal malignancies: multicentre randomized clinical trial.	BJS Open. 2020 Oct;4(5):804-810.	Original Article
234	Sakamoto Y, Yoshio S, Doi H,	消化器外科 I	Serum soluble Siglec-7 concentration as an indicator of liver macrophage activation and advanced fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease.	Hepatol Res. 2020 Apr;50(4):466-477.	Original Article
235	Mori M, Ikeda N, Taketomi A,	消化器外科 I	COVID-19: clinical issues from the Japan Surgical Society.	Surg Today. 2020 Aug;50(8):794-808.	Original Article
236	Sho T, Suda G, Ogawa K,	消化器外科 I	Lenvatinib in patients with unresectable hepatocellular carcinoma who do not meet the REFLECT trial eligibility criteria.	Hepatol Res. 2020 Aug;50(8):966-977.	Original Article
237	Otoguro T, Tanaka T, Kasai H,	消化器外科 I	Establishment of a Cell Culture Model Permissive for Infection by Hepatitis B and C Viruses.	Hepatol Commun. 2020 Dec 19;5(4):634-649.	Original Article
238	Shibuya K, Watanabe M, Goto R,	消化器外科 I	The Efficacy of the Hepatocyte Spheroids for Hepatocyte Transplantation.	Cell Transplant. Jan-Dec 2021;30:96368972110000 14.	Original Article

239	Asahi Y, Kamiyama T, Orimo T,	消化器外科 I	Laparoscopic hepatectomy for hepatic angiomyolipoma with preoperative diagnosis of other malignancy: a report of 2 cases.	Surg Case Rep. 2021 Feb 8;7(1):44.	Original Article
240	Orimo T, Kamiyama T, Taketomi A.	消化器外科 I	ASO Author Reflections: Anatomical Liver Sectionectomy for Centrally Located Hepatocellular Carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2021 Feb 25. doi: 10.1245/s10434-021-09791-5. Online ahead of print.	Original Article
241	Matsuzawa F, Kamachi H, Mizukami T,	消化器外科 I	Mesothelin blockage by Amatuximab suppresses cell invasiveness, enhances gemcitabine sensitivity and regulates cancer cell stemness in mesothelin-positive pancreatic cancer cells.	BMC Cancer. 2021 Feb 26;21(1):200.	Original Article
242	Tsuruga Y, Kamiyama T, Kamachi H,	消化器外科 I	Functional transition: Inconsistently parallel to the increase in future liver remnant volume after preoperative portal vein embolization.	World J Gastrointest Surg. 2021 Feb 27;13(2):153-163.	Original Article
243	Sakamoto Y, Yoshio S, Doi H,	消化器外科 I	Increased Frequency of Dysfunctional Siglec-7 − CD57 + PD-1 + Natural Killer Cells in Patients With Non-alcoholic Fatty Liver Disease.	Front Immunol. 2021 Feb 22;12:603133.	Original Article
244	Orimo T, Kamiyama T, Kakisaka T,	消化器外科 I	Central Hepatectomy Versus Major Hepatectomy for Centrally Located Hepatocellular Carcinoma: A Propensity Score Matching Study.	Ann Surg Oncol. 2021 Mar 1.	Original Article
245	Kawamura N, Goto R, Koshizuka Y,	消化器外科 I	Second Case of Deceased Donor Liver Transplantation in a Patient Co-infected with HIV and HCV in Japan: Special Reference to the Management of Complicated Coagulopathy Due to a Diverse Spectrum of Preformed Anti-HLA Antibodies.	Jpn J Infect Dis. 2020 Sep 24;73(5):369-372	Case Report
246	Ota T, Kamiyama T, Kato T,	消化器外科 I	A rare case of cavernous hemangioma accompanied with diffuse hepatic hemangiomatosis.	Surg Case Rep. 2020 Oct 1;6(1):251.	Case Report
247	Shibata K, Yoshida Y, Miyaoka Y,	消化器外科 I	Intestinal anisakiasis with severe intestinal ischemia caused by extraluminal live larvae: a case report.	Surg Case Rep. 2020 Oct 1;6(1):253.	Case Report
248	Ishiguro Y, Ishikawa T, Hamada T,	消化器外科 I	Laparoscopic repair of inguinal hernia in a patient with a ventriculoperitoneal shunt: A case report.	Asian J Endosc Surg. 2021 Apr;14(2):282-285.	Case Report
249	Yoshida T, Ichikawa N, Homma S,	消化器外科 I	Ischemic proctitis 6 months after laparoscopic sigmoidectomy: a case report.	Surg Case Rep. 2021 Feb 22;7(1):54.	Case Report
250	Takeuchi Y, Ebihara Y, Nakanishi Y,	消化器外科 II	A minimally invasive abdominal and left thoracic approach as a palliative treatment for adenocarcinoma of the esophagogastric junction with severe stenosis: A case report.	Asian J Endosc Surg 13(2), 215-218, 2020-4	Case Report
251	Uemura S, Wang L, Tsuda M,	消化器外科 II	Signaling Adaptor Protein Crk Is Involved in Malignant Feature of Pancreatic Cancer Associated With Phosphorylation of c-Met.	Biochem Biophys Res Commun 542(2), 378-384, 2020-4	Original Article
252	Hayama S, Senmaru N, Hirano S	消化器外科 II	Delayed Gastric Emptying After Pancreatoduodenectomy: Comparison Between Invaginated Pancreatogastrostomy and Pancreatojejunostomy.	BMC Surg 20(1), 60, 2020-4	Original Article
253	Tsutaho A, Hashimoto A, Hashimoto S,	消化器外科 II	High Expression of AMAP1, an ARF6 Effector, Is Associated With Elevated Levels of PD-L1 and Fibrosis of Pancreatic Cancer.	Cell Commun Signal 18(1), 101, 2020-6	Original Article
254	Kimura K, Kurashima Y, Tanaka K,	消化器外科 II	Laparoscopic Partial Splenectomy for Splenic Lymphangioma: A Case Report,	Surg Case Rep 6(1), 140, 2020-6	Case Report

255	Kushiya H, Nakamura T, Asano T,	消化器外科Ⅱ	Predicting the Outcomes of Postoperative Pancreatic Fistula After Pancreatoduodenectomy Using Prophylactic Drain Contrast Imaging.	J Gastrointest Surg 0, e-pub, 2020-6	Original Article
256	Sekiya S, Ebihara Y, Yamamura Y,	消化器外科Ⅱ	Two emergency cases of spontaneous esophageal perforation treated using a minimally invasive abdominal and left thoracic approach.	Asian J Endosc Surg 13(3), 406-409, 2020-7	Case Report
257	Miyasaka M, Mioka T, Kishimoto T,	消化器外科Ⅱ	A complex genetic interaction implicates that phospholipid asymmetry and phosphate homeostasis regulate Golgi functions.	PLoS One 15(7), e0236520, 2020-7	Original Article
258	Poudel S, Miyazaki K, Hirano S	消化器外科Ⅱ	Continuation of antithrombotic therapy increases minor bleeding but does not increase the risk other morbidities in open inguinal hernia repair: A propensity score-matched analysis.	Hernia 24(4), 857-865, 2020-8	Original Article
259	Poudel S, Hirano S, Kurashima Y,	消化器外科Ⅱ	Are graduating residents sufficiently competent? Results of a national gap analysis survey of program directors and graduating residents in Japan.	Surg Today 50(9), 995-1001, 2020-9	Original Article
260	Kimura K, Ebihara Y, Tanaka K,	消化器外科Ⅱ	Robot-assisted laparoscopic total gastrectomy for Epstein-Barr virus-associated multiple gastric cancer: A case report.	Int J Surg Case Rep 75, 446-450, 2020-9	Case Report
261	Okawa Y, Ebihara Y, Tanaka K,	消化器外科Ⅱ	Laparoscopic-assisted distal gastrectomy and central pancreatectomy for gastric and perigastric lymph node metastases and pancreatic invasion from melanoma: a case report,	Surg Case Rep 6(1), 239, 2020-9	Case Report
262	Watanabe Y, Fuchshuber P, Homma T,	消化器外科Ⅱ	An Unmodulated Very-Low-Voltage Electrosurgical Technology Creates Predictable and Ultimate Tissue Coagulation: From Experimental Data to Clinical Use.	Surg Innov 27(5), 492-498, 2020-10	Original Article
263	Nakanishi Y, Okamura K, Tsuchikwa T,	消化器外科Ⅱ	Time to Recurrence After Surgical Resection and Survival After Recurrence Among Patients With Perihilar and Distal Cholangiocarcinomas,	Ann Surg Oncol 27(11), 4171-4180, 2020-10	Original Article
264	Tanaka K, Nakamura T, Asano T,	消化器外科Ⅱ	Pancreatic body and tail cancer and favorable metastatic lymph node behavior on the left edge of the aorta.	Pancreatology 20(7), 1451-1457, 2020-10	Original Article
265	Asano T, Nakamura T, Noji T,	消化器外科Ⅱ	Outcomes of limited resection for patients with intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas: A single-center experience.	Pancreatology 20(7), 1399-1405, 2020-10	Original Article
266	Noji T, Nagayama M, Imai K,	消化器外科Ⅱ	Conversion Surgery for Initially Unresectable Biliary Malignancies: A Multicenter Retrospective Cohort Study,	Surg Today 50(11), 1409-1417, 2020-11	Original Article
267	Watanabe Y, Hirano S, Sato N	消化器外科Ⅱ	CLINICAL TRIALS AND ETHICAL GUIDELINES FOR MEDICAL AND HEALTH RESEARCH IN JAPAN.	MICRO 11(2), 60-67, 2020-11	Review
268	Ebihara Y, Kurashima Y, Murakami S,	消化器外科Ⅱ	Minimally invasive abdominal and left thoracic approach for Siewert type II adenocarcinoma of the oesophagogastric junction: Novel technique for simultaneous combined use of laparoscopy and thoracoscopy.	J Minim Access Surg 16(3), 285-288, 2020-79	Original Article
269	Miyasaka M, Ebihara Y, Yamamura Y,	消化器外科Ⅱ	The effect of the body mass index on the short-term surgical outcomes of laparoscopic total gastrectomy: A propensity score-matched study.	J Minim Access Surg 16(4), 376-380, 2020-1012	Original Article
270	Noji T, Tanaka K, Matsui A,	消化器外科Ⅱ	Transhepatic Direct Approach to the "Limit of the Division of the Hepatic Ducts" Leads to a High R0 Resection Rate in Perihilar Cholangiocarcinoma.	J Gastrointest Surg , e-pub, 2021-1	Original Article

271	Kurashima Y, Hirano S, Yamaguchi S	消化器外科Ⅱ	Can general surgeons perform laparoscopic surgery independently within 10 years of training? A nationwide survey on laparoscopic surgery training in Japan,	Surg Today , e-pub, 2021-1	Original Article
272	Tsuchikawa T, Tanaka K, Nakanishi Y,	消化器外科Ⅱ	Clinical Impact of Organ-Preserving Surgery for Pancreatic Neuroendocrine Neoplasms: A Single-Center Experience.	Pancreas 50(2), 196-200, 2021-2	Original Article
273	Ebata N, Fujita M, Sasagawa S,	消化器外科Ⅱ	Molecular Classification and Tumor Microenvironment Characterization of Gallbladder Cancer by Comprehensive Genomic and Transcriptomic Analysis.	Cancers (Basel) 13(4), 733, 2021-2	Original Article
274	Saito T, Ebihara Y, Li L,	消化器外科Ⅱ	A novel laparoscopic near-infrared fluorescence spectrum system for photodynamic diagnosis of peritoneal dissemination in pancreatic cancer.	Photodiagnosis Photodyn Ther 33, 102157, 2021-3	Original Article
275	Uemura S, Shichinohe T, Kurashima Y,	消化器外科Ⅱ	Effects of preoperative psoas muscle index and body mass index on postoperative outcomes after video-assisted esophagectomy for esophageal cancer.	Asian J Endosc Surg , e-pub, 2021-3	Original Article
276	Wada H, Murakawa K, Ono K, Hirano S	消化器外科Ⅱ	Laparoscopic ultrasound guided wedge resection of the stomach: a novel procedure for gastric submucosal tumor.	Update Surg , e-pub, 2021-3	Original Article
277	TATSUYA KATO, HIDEKI UJIIE,	循環器・呼吸器外科	A novel Tn antigen epitope-recognizing antibody for MUC1 predicts clinical outcome in patients with primary lung adenocarcinoma	Oncol Lett. 21(3): 202.2021.3	Original Article
278	Aragaki M, Kato T, Fujiwara-Kuroda A,	循環器・呼吸器外科	Preoperative identification of clinicopathological prognostic factors for relapse-free survival in clinical N1 non-small cell lung cancer: a retrospective single center-based study	J Cardiothorac Surg. 2020 Aug 28;15(1):229.	Original Article
279	Motohashi Y, Kato T, Aragaki M,	循環器・呼吸器外科	Intraoperative real-time hemodynamics in intralobar pulmonary sequestration using indocyanine green and near-infrared thoracoscopy	Gen Thorac Cardiovasc Surg.2021 Feb;69(2):383-387	Case Report
280	Kato N, Tachibana T, Asai H,	循環器・呼吸器外科	Persistent Fifth Aortic Arch With Left Ventricular Dysfunction and Left Bronchial Obstruction	Ann Thorac Surg. 2020 Nov;110(5):e361-e363	Original Article
281	Ujiie H, Yamaguchi A, Gregor A,	循環器・呼吸器外科	Developing a virtual reality simulation system for preoperative planning of thoracoscopic thoracic surgery.	J Thorac Dis. 2021 Feb;13(2):778-783	Original Article
282	Sasaki A, Kato T, Ujiie H,	循環器・呼吸器外科	Primary pulmonary lymphoepithelioma-like carcinoma with positive expression of Epstein-Barr virus and PD-L1:A case report	Int J Surg Case Rep. 2021 Feb;79:431-435	Case Report
283	Kato T, Fujiwara-Kuroda A, Shiina N,	循環器・呼吸器外科	A Novel Insertion Technique for the Extra-Long Montgomery T-Tube in Patients with a Large Mediastinal Tumor	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Oct 21;26(5):294-297	Case Report
284	Otsuka S, Ujiie H, Kato T,	循環器・呼吸器外科	Pneumatosis Intestinalis After Living Donor Lung Transplantation Associated With Alpha-Glucosidase Inhibitor Treatment:A Case Report	Transplant Proc. S0041-1345(21)00117-2, 2021 Mar 9	Case Report
285	Shingu Y, Katoh N, Ooka T,	循環器・呼吸器外科	L-Carnitine supplementation for the prevention of postoperative atrial fibrillation in aortic valve surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Mar 10.	Original Article
286	Matsui Y, Minami A, Kondo M,	整形外科	A minimum 5-year longitudinal study of new total wrist arthroplasty in patients with rheumatoid arthroplasty.	J Hand Surg Am. 2020; 45(3): 255.e1-255.e7	Original article

287	Endo T, Takahata M, Koike Y,	整形外科	Clinical characteristics of patients with thoracic myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament.	J Bone Miner Metab. 2020; 38(1):63-69	Original article
288	Iwasaki K, Inoue M, Kasahara Y,	整形外科	Inclination for Blumensaat's line influences on the accuracy of the Quadrant method in evaluation for anterior cruciate ligament reconstruction.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2020 Jun; 28(6): 1885-1893	Original article
289	Yamada K, Sudo H, Iwasaki N, Chiba A	整形外科	Mechanical analysis of notch-free pre-bent rods for spinal deformity surgery	Spine 2020; 45(6): E312-318	Original article
290	Shimodan S, Sato D (equal contribution),	整形外科	Ten years change in post fracture care for hip fracture patients.	J Bone Miner Metab. 2020; 38(2):222-229	Original article
291	Watanabe T, Kanayama M, Takahata M,	整形外科	Perioerative complications of spine surgery in patients aged 80 years or older -Multicenter prospective cohort study-.	J Neurosurg-Spine.2020 Apr; 32 (4): 622-630	Original article
292	Kondo E, Joutoku Z, Matsubara S,	整形外科	Posterolateral structure reconstruction for the chronic multiple ligament injuries of the knee	Ann Joint. 2019 Nov; 4	Original article
293	Kondo E, Masuda T, Shiota J,	整形外科	Residual remnant preserving anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction using hamstring tendon autografts.	Ann Joint.2019 Sep;4	Original article
294	Ota M, Tanaka Y, Nakagawa I,	整形外科	Chondrocytes play a role in the development of rheumatoid arthritis via TMEM147-mediated NF-κB activation.	Arthritis Rheumatol. 2020; 72(6):931-942	Original article
295	Kim WY, Onodera T, Kondo E,	整形外科	Which contributes to meniscal repair, synovium or meniscus? -in vivo rabbit model study with freeze-thaw method-	Am J Sports Med. 2020; 48(6):1406-1415	Original article
296	Onodera T, Baba R, Kasahara Y,	整形外科	Therapeutic effects and adaptive limits of an acellular technique by ultrapurified alginate (UPAL) gel implantation in canine osteochondral defect models.	Regen Med. 2020; 14:154-159	Original article
297	Hasegawa Y, Matsui Y, Iwasaki N.	整形外科	Computed tomography osteoabsorptiometry changes following ulnar shortening osteotomy: observations in nine patients.	J Hand Surg Eur. 2020; 45(5):527-529	Original article
298	Irie T, Orias AAE, Irie TY,	整形外科	Three-dimensional hip joint congruity evaluation of the borderline dysplasia: zonal-acetabular radius of curvature.	J Orthop Res. 2020; 38(10):2197-2205	Original article
299	Yabuuchi K, Kondo E, Onodera J,	整形外科	Clinical outcomes and complications during and after medial open-wedge high tibial osteotomy using a locking plate: A 3 to 7-year follow-up study.	Orthop J Sports Med. 2020; 8(6):2325967120922535	Original article
300	Ukeba D, Sudo H, Tsujimoto T,	整形外科	Bone marrow mesenchymal stem cells combined with ultra-purified alginate gel as a regenerative therapeutic strategy after discectomy for degenerated intervertebral discs.	EBioMedicine 2020; 53:102698	Original article
301	Koike Y, Kotani Y, Terao H, Iwasaki N.	整形外科	Compression of physical function and quality of life parameters in oblique lateral interbody fusion with percutaneous posterior fixation in lateral position and minimally invasive transforaminal lumbar interbody fusion for single-level degenerative spondylolisthesis.	Asian Spine J. 2021;15(1):97-106.	Original article
302	Koike Y, Kotani Y, Terao H, Iwasaki N	整形外科	Risk factor analysis of proximal junctional kyphosis after surgical treatment with oblique lateral interbody fusion for adult spinal deformity.	Asian Spine J. 2021;15(1):107-116.	Original article

303	Irie T, Espinoza Orias AA, Irie T,	整形外科	Three-dimensional curvature mismatch of the acetabular radius to the femoral head radius is increased in borderkine dysplastic hip.	PLoS One 2020; 15(4): e0231001	Original article
304	Sato D, Takahata M, Ota M,	整形外科	Siglec-15-targeting therapy protects against glucocorticoid-induced osteoporosis of growing skeleton in juvenile rats.	Bone 2020; 135:115331	Original article
305	Iwata A, Sudo H, Abumi K,	整形外科	Impact of lowest instrumented vertebra tilt and rotation on uninstrumented lumbar curve and L4 tilt in thoracic adolescent idiopathic scoliosis.	J Neurosurg-Spine.2020 Oct; 33(4): 471-479	Original article
306	Hamasaki M, Terkawi MA, Onodera T,	整形外科	Transcriptional profiling of murine macrophages stimulated with cartilage fragments revealed a strategy for treatment of progressive osteoarthritis	Sci Rep. 2020; 10(1):7558	Original article
307	Iwata A, Kanayama M, Oha F,	整形外科	Is bone non-union, vertebral deformity, or spino-pelvic malalignment the best therapeutic target for amelioration of low back pain after osteoporotic vertebral fracture?	Spine. 2020; 45(13): E760-E767	Original article
308	Motomiya M, Watanabe N, Kawamura D,	整形外科	Reliable free flaps using the microscopic parachute end-to-side technique in severe extremity injuries.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2020; 73(12):2239-2260	Original article
309	Momma D, Iwamoto W, Endo K,	整形外科	Stress distribution pattern across the shoulder joint in gymnasts: A computed tomography osteoabsorptiometry study.	Orthop J Sports Med. 2020 Nov; 8(11) Article Number: 2325967120962103	Original article
310	Irie T, Orias AAE, Irie T,	整形外科	Computed tomography-based 3D analyses show similarities in anterior-superior acetabular coverage between acetabular dysplasia and borderline dysplasia.	Arthroscopy 2020; 36(10):2623-2632	Original article
311	Shiota J, Momma D, Yamaguchi T,	整形外科	Long-term stress distribution patterns across the ankle joint in soccer players assessed by computed tomography osteoabsorptiometry.	Orthop J Sports Med. 2020; 8(11):2325967120963085	Original article
312	Shimizu T, Yokota S (equal contribution),	整形外科	Predictors of cartilage degeneration in patients with subchondral insufficiency fracture of the femoral head: a retrospective study.	Arthritis Res Ther. 2020; 22(1):150	Original article
313	Byun Y, Iida T, Yamada K,	整形外科	Long-term pulmonary function after posterior spinal fusion in main thoracic adolescent idiopathic scoliosis.	PLoS One. 2020; 15(6): e0235123	Original article
314	Takahashi K, Shimizu T, Asano T,	整形外科	Long-term clinical and radiological outcomes of primary total hip arthroplasty with modular femoral stem in middle-aged Asian patients.	J Arthroplasty. 2020; 35(12):3650-3655	Original article
315	Tian Y, Terkawi MA, Onodera T,	整形外科	Blockade of XCL1/lymphotactin ameliorates severity of periprosthetic osteolysis triggered by polyethylene-particles.	Front Immunol. 2020; 11:1720	Original article
316	Motomiya M, Nishimoto N, Urita A,	整形外科	Patient characteristics affecting knowledge of the possibility of surgical reconstruction for rheumatoid hand and wrist deformity.	Mod Rheumatol. 2020 Jul; 20:1-7	Original article
317	Fujita R, Ota M, Sato D,	整形外科	Comparison of the efficacy and safety of bisphosphonate between low-dose/high-frequency and high-dose/low-frequency regimens in a late-stage chronic kidney disease rat model.	Calcified Tissue Int. 2020; 107(4):389-402	Original article
318	Hamano H, Kawamura D, Iwasaki N.	整形外科	The effect of arthrodesis of the distal interphalangeal joint on surface replacement arthroplasty for the proximal interphalangeal joint.	J Hand Surg Eur	Original article

319	Furukawa J, Hanamatsu H, Nishikaze T,	整形外科	Lactone-driven ester-to-amide derivatization for sialic acid linkage-specific alkylamidation (LEAD-SALSA).	Anal Chem. 2020; 92(21):14383-14392	Original article
320	Momma D, Onodera T, Kawamura D,	整形外科	An acellular cartilage repair technique based on ultrapurified alginate gel implantation for advanced capitellar osteochondritis dissecans.	Orthop J Sports Med. 2020; 8(11):2325967120962103	Original article
321	Ukeba D, Yamada K, Tsujimoto T,	整形外科	Bone marrow aspirate concentrate combined with in-situ forming bioresorbable gel enhances intervertebral disc regeneration in rabbits.	J Bone Joint Surg Am. 2021 Jan; 21	Original article
322	Tsujimoto T, Endo T, Menjo Y,	整形外科	Exceptional conditions for neurological recovery after laminoplasty in cases with cervical myelopathy caused by K-line (-) ossification of posterior longitudinal ligament.	Spine. 2021;46(15):990-998	Original article
323	Yamada K, Takahata M, Ito M,	整形外科	Risk factors of multidrug-resistant pyogenic spondylitis in thoraco-lumbar spine: a retrospective study of 122 cases.	J Orthop Sci. 2021	Original article
324	Kameda T, Kondo E, Onodera T,	整形外科	Medial Open-Wedge High Tibial Osteotomy alters Stress Distribution Patterns predicted with Subchondral Bone Density of Patellofemoral Joint assessed by a Computed Tomography Osteoabsorptiometry.	Orthop J Sports Med. 2020 Aug	Original article
325	Iwasaki K, Kondo E, Matsubara S,	整形外科	Effect of high tibial osteotomy on the distribution of subchondral bone density across the proximal tibial articular surface of the knee with medial compartment osteoarthritis.	Am J Sports Med	Original article
326	Endo T, Imagama S, Kato S,	整形外科	Association between vitamin A intake and disease severity in early-onset heterotopic ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine.	Global Spine J. 2021 Jan; 25; 2192568221989300	Original article
327	Kokabu T, Kanai S, Kawakami N,	整形外科	An algorithm for using deep learning convolutional neural networks with three-dimensional depth sensor imaging in scoliosis detection.	Spine J. 2021 Jan;1-8	Original article
328	Numaguchi K, Momma D, Matsui Y,	整形外科	Stress distribution pattern across the glenohumeral joint in collegiate and professional baseball players: a computed tomography osteoabsorptiometry study.	Orthop J Sports Med	Original article
329	Kaibara T, Kondo E, Matsuoka M,	整形外科	Large Osteochondral Defect in the Lateral Femoral Condyle Reconstructed by Atelocollagen-associated Autologous Chondrocyte Implantation Combined with Anterior Cruciate Ligament Reconstruction.	BMC Musculoskelet Disord. [2020 Jul 27;21(1):494.	Original article
330	Fukuda R, Matsuoka M, Onodera T,	整形外科	Angiosarcoma after revision total knee arthroplasty.	Knee. 2020 Dec 22;28:151-158	Original article
331	Shibayama H, Matsui Y, Kawamura D,	整形外科	Fibroma of tendon sheath of the hand in a 3-year-old boy: a case report.	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Nov 10;21(1):732.	Case report
332	Tsujimoto T, Suda K,	整形外科	Two case reports of 'locked spondyloptosis': the most severe traumatic cervical spondyloptosis with locked spinous process and vertebral arch into the spinal canal.	Spinal Cord Ser Cases. Feb 18;6(1):10. (2020)	Case report
333	Ura K, Yamada K, Tsujimoto T,	整形外科	Ultra-purified alginate gel implantation decreases inflammatory cytokine levels, prevents intervertebral disc degeneration, and reduces acute pain after discectomy.	Sci Rep2021	Original article
334	Shimizu T, Markes AR, Samaan MA,	整形外科	Patients With Abnormal Limb Kinetics at 6 Months After Anterior Cruciate Ligament Reconstruction Have an Increased Risk of Persistent Medial Meniscal Abnormality at 3 Years.P	Orthop J Sports Med. 2020 Jan 23;8(1):23259671198952 48	Original article

335	Irie TY,,Irie T, Orias AAE,	整形外科	Three-dimensional distribution of CT attenuation in the lumbar spine pedicle wall.	Sci Rep. 2021; 11: 1709	Original article
336	Suzuki H, Matsui Y, Iwai T,	整形外科	Usefulness of ultrasonography for diagnosing iatrogenic spinal accessory nerve palsy after lymph node needle biopsy: a case report.	BMC Musculoskelet Disord. 2020 Oct 31;21(1):712	Case report
337	Kurashige S, Urita A, Iwasaki N	整形外科	Total Shoulder Arthroplasty with an Anteriorly Augmented Glenoid Component for Glenohumeral Osteoarthritis with Anterior Glenoid Bone loss: A Case Report	JSES international 2020	Original article
338	Shimizu H, Matsuhashi T, Fukushima A,	整形外科	Coronal Hamate Fractures with Carpometacarpal Dislocation Treated Effectively Using Headless Compression Screws with Percutaneous Pinning Fixation by Using the 2-Directional Approach: A Report of 2 Cases.	JBJS Case Connect. 2020 Apr-Jun;10(2):e0361.	Case report
339	Urita A, Redondo ML, Christian DR,	整形外科	Topographic Analysis of Lateral versus Medial Femoral Condyle Donor Sites for Oblong MFC Lesions,	Arthroscopy, 2020;28:S0749-8063	Original article
340	Yamaguchi T, Urita A, Endo T,	整形外科	Charcot Arthropathy of the Shoulder Joint in a Patient with Guillain-Barré Syndrome: A Case Report	JBJS Case Connect, 2020;10:e0530	Case report
341	Osawa T, Kojima T, Hara T,	泌尿器科	Oncological outcomes of a multicenter cohort treated with axitinib for metastatic renal cell carcinoma.	Cancer Sci. 2020 Jul;111(7):2460-2471	Original article
342	Matsumoto R, Abe T, Takada N,	泌尿器科	Oncologic outcomes of laparoscopic radical nephroureterectomy in conjunction with template-based lymph node dissection: An extended follow-up study	Urol Oncol. 2020 Dec;38(12):933.e13-933.e18	Original article
343	Chiba H, Kitta T, Ohmura Y,	泌尿器科	Serotonin in the rat prefrontal cortex controls the micturition reflex through 5-hydroxytryptamine 2A and 5-hydroxytryptamine 7 receptors	Int J Urol. 2020 Aug;27(8):684-689.	Original article
344	Kikuchi H, Maishi N, Annan DA,	泌尿器科	Chemotherapy-Induced IL8 Upregulates MDR1/ABCB1 in Tumor Blood Vessels and Results in Unfavorable Outcome	Cancer Res. 2020 Jul 15;80(14):2996-3008.	Original article
345	Kitta T, Chiba H, Kanno Y,	泌尿器科	Bladder outlet obstruction disrupts circadian bladder function in mice	Sci Rep. 2020 Jul 14;10(1):11578.	Original article
346	Higuchi M, Abe T, Hotta K,	泌尿器科	Development and validation of a porcine organ model for training in essential laparoscopic surgical skills	Int J Urol. 2020 Oct;27(10):929-938.	Original article
347	Osawa T, Wei JT, Abe T, Honda M,	泌尿器科	Health-related quality of life in Japanese patients with bladder cancer measured by a newly developed Japanese version of the Bladder Cancer Index	Int J Clin Oncol. 2020 Dec;25(12):2090-2098.	Original article
348	Kitta T, Chiba H, Kanno-Kakibuchi Y,	泌尿器科	Long-term administration of alpha-1 blocker can reverse the micturition pattern in a bladder outlet obstruction murine model	Int J Urol. 2020 Dec;27(12):1150-1156.	Original article
349	Kitta T, Hattori T, Chiba H,	泌尿器科	Are sham-operated mice a valid comparator in studies using a bladder outlet obstruction model? A pitfall reveals a meaningful insight	Int J Urol. 2021 Mar;28(3):346-352.	Original article
350	Nakamura M, Moriya K, Kon M,	泌尿器科	Girls and renal scarring as risk factors for febrile urinary tract infection after stopping antibiotic prophylaxis in children with vesicoureteral reflux	World J Urol. 2021 Jan 3.	Original article

351	Kitta T, Ouchi M, Chiba H,	泌尿器科	Animal Model for Lower Urinary Tract Dysfunction in Parkinson's Disease	Int J Mol Sci. 2020 Sep 7;21(18):6520.	Review
352	Yamada S, Hotta K, Takahata M,	泌尿器科	Femoral nerve palsy following kidney transplantation: A case report and review of the literature	IJU Case Rep. 2020 Jul 29;3(6):248-251.	Case report
353	Nobuhiro Tanaka, Masataka Yamamoto,	麻酔科	Changes of cerebral blood volume during robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy: observational prospective study using near infrared time-resolved spectroscopy.	Journal of Endourology 33(12):995-1001, 2019 doi: 10.1089/end.2019.0217	original article
354	Tetsutaro Hase, Toshikazu Hashimoto,	麻酔科	Isoflurane induces c-Fos expression in the area postrema of the rat.	J Anesth. 2019 Aug;33(4):562-566. doi: 10.1007/s00540-019-02662-0	original article
355	Kazuyuki Mizunoya, Fujii Tomoaki,	麻酔科	Two-stage goal-directed therapy protocol for non-donor open hepatectomy: An interventional before-after study.	J Anesth. 2019 Dec;33(6):656-664. doi: 10.1007/s00540-019-02688-4	original article
356	Yuka Uchinami, Satoshi Takikawa,	麻酔科	Incidence of postoperative nausea and vomiting is not increased by combination of low concentration sevoflurane and propofol compared with propofol alone in patients undergoing laparoscopic gynecological surgery.	JA Clinical Reports 5, 70, 2019	original article
357	Nobuhiro Tanaka, M.D., Tomoaki Fujii,	麻酔科	Anesthetic management for cesarean section in a patient receiving transplacental treatment of fetal tachyarrhythmia	a case report JA Clinical Reports 2019 5(1):31 doi.org/10.1186/s40981-019-0251-0	case report
358	Koji Hoshino, Toru Nakamura,	麻酔科	Acute compartment syndrome of the lower leg causing cardiac arrest after resection of the right external iliac vein for autologous graft	a case report JA Clinical Reports 5(1), 65, 2019 doi: 10.1186/s40981-019-0286-2	case report
359	Mototsugu Miura, Kenkichi Tsuruga,	麻酔科	A pediatric cancer patient with suspected chemical coping following high-dose opioid therapy: a case report	a case report. J Med Case Rep 2019 Nov 30;13(1):353. doi: 10.1186/s13256-019-2273-7.	case report
360	Maeda Taku, Yuhei Yamamoto ,	形成外科	A Comparison of Outcomes After Palatoplasty in Patients With Non-Syndromic Pierre Robin Sequence Versus Patients With Non-Syndromic Isolated Cleft Palate	J Craniofac Surg. Nov/Dec 2020;31(8):2231-2234.	original article
361	Taku Maeda, Naoki Murao,	形成外科	Application of Negative-pressure Wound Therapy after Radical Excision of Soft Tissue Malignancy	Int J Surg Wound Care.2020 1 47-52	original article
362	Taku Maeda, Yuhei Yamamoto,	形成外科	Maggot debridement therapy in critical limb ischaemia: a case study	Wound Care. 2020 Dec 1;29(Sup12):S28-S32.	original article
363	Erika Guilpain Kusajima, Yuhei Yamamoto,	形成外科	Wound Care for Calciphylaxis	Int J Surg Wound Care.2020 1 20-26	Original Article
364	Kosuke Ishikawa, Munezumi Fujita,	形成外科	Ulcerated Infantile Hemangioma of the Hard Palate: Diagnostic Treatment With Oral Propranolol	J Craniofac Surg. 2020 Sep;31(6):e600-e602.	Case Report
365	Riri Ito, Taku Maeda, Masayuki Osawa,	形成外科	Pathological Findings at the Skin Graft Site after Excision of Hidradenitis Suppurativa	Int J Surg Wound Care.2020 Volume 1 Issue 2 Pages 88-91	Case report
366	Takeshita T, Torigoe T, Yan Li,	乳腺外科	The Impact of Immunofunctional Phenotyping on the Malfunction of the Cancer Immunity Cycle in Breast Cancer	Cancers 13: 110, 2021	Original article

367	Shi Qui, Takashi Takeshita, Aiko Sueta,	乳腺外科	Analysis of plasma HER2 copy number in cell-free DNA of breast cancer patients: a comparison with HER2 extracellular domain protein level in serum.	Breast cancer, Online ahead of print, 2021	Original article
368	Yamashita H, Ishida N, Hatanaka Y,	乳腺外科	HER2 gene amplification in ER-positive HER2 immunohistochemistry 0 or 1+ breast cancer with early recurrence.	Anticancer Res 40: 645-652, 2020	Original article
369	Tsujinaga S, Iwano H, Oshino T,	乳腺外科	A case of reversible cancer therapeutics-related cardiac dysfunction complicating intra-cardiac thrombi.	Internal Med, 2020 online	Case report
370	Takeshita T, Yan L, Peng X, Kimbung S,	乳腺外科	Transcriptomic and functional pathway features were associated with survivalafter pathological complete response to neoadjuvant chemotherapy in breast cancer.	Am J Cancer Res. 10(8):2555-2569 ,2020	Original article
371	Azuhata H, Hayakawa T, Maekawa M,	救急科	Supernormal Antithrombin Activity Is an Independent Predictor of In-Hospital Mortality in Patients With Sepsis: A Retrospective Observational Study. Clin Appl	Thromb Hemost 2020	Original article
372	Hayakawa M, Ooyasu T, Sadamoto Y,	救急科	Microparticles and Nucleosomes Are Released From Parenchymal Cells Destroyed After Injury in a Rat Model of Blunt Trauma.	Clin Appl Thromb Hemost 2020	Original article
373	Itagaki Y, Hayakawa M, Maekawa K,	救急科	Early administration of fibrinogen concentrate is associated with improved survival among severe trauma patients: a single-centre propensity score-matched analysis	World Journal of Emergency Surgery2020.1	Original article
374	Hayakawa M, Tagami T, Iljima H,	救急科	Restrictive transfusion strategy for critically injured patients (RESTRIC) trial: a study protocol for a cluster-randomised, crossover non-inferiority trial.	BMJ Open2020.9	Original article
375	Kumano O, Ieko M, Komiyama Y,	救急科	Characterization of fibrin/fibrinogen degradation products reagents and their utility in critical care patients with enhanced fibrinolysis.	International Journal of Laboratory Hematology ,2020.12	Original article
376	Saito T, Hayakawa M, Honma Y,	救急科	Relationship Between Severity of Fibrinolysis Based on Rotational Thromboelastometry and Conventional Fibrinolysis Markers	Clin Appl Thromb Hemost	Original article
377	Nakashima T, Miyamoto K, Shimokawa T,	救急科	The Association Between Sequential Organ Failure Assessment Scores and Mortality in Patients With Sepsis During the First Week	J Intensive Care Med	Original article
378	Takahashi-Iwata I, Yabe I, Kudo A,	神経内科	MM2 cortical form of sporadic Creutzfeldt-Jakob disease without progressive dementia and akinetic mutism: A case deviating from current diagnostic criteria	J Neurol Sci 412: 116759, 2020	Case report
379	Nomura T, Iwata I, Harada T, Yabe I	神経内科	Cerebellar rotation abnormalities observed in Machado-Joseph Disease	Intern Med 59(24): 3253-3254, 2020	Case report
380	Nomura T, Iwata I, Naganuma R,	神経内科	A patient with spastic paralysis finally diagnosed as V180I genetic Creutzfeldt-Jakob disease 9 years after onset	PRION 14(1); 226-231, 2020	Case report
381	Naganuma R, Yabe I, Takeuchi M,	神経内科	Clinical factors affecting evoked magnetic fields in patients with Parkinson's disease	PLoS One 15(9): e0232808, 2020	Original article
382	Matsushima M, Yabe I, Sakushima K,	神経内科	Multiple system atrophy in Hokkaido, Japan: a prospective registry study of natural history and symptom assessment scales followed for 5 years	BMJ Open 11(2): e045100, 2021	Original article

383	Murata M, Noda K, Ishida S	眼科	Pathological Role of Unsaturated Aldehyde Acrolein in Diabetic Retinopathy	Front Immunol 2020 Oct 22;11:589531	Original Article
384	Kase S, Endo H, Takahashi M,	眼科	Alteration of choroidal vascular structure in diabetic macular edema	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 2020 May;258(5):971-977	Original Article
385	Shinkai A, Saito W, Hashimoto Y,	眼科	Morphological features of macular telangiectasia type 2 in Japanese patients	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 2021 May;259(5):1179-1189	Original Article
386	Hasegawa A, Noda K, Fujiya A,	眼科	Outer Retinal Abnormalities in a Patient with Danon Disease	Retin Cases Brief Rep 2020 Aug 31	Case report
387	Suimon Y, Kase S, Miura I, Ishijima K,	眼科	Alteration of Cell Surface Markers CD38 and CD138 in Lymphoproliferative Disorders in the Ocular Adnexa	Anticancer Res 2020 Apr;40(4):2019-2023	Original Article
388	Kanda A, Hirose I, Noda K,	眼科	Glucocorticoid-transactivated TSC22D3 attenuates hypoxia- and diabetes-induced Müller glial galectin-1 expression via HIF-1 α destabilization	J Cell Mol Med 2020 Apr;24(8):4589-4599	Original Article
389	Kikuchi K, Dong Z, Shinmei Y,	眼科	Cytoprotective Effect of Astaxanthin in a Model of Normal Intraocular Pressure Glaucoma	J Ophthalmol 2020 Sep 19;2020:9539681	Original Article
390	Mitamura M, Kase S, Suzuki Y,	眼科	Solitary Fibrous Tumor of the Orbit: A Clinicopathologic Study of Two Cases With Review of the Literature	In Vivo 2020 Nov-Dec;34(6):3649-3654	Case report
391	Wu D, Kanda A, Liu Y, Noda K,	眼科	Involvement of Müller Glial Autoinduction of TGF- β in Diabetic Fibrovascular Proliferation Via Glial- Mesenchymal Transition	Invest Ophthalmol Vis Sci 2020 Dec 1;61(14):29	Original Article
392	Suzuki K, Namba K, Mizuuchi K,	眼科	Development of cytomegalovirus retinitis after negative conversion of cytomegalovirus antigenemia due to systemic antiviral therapy	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 2021 Apr;259(4):971-978	Original Article
393	Kikuchi K, Murata M, Noda K,	眼科	Diabetic Cataract in Spontaneously Diabetic Torii Fatty Rats	J Diabetes Res 2020 Aug 1;2020:3058547	Original Article
394	Mitamura M, Kase S, Ishida S	眼科	Multimodal imaging in sclerochoroidal calcification: a case report and literature review	BMC Ophthalmol 2020 Jun 22;20(1):248	Case report
395	Mizuuchi K, Saito W, Namba K,	眼科	Multiple evanescent white dot syndrome and panuveitis: a case report	J Ophthalmic Inflamm Infect 2020 Oct 29;10(1):26	Case report
396	Ishizuka ET, Kanda A, Shinmei Y,	眼科	Receptor-Associated Prorenin System in the Trabecular Meshwork of Patients with Primary Open-Angle Glaucoma and Neovascular Glaucoma	J Clin Med 2020 Jul 22;9(8):2336	Original Article
397	Shinmei Y, Takahashi A, Nakamura K,	眼科	Cerebrospinal fluid hypovolemia syndrome after a traffic accident with abnormal eye movements: A case report	Am J Ophthalmol Case Rep 2020 Nov 22;20:100997	Case report
398	Saito W, Hashimoto Y, Hirooka K,	眼科	Changes in choroidal blood flow velocity in patients diagnosed with central serous chorioretinopathy during follow-up for pachychoroid pigment epitheliopathy	Am J Ophthalmol Case Rep 2020 Mar 5;18:100651	Case report

399	Kataoka K, Kase S, Noda K, Ishida S	眼科	Laser Speckle Flowgraphy Findings in a Patient with Choroidal Macrovessel	Ophthalmol Retina 2020 Nov;4(11):1123-1124	Original Article
400	Liu Y, Noda K, Murata M,	眼科	Blockade of Platelet- Derived Growth Factor Signaling Inhibits Choroidal Neovascularization and Subretinal Fibrosis in Mice	J Clin Med 2020 Jul 15;9(7):2242	Original Article
401	Mitamura M, Kase S, Suimon Y,	眼科	A Case of Metastatic Iris Tumor Observed With Anterior Segment Optical Coherence Tomography Before and After Radiation Therapy	In Vivo 2020 Jul-Aug;34(4):2159-2162	Original Article
402	Shinkai A, Shinmei Y, Hirooka K,	眼科	Optical coherence tomography as a possible tool to monitor and predict disease progression in mitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis and stroke-like episodes	Mitochondrion 2021 Jan;56:47-51	Original Article
403	Liu Y, Kitaichi N, Wu D, Hase K,	眼科	Attenuation of experimental autoimmune uveoretinitis in mice by IKK β inhibitor IMD-0354	Biochem Biophys Res Commun 2020 May 7;525(3):589-594	Original Article
404	Suimon Y, Kase S, Ito T, Ishida S	眼科	A case of giant orbital conjunctival cyst mimicking lymphatic malformation	Eur J Ophthalmol 2020 Oct 30:1120672120964118	Case report
405	Suzuki K, Namba K, Mizuuchi K,	眼科	Validation of systemic parameters for the diagnosis of ocular sarcoidosis	Jpn J Ophthalmol 2021 Mar;65(2):191-198	Original Article
406	Mitamura M, Kase S, Hirooka K, Ishida S	眼科	Laser speckle flowgraphy in juxtapapillary retinal capillary hemangioblastoma: a case report on natural course and therapeutic effect	Oncotarget 2020 Oct 20;11(42):3800-3804	Case report
407	Kase S, Chin S, Hamanaka T,	眼科	Histological observation of trabecular meshwork in a patient with Axenfeld-Rieger syndrome-a new theory for the mechanism of ectropion uvea in congenital glaucoma	Int J Ophthalmol 2020 Jul 18;13(7):1167-1169	Original Article
408	Suimon Y, Kase S, Shimoyama S,	眼科	A Case of IgG4-Related Ophthalmic Disease With Coronary Arteritis	Ophthalmic Plast Reconstr Surg 2021 Mar-Apr 01;37(2):e43-e45	Original Article
409	Kanaya R, Kijima R, Shinmei Y,	眼科	Surgical Outcomes of Trabeculectomy in Uveitic Glaucoma: A Long-Term, Single- Center, Retrospective Case-Control Study	J Ophthalmol 2021 May 21;2021:5550776	Original Article
410	Mitamura M, Kase S, Ohguchi T,	眼科	A case of pterygium-like proliferation containing postoperative limbal dermoid remnants: a clinicopathological study	BMC Ophthalmol 2021 Jan 6;21(1):12	Case report
411	Iwata D, Namba K, Yamamoto T,	眼科	Recent Clinical Features of Intraocular Inflammation in Hokkaido, Japan - Comparison with the Previous Decade	Ocul Immunol Inflamm 2021 Feb 11:1-7	Original Article
412	Saito W, Hashimoto Y, Hirooka K,	眼科	CHOROIDAL THICKNESS CHANGES IN A PATIENT DIAGNOSED WITH CENTRAL SEROUS CHORIORETINOPATHY DURING FOLLOW-UP FOR PACHYCHOROID PIGMENT EPITHELIOPATHY	Retin Cases Brief Rep 2021 Jan 1;15(1):10-14	Original Article
413	Yamamoto T, Kanda A, Kase S,	眼科	Hypoxia Induces Galectin-1 Expression Via Autoinduction of Placental Growth Factor in Retinal Pigment Epithelium Cells	Invest Ophthalmol Vis Sci 2021 Feb 1;62(2):22	Original Article
414	Kase S, Noda K, Ishida S	眼科	Histological observation in pachyvessels in a patient with choroidal melanoma	Int J Ophthalmol 2021 May 18;14(5):777-779	Original Article

415	Nakamaru Y, Suzuki M, Honma A,	耳鼻咽喉科	Preoperative Pulmonary Function Testing to Predict Recurrence of Chronic Rhinosinusitis With Nasal Polyps.	Allergy Rhinol (Providence)11: 1-7, 2020	Original Article
416	Fujiwara K, Morita S, Fukuda A,	耳鼻咽喉科	Analysis of semicircular canal function as evaluated by video Head Impulse Test in patients with vestibular schwannoma.	J Vestib Res. 30:101-108, 2020	Original Article
417	Fujiwara K, Morita S, Furuta Y,	耳鼻咽喉科	Evaluation of Semicircular Canal Function by Video Head Impulse Test in Patients With Facial Nerve Schwannoma.	Otol Neurotol. 41:e615-e622, 2020	Original Article
418	Suzuki M , Ramezanpour M, Cooksley C,	耳鼻咽喉科	Zinc-depletion associates with tissue eosinophilia and collagen depletion in chronic rhinosinusitis.	Rhinology. 58:451-459, 2020	Original Article
419	Homma A, Nakamaru Y, Lund VJ,	耳鼻咽喉科	Endonasal endoscopic surgery for sinonasal squamous cell carcinoma from an oncological perspective.	Auris Nasus Larynx. 48(1):41-49, 2021	Review
420	Nakamaru Y, Suzuki M, Kano S,	耳鼻咽喉科	The role of endoscopic resection for selected patients with sinonasal squamous cell carcinoma.	Auris Nasus Larynx. 48 :131-137, 2021	Original Article
421	Suzuki M, Nakazono A, Morita S,	耳鼻咽喉科	Comparison of clinical characteristics of the nasal manifestations of eosinophilic granulomatosis with polyangiitis (EGPA) and eosinophilic chronic rhinosinusitis (ECRS)	Allergol Int.;70:143-144., 2021	Original Article
422	Suzuki M, Suzuki T, Watanabe M,	耳鼻咽喉科	Role of intracellular zinc in molecular and cellular function in allergic inflammatory diseases.	Allergol Int. 70:190-200, 2021	Original Article
423	Suzuki T, Kano S, Suzuki M,	耳鼻咽喉科	Enhanced Angiogenesis in Salivary Duct Carcinoma Ex-Pleomorphic Adenoma.	Front Oncol. 10:1-12, 2021	Original Article
424	Fukuda A, Fujiwara K, Morita S,	耳鼻咽喉科	Prognostic factors for duration of vertigo after stapes surgery via a time-to-event analysis.	Acta Otolaryngol. 141:216-221, 2021	Original Article
425	Haga N, Ujiie H, Ito T,	皮膚科	Case of bullous erythema ab igne mimicking localized bullous pemphigoid.	J Dermatol 47: e288-e289, 2020.	Letter
426	Inamura E, Nishie W, Yamaguchi Y,	皮膚科	Linear IgA/IgG bullous dermatosis with autoantibodies directing the native and processed forms of BP180.	Br J Dermatol 182: 1061-1062, 2020.	Letter
427	Inamura E IH, Yamaguchi Y, Fujimura Y,	皮膚科	A case of drug-induced amicrobial pustulosis of the folds	J Dtsch Dermatol Ges, 2020.	Letter
428	Kitamura S, Maeda T, Yanagi T:	皮膚科	Vandetanib inhibits cell growth in EGFR-expressing cutaneous squamous cell carcinoma.	Biochem Biophys Res Commun 531: 396-401, 2020.	Original Article
429	Kitamura S, Yanagi T, Maeda T,	皮膚科	Drp1 expression levels correlate with clinical stage in extramammary Paget's disease.	J Eur Acad Dermatol Venereol 34: e510-e513, 2020.	Letter
430	Maeda T, Kitamura S, Nishihara H,	皮膚科	Extramammary Paget's disease patient-derived xenografts harboring ERBB2 S310F mutation show sensitivity to HER2-targeted therapies.	Oncogene 39: 5867-5875, 2020.	Original Article

431	Maeda T, Kitamura S, Yanagi T:	皮膚科	RANK-RANKL signalling pathway contributes to disease progression in cutaneous angiosarcoma: a case report with an immunohistochemical review and in vitro experiments.	J Eur Acad Dermatol Venereol 34: e834-e837, 2020.	Case Reports
432	Mai S, Nishie W, Mai Y	皮膚科	Speckled lentiginous nevus in a patient with Hermansky-Pudlak syndrome type 1.	J Dermatol 47: e20-e21, 2020.	Case Reports
433	Miyazawa H, Fujita Y, Muramatsu K,	皮膚科	Refractory juvenile psoriatic uveitis without arthritis: a literature review.	J Eur Acad Dermatol Venereol 34: e173-e175, 2020.	Review
434	Mizukami T, Fujita Y, Maya Y,	皮膚科	Multiple Nodules Arising within a Birthmark on the Scalp: A Quiz.	Acta Derm Venereol 100: adv00206, 2020.	Original Article
435	Muramatsu K, Zheng M, Yoshimoto N,	皮膚科	Regulatory T cell subsets in bullous pemphigoid and dipeptidyl peptidase-4 inhibitor-associated bullous pemphigoid.	J Dermatol Sci 100: 23-30, 2020.	Case Reports
436	Seo T, Ujiie H, Ujiie I, Iwata H,	皮膚科	Epitope spreading possibly from BP230 to the NC16A domain of BP180 preceding disease progression in bullous pemphigoid.	J Dermatol 47: e255-e257, 2020.	Letter
437	Sugai T, Nishie W:	皮膚科	Odontogenic facial cellulitis.	BMJ case reports 13, 2020.	Case Reports
438	Ujiie I, Ujiie H, Yoshimoto N, Iwata H,	皮膚科	Prevalence of infectious diseases in patients with autoimmune blistering diseases.	J Dermatol 47: 378-384, 2020.	Original Article
439	Yanagi T, Kitamura S, Imafuku K,	皮膚科	Loss of dynamin-related protein 1 (Drp1) does not affect epidermal development or UVB-induced apoptosis but does accelerate UVB-induced carcinogenesis.	J Dermatol Sci 99: 109-118, 2020.	Original Article
440	Inamura E, Tsujiwaki M, Ujiie H,	皮膚科	Bullous pemphigoid associated with psoriasis showing marked neutrophilic infiltrates.	J Dtsch Dermatol Ges 19: 105-108, 2021.	Letter
441	Orita A, Kitamura S, Maeda T,	皮膚科	Ultrasonographic features of myxoid neurofibroma: Report of a case on the abdomen.	J Dermatol 48: e9-e10, 2021.	Case Reports
442	Narahira A, Kitamura S, Maeda T,	皮膚科	Multiple squamous cell carcinomas arising on an epidermal nevus harboring HRAS p.G13R mutation.	J Dermatol 48: e92-e93, 2021.	Letter
443	Iwata H, Haga N, Sugai T, Fujita Y:	皮膚科	Serum Krebs von den Lungen-6 levels in psoriatic patients under treatment with biologics.	J Dermatol 48: 376-379, 2021.	Original Article
444	Kusumi I, Inoue S, Baba K,	精神科神経科	A propensity score matching analysis for cardio metabolic risk of antipsychotics in patients with schizophrenia using Japanese claims data	BMC Psychiatry 20(1), 584, 2020	Original Article
445	Toyoshima K, Inoue T, Shimura A,	精神科神経科	Associations between the depressive symptoms, subjective cognitive function, and presenteeism of Japanese adult workers: a cross-sectional survey study	BioPsychoSocial Medicine 14, 10, 2020	Original Article
446	Toyoshima K, Inoue T, Masuya J,	精神科神経科	Does Subjective Cognitive Function Mediate the Effect of Affective Temperaments on Functional Disability in Japanese Adults?	Neuropsychiatric Disease and Treatment 16, 1675-1684, 2020	Original Article

447	Toyoshima K, Inoue T, Masuya J,	精神科神経科	Associations among childhood parenting, affective temperaments, depressive symptoms, and cognitive complaints in adult community volunteers	Journal of Affective Disorders 276, 361-368, 2020	Original Article
448	Toyoshima K, Inoue T, Masuya J,	精神科神経科	Structural equation modeling approach to explore the influence of childhood maltreatment in adults	PLoS One 15(10), e0239820, 2020	Original Article
449	Toyoshima K, Toyomaki A, Miyazaki A,	精神科神経科	Associations between cognitive impairment and P300 mean amplitudes in individuals with bipolar disorder in remission	Psychiatry Research 290, 113125, 2020	Original Article
450	Toyoshima K, Inoue T, Kameyama R,	精神科神経科	BIS/BAS as moderators in the relationship between stressful life events and depressive symptoms in adult community volunteers	Journal of Affective Disorders Reports 3, 100050, 2021	Original Article
451	Toyoshima K, Inoue T, Masuya J,	精神科神経科	Interaction between childhood parental bonding and affective temperaments on adulthood depressive symptoms	Journal of Affective Disorders Reports 3, 100056, 2021	Original Article
452	Toyoshima K, Kako Y, Toyomaki A,	精神科神経科	Associations between cognitive impairment and illness awareness in fully remitted bipolar outpatients	Psychiatry Research 296, 113655, 2021	Original Article
453	Toyoshima K, Inoue T, Masuya J,	精神科神経科	Affective temperaments moderate the effect of insomnia on depressive symptoms in adult community volunteers	Journal of Affective Disorders 282, 726-31, 2021	Original Article
454	Toyoshima K, Inoue T, Masuya J,	精神科神経科	Affective temperaments and functional disability modulate depressive symptoms in adulthood	Journal of Affective Disorders Reports 4, 100108, 2021	Original Article
455	Udo N, Hashimoto N, Toyonaga T,	精神科神経科	Apathy in Alzheimer's Disease Correlates with the Dopamine Transporter Level in the Caudate Nuclei	Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra 10(2), 86-93, 2020	Original Article
456	Oka M, Ito K, Koga M	精神科神経科	Changes in subunit composition of NMDA receptors in animal models of schizophrenia by repeated administration of methamphetamine	Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry 103, 109984, 2020	Original Article
457	Hashimoto N, Michaels TI, Hancock R,	精神科神経科	Maternal cerebellar gray matter volume is associated with daughters' psychotic experience	Psychiatry and Clinical Neurosciences 74(7), 392-397, 2020	Original Article
458	Hashimoto N, Takahashi K, Fujisawa D,	精神科神経科	A pilot validation study of the Japanese translation of the Positive and Negative Syndrome Scale (PANSS)	Asian Journal of Psychiatry 54, 102210, 2020	Original Article
459	Ken Kazumata	脳神経外科	Which is the Optimal Revascularization Surgery in Moyamoya Disease?	World Neurosurg. 2020 Jul	News and letter
460	Kazumata K, Tokairin K, Ito M,	脳神経外科	Combined structural and diffusion tensor imaging detection of ischemic injury in moyamoya disease: relation to disease advancement and cerebral hypoperfusion.	J Neurosurg. 2020 Apr 3:1-10.	Clinical article
461	Tokairin K, Osanai T, Fujima N,	脳神経外科	Use of magnetic resonance venography for inferior petrosal sinus sampling.	J Vasc Access. 2021 Feb 24	Original Article
462	Tokairin K, Hamauchi S, Ito M,	脳神経外科	Vascular Smooth Muscle Cell Derived from IPS Cell of Moyamoya Disease - Comparative Characterization with Endothelial Cell Transcriptome	J Stroke Cerebrovasc Dis . 2020 Dec;29(12)	Original Article

463	Tokairin K, Kazumata K, Gotoh S,	脳神経外科	Neuroendoscope-Assisted Aneurysm Trapping for Ruptured Intraventricular Aneurysms in Moyamoya Disease Patients	World Neurosurg. 2020 Sep;141	Case reports
464	Oki S, Osanai T, Tokairin K,	脳神経外科	Rare Case of Spinal Dural Arteriovenous Fistula with Radiculopathy, without Myelopathy or Spinal Edema on Magnetic Resonance Imaging	World Neurosurg. 2020 Jun;138	Case reports
465	Yamaguchi S, Ishi Y, Motegi H,	脳神経外科	The prognostic improvement of add-on bevacizumab for progressive disease during concomitant temozolomide and radiation therapy in patients with glioblastoma and anaplastic astrocytoma	J Neurosurg Sci	Original article
466	Ishi Y, Takamiya S, Seki T, Yamazaki K,	脳神経外科	Prognostic role of H3K27M mutation, histone H3K27 methylation status, and EZH2 expression in diffuse spinal cord gliomas	Brain Tumor Pathol.	Original article
467	Ishi Y, Yamaguchi S, Hatanaka KC,	脳神経外科	Association of the FGFR1 mutation with spontaneous hemorrhage in low-grade gliomas in pediatric and young adult patients.	J Neurosurg.	Original article
468	Yamazaki K, Kawabori M, Seki T, Takamiya S,	脳神経外科	FTY720 Attenuates Neuropathic Pain after Spinal Cord Injury by Decreasing Systemic and Local Inflammation in a Rat Spinal Cord Compression Model	J Neurotrauma. 2020 Aug 1;37(15)	Research Article
469	Yamazaki K, Kawabori M, Seki T,	脳神経外科	Clinical Trials of Stem Cell Treatment for Spinal Cord Injury	Int J Mol Sci. 2020 Jun 2;21(11)	Research Article
470	Sugiyama T, Clapp T, Nelson J,	脳神経外科	Immersive 3-Dimensional Virtual Reality Modeling for Case-Specific Presurgical Discussions in Cerebrovascular Neurosurgery	Oper Neurosurg・2021 Feb 16;20(3):289-299.	Original Article
471	Sugiyama T, Nakayama N, Ushikoshi S,	脳神経外科	Complication rate, cure rate, and long-term outcomes of microsurgery for intracranial dural arteriovenous fistulae: a multicenter series and systematic review	Neurosurg Rev・2021 Feb;44(1):435-450	Original Article
472	Sugiyama T	脳神経外科	In Reply: Immersive 3-Dimensional Virtual Reality Modeling for Case-Specific Presurgical Discussions in Cerebrovascular Neurosurgery	Oper Neurosurg・2021 May 13;20(6):E460	Case reports
473	Okamoto M, Sugiyama T, Nakayama N,	脳神経外科	Microsurgical Findings of Pial Arterial Feeders in Intracranial Dural Arteriovenous Fistulae: A Case Series.	Oper Neurosurg (Hagerstown). 2020 Jul 27	Original Article
474	Okamoto M, Yamaguchi S, Ishi Y,	脳神経外科	Diagnostic Capability of Cerebrospinal Fluid-Placental Alkaline Phosphatase Value in Intracranial Germ Cell Tumor.	Oncology. Epub 2020 Sep 9.	Original Article
475	Mitamura T, Sekine M, Arai M,	婦人科	The disease sites of female genital cancers of BRCA1/2-associated hereditary breast and ovarian cancer: a retrospective study.	World Journal of Surgical Oncology. 2021;19(1):36.	Original Article
476	Mitamura T, Sekine M, Arai M,	婦人科	Risk factors for lymph node metastasis of ovarian, fallopian tube and primary peritoneal cancer in hereditary breast and ovarian cancer syndrome.	Japanese Journal of Clinical Oncology. 2020;50(12):1380-5.	Original Article
477	Yosuke Konno , Hiroshi Asano ,	婦人科	Lymphadenectomy issues in endometrial cancer	J Gynecol Oncol. 2021 Mar;32(2):e25	Review
478	Dong P, Xiong Y, Konno Y,	婦人科	Critical Roles of PIWIL1 in Human Tumors: Expression, Functions, Mechanisms, and Potential Clinical Implications	Front Cell Dev Biol. 2021 Feb 26;9:656993.	Review

479	Dong P, Xu D, Xiong Y, Yue J,	婦人科	The Expression, Functions and Mechanisms of Circular RNAs in Gynecological Cancers.	Cancers (Basel). 2020;12(6):1472	Review
480	Asano H, Hatanaka KC, Matsuoka R,	婦人科	L1CAM Predicts Adverse Outcomes in Patients with Endometrial Cancer Undergoing Full Lymphadenectomy and Adjuvant Chemotherapy.	Ann Surg Oncol. 2020;27(7):2159-68	Original Article
481	Xu D, Dong P, Xiong Y, Yue J,	婦人科	MicroRNA-361-Mediated Inhibition of HSP90 Expression and EMT in Cervical Cancer Is Counteracted by Oncogenic lncRNA NEAT1	Cells. 2020;9(3):632	Original Article
482	Umazume T, Yamada T, Furuta I,	産科・周産母子センター	Morphofunctional cardiac changes in singleton and twin pregnancies: a longitudinal cohort study	BMC Pregnancy Childbirth. 2020 Dec 2;20(1):750.	Original Article
483	Umazume T, Miyagi E, Haruyama Y,	産科・周産母子センター	Survey on the use of personal protective equipment and COVID-19 testing of pregnant women in Japan.	J Obstet Gynaecol Res. 2020;46:1933-9	Original Article
484	Mayama M, Asano H, Nomura E,	産科・周産母子センター	Four versus six chemotherapy cycles in endometrial carcinoma with a high risk of recurrence: a retrospective study	Jpn J Clin Oncol. 2020 Aug 4;50(8):882-888.	Original Article
485	Nakagawa K, Umazume T, Mayama M,	産科・周産母子センター	Feasibility and safety of urgently initiated maternal telemedicine in response to the spread of COVID-19: A 1-month report	J Obstet Gynaecol Res. 2020 Oct;46(10):1967-1971.	Original Article
486	Morikawa M, Yamada T, Saito Y,	産科・周産母子センター	Predictors of recurrent gestational diabetes mellitus: A Japanese multicenter cohort study and literature review	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Apr;47(4):1292-1304. doi: 10.1111/jog.14660. Epub 2021 Jan 10.	Review
487	Morikawa M, Mayama M, Saito Y,	産科・周産母子センター	Hypoproteinemia as a parameter of poor perinatal/neonatal outcomes in women with preeclampsia diagnosed as hypertension plus proteinuria.	Pregnancy Hypertens. 2020;21:111-7	Original research
488	Mayama M, Sekine M, Onodera Y,	産科・周産母子センター	Attitudes toward overtime work and self-training: A survey on obstetricians and gynecologists in Japan	J Obstet Gynaecol Res. 2021 May;47(5):1666-1674. doi: 10.1111/jog.14735. Epub 2021 Mar 10.	Original research
489	Mayama M, Morikawa M, Yamada T,	産科・周産母子センター	Mild thrombocytopenia indicating maternal organ damage in pre-eclampsia: a cross-sectional study	BMC Pregnancy Childbirth. 2021 Jan 28;21(1):91.	Original research
490	Kawano O, Egawa K, Shiraishi H	小児科	Perampanel for nonepileptic myoclonus in Angelman syndrome.	Brain Dev. 2020 May;42(5):389-392	Original Article
491	Shiraishi H, Yamada K, Egawa K,	小児科	Efficacy of bezafibrate for preventing myopathic attacks in patients with very long-chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency..	Brain Dev. 2021 Feb;43(2):214-219.	Original Article
492	Otsuka K, Egawa K, Fujima N,	小児科	Reinterpretation of magnetic resonance imaging findings with magnetoencephalography can improve the accuracy of detecting epileptogenic cortical lesions.	Epilepsy Behav. 2021 Jan;114(Pt A):107516. doi: 10.1016/j.yebeh.2020.107516. Epub 2020 Dec 13.	Original Article
493	Egawa K, Saitoh S, Asahina N,	小児科	Short-latency somatosensory-evoked potentials demonstrate cortical dysfunction in patients with Angelman syndrome.	eNeurologicalsci. 2020 Dec 1;22:100298. doi: 10.1016/j.ensci.2020.100298. eCollection 2021 Mar.	Original Article
494	Egawa K, Nakakubo S, Kimura S,	小児科	Flurothyl-induced seizure paradigm revealed higher seizure susceptibility in middle-aged Angelman syndrome mouse model.	Brain Dev. 2021 Apr;43(4):515-520.	Original Article

495	Egawa K, Saitoh S, Asahina N,	小児科	Variance in the pathophysiological impact of the hemizygosity of gamma-aminobutyric acid type A receptor subunit genes between Prader-Willi syndrome and Angelman syndrome.	Brain Dev. 2021 Apr;43(4):521-527.	Original Article
496	Kimura S, Shiraishi H, Egawa K,	小児科	Efficacy of perampanel for epileptic seizures and daily behavior in a patient with Leigh syndrome: a case report.	Brain Dev. 2021 Jan;43(1):157-159.	Case Report
497	Maruo Y , Egawa K, Tonoki H,	小児科	Selective eating in autism spectrum disorder leading to Kwashiorkor and brain edema.	Pediatr Neuro. 2021 Mar;116:55-56.	Case Report
498	Maruo Y, Uetake K, Egawa K,	小児科	Selective eating in autism spectrum disorder leading to hair color change.	Pediatr Neuro. 2021 Jul;120:1-2.	Case report
499	Ueda Y, Suganuma T, Narumi-Kishimoto Y,	小児科	A case of severe autosomal dominant spinal muscular atrophy with lower extremity predominance caused by a de novo BICD2 mutation.	Brain Dev 2021 Jan;43(1):135-139.	Case Report
500	Fujima N, Andreu-Arasa VC,	放射線診断科	Prediction of the human papillomavirus status in patients with oropharyngeal squamous cell carcinoma by FDG-PET imaging dataset using deep learning analysis: A hypothesis-generating study	Eur J Radiol. 2020 May; 126:108936	Original Article
501	Tsuneta S, Oyama-Manabe N,	放射線診断科	Improvement of image quality on low-dose dynamic myocardial perfusion computed tomography with a novel 4-dimensional similarity filter	Medicine (Baltimore). 2020 Jun; 26;99(26): e20804	Original Article
502	Fujima N, Kameda H, Shimizu Y,	放射線診断科	Utility of a diffusion-weighted arterial spin labeling (DW-ASL) technique for evaluating the progression of brain white matter lesions	Magn Reson Imaging. 2020 Jun; 69:81-87	Original Article
503	Fujima N, Andreu-Arasa VC, Meibom SK,	放射線診断科	Deep learning analysis using FDG-PET to predict treatment outcome in patients with oral cavity squamous cell carcinoma	Eur Radiol. 2020 Jun; 10	Original Article
504	Fujima N, Carlota Andreu-Arasa V,	放射線診断科	Magnetic Resonance Spectroscopy of the Head and Neck: Principles, Applications, and Challenges	Neuroimaging Clin N Am. 2020 Aug; 30(3):283-293	Review
505	Shimizu Y, Kudo K, Kameda H,	放射線診断科	Prediction of Hypoxia in Brain Tumors Using a Multivariate Model Built from MR Imaging and 18F-Fluorodeoxyglucose Accumulation Data	Magn Reson Med Sci. 2020 Aug; 3;19(3):227-234	Original Article
506	Watanabe S, Nishijima KI, Okamoto S,	核医学診療科	Biodistribution and internal radiation dosimetry of a novel probe for thymidine phosphorylase imaging, [123I] IIMU, in healthy volunteers	Ann Nucl Med. 2020 Aug; 34(8):595-599	Original Article
507	Tsuneta S, Oyama-Manabe N, Hirata K,	放射線診断科	Texture analysis of delayed contrast-enhanced computed tomography to diagnose cardiac sarcoidosis	Jpn J Radiol. 2021 Jan 22	Original Article
508	Fujima N, Andreu-Arasa VC, Onoue K,	放射線診断科	Utility of deep learning for the diagnosis of otosclerosis on temporal bone CT	Eur Radiol. 2021 Jan 6	Original Article
509	Fujima N, Andreu-Arasa VC, Meibom SK,	放射線診断科	Prediction of the Treatment Outcome using Machine Learning with FDG-PET Image-based Multiparametric Approach in Patients with Oral Cavity Squamous Cell Carcinoma	Clin Radiol. 2021 Mar 26	Original Article
510	Morita R, Abo D, Soyama T,	放射線診断科	Spontaneous rupture of the pancreatic arcade artery caused by neurofibromatosis type 1 successfully treated using emergency transcatheter arterial embolization, partial intra-aortic balloon occlusion, and stent graft placement: a case report and review of the literature	CVIR Endovasc. 2020 Jul; 26;3(1):37	Case report

511	Tsuneta S, Abo D, Oyama-Manabe N,	放射線診断科	Visualization of Quantitative Flow Reduction with 4D-flow Magnetic Resonance Imaging in a Patient with Pelvic Arteriovenous Malformation After Transcatheter Arterial Embolization	Cardiovasc Intervent Radiol. 2020 Oct; 43(10):1557-1560	Case report
512	Hirata K, Tamaki N	核医学診療科	Quantitative FDG PET Assessment for Oncology Therapy	Cancers (Basel). 2021 Feb; 19;13(4):869	Review
513	Fujima N	放射線診断科	Editorial for "Intra-voxel incoherent motion (IVIM) MRI for prediction of induction chemotherapy response in locally advanced hypopharyngeal carcinoma: comparison with model-free dynamic contrast-enhanced MRI"	J Magn Reson Imaging. 2021 Mar 28	Review
514	Minatogawa H	放射線治療科	Potential benefits of adaptive intensity-modulated proton therapy in nasopharyngeal carcinomas	J Appl Clin Med Phys. 2021 Jan;22(1):174-183	Original article
515	Yasuda K	放射線治療科	Analysis of acute-phase toxicities of intensity-modulated proton therapy using a model-based approach in pharyngeal cancer patients	JRadiatRes.2021Mar10;62 (2):329-337.	Original article
516	Aoyama H	放射線治療科	Rab27b contributes to radioresistance and exerts a paracrine effect via epiregulin in glioblastoma	Neurooncol Adv. 2020 Aug 8;2(1):vdaa091	Original article
517	Nomura Y, Morozumi T, Fukuda M,	歯周・歯内療法科	Optimal examination sites for periodontal disease evaluation: Applying the Item response theory graded response mode	J Clin Med, 9(11), 2020	Original Article
518	Hibino Y, Oyane A, Shitomi K,	歯周・歯内療法科	Technique for simple apatite coating on a dental resin composite with light-curing through a micro-rough apatite layer	Mater Sci Eng C Mater, 116, 111146, 2020	Original Article
519	Oyane A, Sakamaki I, Koga K,	歯周・歯内療法科	Antibacterial tooth surface created by laser-assisted pseudo-biomineralization in a supersaturated solution	Mater Sci Eng C Mater, 116, 111170, 2020	Original Article
520	Santhakumar S, Oyane A, Nakamura M,	歯周・歯内療法科	In situ precipitation of amorphous calcium phosphate nanoparticles within 3D porous collagen sponges for bone tissue engineering	Mater Sci Eng C Mater, 116, 111194, 2020	Original Article
521	Nsihida E, Miyaji H, Shitomi K,	歯周・歯内療法科	Evaluation of antibacterial and cytocompatible properties of multiple-ion releasing xinc-fluoride glass nanoparticles	Dent mater J. 40(1), 2021	Original Article
522	Nomura Y, Morozumi T, Numabe Y,	歯周・歯内療法科	Estimation of the periodontal inflamed surface area by simple oral examination	J Clin Med, 10(4), 723, 2021	Original Article
523	Nomura Y, Morozumi T, Saito A,	歯周・歯内療法科	Prospective longitudinal changes in the periodontal inflamed surface area following active periodontal treatment for chronic periodontitis	J Clin Med, 10(6), 1165, 2021	Original Article
524	Mayumi K, Miyaji H, Miyata S,	歯周・歯内療法科	Antibacterial coating of tooth surface with ion-releasing pre-reacted glass-ionomer (S-PRG) nanofillers	Heliyon, 7(2), 2021	Original Article
525	Okamoto I, Miyaji H, Miyata S,	歯周・歯内療法科	Antibacterial and antibiofilm photodynamic activities of lysozyme Au nanoclusters/rose bengal conjugates	ACS Omega, 6(13), 2021	Original Article
526	Tarao H, Akutagawa M, Emoto T,	歯周・歯内療法科	Evaluation of temperature increase from joule heat in numerical tooth model by applying 500 kHz current for apical periodontitis treatment-effect of applied voltage and tooth conductivity	Bioelectromagnetics. 42(3), 2021	Original Article

527	S.Takada, E.Hirata, M.Sakairi,	義歯補綴科	Carbon nanohorn coating by electrodeposition accelerate bone formation on titanium implant.	Artificial Cells Nanomedicine And Biotechnology 49: 20-29, 2021	Original Article
528	T.Naoe, A.Hasebe, R.Horiuchi,	義歯補綴科	Development of tissue conditioner containing cetylpyridinium chloride montmorillonite as new antimicrobial agent: Pilot study on antimicrobial activity and biocompatibility.	Journal of prosthodontic research, 64(4) 436 - 443, 2020	Original Article
529	Nogawa T, M.Saito, N.Murashima, Y.	義歯補綴科	Influence of rigidity of retainers on dynamic behavior of implant-supported removable partial dentures.	Journal of Implant Dentistry 6:60, 2020 DOI: 10.1186/s40729-020-00260-4	Original Article
530	T.Nagai, T.Hasegawa, Yimin,	義歯補綴科	Immunocytochemical assessment of cell differentiation of podoplanin-positive osteoblasts into osteocytes in murine bone.	Histochemistry and Cell Biology 2020 DOI: 10.1007/s00418-020-01937-y	Original Article
531	Tamaki H, Abe S, Yamagata S,	矯正歯科	Self-assembled monolayer formation on a dental orthodontic stainless steel wire surface to suppress metal ion elution	coatings 10, (e) 367, April 2020	Orginal Article
532	Yamagata S, Yamamoto T, Sato Y,	矯正歯科	Fluorescence and mechanical properties of Y2O3:Eu3+ nanophosphor-containing adhesive resins	Nano Biomedicime 12(1), 19-26, June 2020	Orginal Article
533	Sato Y, Yamamoto T, Donen M,	矯正歯科	A long-term follow-up case of skeletal Class II malocclusion treated by orthognathic surgery	The Journal of Hokkaido Orthodontic Society 48(1): 9-19, December 2020	Case Report
534	Nishimi M, Nakamura K, Hisada A,	小児・障害者歯科	Effects of N-acetylcysteine on root resorption after tooth replantation.	Pediatr Dent J, 30(2), 72-79, 2020.	Orginal Article
535	Nakamura K, Minamikawa H, Takahashi S,	小児・障害者歯科	N-acetylcysteine attenuates PGE2 and ROS production stimulated by 4-META/MMA-based resin in murine osteoblastic cells.	Dent Material J, in press.	Orginal Article
536	Mikawa Y, Towfik Alam M,	口腔内科	Conditionally Replicative Adenovirus Controlled by the Stabilization System of AU-Rich Elements Containing mRNA	Cancers 2020 May 11;12(5):E1205. doi: 10.3390/cancers12051205.	Orginal Article
537	Sakata KI, Maeda K, Sakurai N,	口腔内科	ADAR2 Regulates Malignant Behaviour of Mesothelioma Cells Independent of RNA-editing Activity	Anticancer Res 40(3): 1307-1314. 2020. doi: 10.21873/anticanres.14072.	Orginal Article
538	Shiiba M, Yamagami H, Sudo T,	口腔内科	Development of prediction models for the sensitivity of oral squamous cell carcinomas to preoperative S-1 administration	Heliyon, 6(8): e04601, 2020. doi: 10.1016/j.heliyon.2020.e04601.	Orginal Article
539	Hata H, Kitao T, Sato J,	口腔内科	Quantitative bone single photon emission computed tomography analysis of the effects of duration of bisphosphonate administration on the parietal bone	Sci Rep. 10(1), 17461, 2020, doi: 10.1038/s41598-020-74335-y.	Orginal Article
540	Hata H, Kitao T, Sato J, Asaka T,	口腔内科	Monitoring indices of bone inflammatory activity of the jaw using SPECT bone scintigraphy: a study of ARONJ patients	Sci Rep, 10(1):11385, 2020, doi: 10.1038/s41598-020-68428-x.	Orginal Article
541	Burmester IAK, Flaswinkel S, Thies CS,	口腔内科	Identification of novel therapeutic targets for blocking acantholysis in pemphigus	Br J Pharmacol, 177(22), 5114-5130, 2020, doi: 10.1111/bph.15233.	Orginal Article
542	Imafuku K, Kamaguchi M, Natsuga K,	口腔内科	Zonula occludens-1 demonstrates a unique appearance in buccal mucosa over several layers	Cell Tissue Res, Online ahead of print, 2021, doi: 10.1007/s00441-021-03425-8.	Orginal Article

543	Tsuchiya E, Hasegawa T, Hongo H,	口腔内科	Histochemical assessment on the cellular interplay of vascular endothelial cells and septoclasts during endochondralossification in mice	Microscopy (Oxf), 70(2):201-214, 2021, doi: 10.1093/jmicro/dfaa047.	Orginal Article
544	Hata H, Takada S, Sato J,	口腔内科	Analgesic effects of indomethacin spray on drug-induced oral mucositis pain in patients with cancer:A single-arm cross-sectional study	Spec Care Dentist. Online ahead of print., 2021, doi: 10.1111/scd.12587.	Orginal Article
545	Takato T, Kitagawa Y, Kamikawa Y,	口腔内科	A Comparative Randomized, Open-label, Multicenter Study of the Efficacy and Safety of Miconazole Mucoadhesive Tablets and Miconazole Gel in the Treatment of Oropharyngeal Candidiasis [Translated Article]	Med Mycol J. 62(1), 11-19, 2021, doi: 10.3314/mmj.19-00028T.	Orginal Article
546	Yamada SI, Hasegawa T, Soutome S,	口腔内科	Prevalence of and risk factors for postoperative hemorrhage after lower third molar extraction on warfarin therapy: a multicenter retrospective study in Japan	Odontology, 108(3):462-469, 2021, doi: 10.1007/s10266-019-00474-y.	Orginal Article
547	Yanagiya M, Dawood RIH, Maishi N,	口腔内科	Correlation between endothelial CXCR7 expression and clinicopathological factors in oral squamous cell carcinoma	Pathol Int, Online ahead of print, 2021. doi: 10.1111/pin.13094.	Orginal Article
548	Li C, Maishi N, Annan DA,	口腔内科	Inhibition of stromal biglycan promotes normalization of the tumor microenvironment and enhances chemotherapeutic efficacy	Breast Cancer Res, 23-51,2021 doi.org/10.1186/s13058-021-01423-w	Orginal Article
549	Hato H, Sakata KI, Sato J,	口腔内科	Clinical study of treatment methods and associated factors in mandibular osteoradionecrosis	J Oral Sci, in press 2021.	Orginal Article
550	Boch K, Hammers CM, Goletz S,	口腔内科	Immunoglobulin M pemphigoid	J Am Acad Dermatol, S0190-9622(21)00106-7. 2021, doi: 10.1016/j.jaad.2021.01.017.	Review
551	Watanabe H, Ishikawa M, Kitagawa Y	口腔内科	Early diagnosis from trismus leading to successful life-saving in a patient with tetanus	Oral science in Japan, 18(1), 43-46, 2021.	Orginal Article
552	Kimura T, Sato J, Kitagawa Y	口腔内科	A possible case with nicotinic stomatitis	Oral science in Japan, 18(1), 35-36, 2021.	Orginal Article
553	Morimoto M, Takano M, Sato T, Makino S	口腔内科	A difficult to diagnose case of adenoid cystic carcinoma in the submandibular gland	Oral Science in Japan, 17(1), 37-40, 2020.	Orginal Article
554	Kamaguchi M, Ohga N, Hata H,	口腔内科	Treatment of medication-related osteonecrosis of the jaw using segmental mandibulectomy and a reconstruction plate: A case report and 5-year follow-up	Oral Sci Int. 1-7, 2021, https://doi.org/10.1002/osi2.1105	Case Report
555	Morimoto M, Ohga N, Sakata KI,	口腔内科	A case of hereditary angioedema (type III) in which mandibular wisdom tooth extraction was performed under intravenous sedation management without prophylactic administration of C1-INH	Oral and Maxillofacial surgery cases. 6(2), 100151, 2020, https://doi.org/10.1016/j.omsc.2020.100151	Case Report
556	Matsushita K, Takamichi O, Inoue N	口腔外科	Simple Estimation of Movement of the Distal Segment Separately at the Right and Left Vertical Osteotomy Lines in Sagittal Split Ramus Osteotomy	Int J Prosthodont Restor Dent 10(1), 32-34, 2020	Orginal Article
557	Matsushita K, Shinzaki M,	口腔外科	Bone Augmentation by the Dredging Method for Dental Implant Placement in Alveolar Bone Resorbed due to a Postoperative Maxillary Cyst	Int J Prosthodont Restor Dent 10(3), 127-130, 2020	Orginal Article
558	Ooi K, Inoue N, Matsushita K,	口腔外科	Comparison of Postoperative Stability Between BSSRO and Le Fort 1 Osteotomy with BSSRO in Skeletal Class III Malocclusion with Severe Open Bite	J. Maxillofac. Oral Surg, 19(4), 591-595, 2020	Orginal Article

559	Ooi K, Inoue N, Matsushita K,	口腔外科	Comparison of Maximum Mouth Opening Following Mandibular Bilateral Sagittal Splitting Ramus osteotomies in Class III Females Using Two Different Osteosynthesis Methods	J Oral Rehabil. 47(10), 1242-1246, 2020	Orginal Article
560	Ooi K, Inoue N, Matsushita K,	口腔外科	Relations between anterior disc displacement and maxillomandibular morphology in skeletal anterior open bite with changes to the mandibular condyle	Br J Oral Maxillofac Surg, 58(9),1084-1090, 2020	Orginal Article
561	Ooi K, Inoue N, Matsushita K,	口腔外科	Body weight loss after orthognathic surgery: comparison between postoperative intermaxillary fixation with metal wire and elastic traction, factors related to body weight loss	J. Maxillofac Oral Surg, 20(1), 95-99, 2020	Orginal Article
562	Ohiro Y, Kakuguchi W, Kuribayashi K,	口腔外科	Overexpressed tumor protein p53 and the impaired function in aggressively growing calcifying odontogenic cyst: a case report	Hokkaido J Dent Sci, 41(1),143-146, 2021	Case Report
563	YH Sun, KC Lin Y Ohiro, CY Fang	口腔外科	Trigeminocardiac reflex-related sudden bradycardia and hypotension can be induced by drain removal after superficial parotidectomy	Journal of Dental Sciences, 2021	Case Report
564	Kakuguchi W, Nakamichi Y, Kitamura T	口腔外科	Amyloid Variant of Central Odontogenic Fibroma in the Mandible: A Case Report and Literature Review	Am J Case Rep.2020;21	Case Report
565	Shima T, Fujima N, Yamano S, Kudo K,	歯科放射線科	Evaluation of non-Gaussian model-based diffusion-weighted imaging in oral squamous cell carcinoma: comparison with tumor functional information derived from positron emission tomography.	Clin Radiol . 2020 Jan.	Original Article
566	Uwano I, Kameda H, Harada T,	放射線診断科	Detection of impaired cerebrovascular reactivity in patients with chronic cerebral ischemia using whole-brain 7T MRA.	J Stroke Cerebrovasc Dis . 2020 Sep	Original Article
567	Takayuki Hojo, Makiko Shibuya,	歯科麻酔科	Refractory hypotension during general anesthesia despite withholding telmisartan	Anesth Prog, 67(2), 86-89・7-6-2020	Case Report
568	Takayuki Hojo, Yukifumi Kimura,	歯科麻酔科	A case of methemoglobinemia thought to have been caused by the combined use of propitocaine and nitroglycerin during general anesthesia	Anesth Prog, 67(3), 170-171・9-29-2020	Case Report
569	Shibuya M, Kimura Y, Takuma S,	歯科麻酔科	Cardiovascular considerations in anesthetic management for a patient with antiphospholipid syndrome and decreased cardiac function: A case study	Anesth Prog, 68(1), 33-37・3-7-2021	Case Report
570	Takuma S, Kimura Y, Kamekura N,	歯科麻酔科	Incidentally Detected Asymptomatic Thrombus in the Inferior Vena Cava Thought to be Caused by Central Venous Catheterization for an Oral Surgical Procedure	JOURNAL OF CLINICAL AND MEDICAL CASE REPORTS, 1(4), 12-07-2020	Case Report
571	Sumio Iwasaki, Shinichi Fujisawa,	検査・輸血部	Comparison of SARS-CoV-2 detection in nasopharyngeal swab and saliva	J Infect. 2020 Aug;81(2):e145-e147.	Letter to the Editor
572	Tatsuya Fukumoto, Sumio Iwasaki,	検査・輸血部	Efficacy of a novel SARS-CoV-2 detection kit without RNA extraction and purification	Int J Infect Dis. 2020 Sep;98:16-17	Short Communication
573	Keisuke Taki, Isao Yokota,	検査・輸血部	SARS-CoV-2 detection by fluorescence loop-mediated isothermal amplification with and without RNA extraction	J Infect Chemother. 2021 Feb;27(2):410-412.	Note
574	Masafumi Yamamoto, Satoshi Konno,	検査・輸血部	Factors for the Variability of Three Acceptable Maximal Expiratory Flow-Volume Curves in Chronic Obstructive Pulmonary Disease	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2021 Feb 24;16:415-422.	Original Article

575	Ayumi Ohara, Satoshi Konno,	検査・輸血部	Two cases of chronic obstructive pulmonary disease with undetectable diffusing capacity for carbon monoxide	Respir Investig. 2021 Jan;59(1):145-148. doi: 10.1016/j.resinv.2020.08.009. Epub 2020 Oct 21.	Rapid Communication
576	Satoshi Oguri, Shinichi Fujisawa,	検査・輸血部	Effect of varying storage conditions on diagnostic test outcomes of SARS-CoV-2	Journal of Infection, volume 83, issue 1, July 2021, pages 119-145	Letter
577	Yokota I, Shane PY, Okada K,	検査・輸血部	Mass screening of asymptomatic persons for SARS-CoV-2 using saliva.	Clin Infect Dis. 2020 Sep 25:ciaa1388.	Original article
578	Yokota I, Hattori T, Shane PY, Konno S,	検査・輸血部	Equivalent SARS-CoV-2 viral loads between nasopharyngeal swab and saliva in symptomatic patients.	medRxiv. 2020 Sep.	Original article
579	Sugita J, Kamimura T, Ishikawa T,	検査・輸血部	Reduced dose of posttransplant cyclophosphamide in HLA-haploidentical peripheral blood stem cell transplantation.	Bone Marrow Transplant. 2020 Sep 24.	Original article
580	Murayama M, Iwano H, Sarashina M,	超音波センター	Mechanism of Early-Diastolic Mitral Regurgitation.	Circ J 2020;84(11):2036	Case report
581	Iwai T, Nishida M, Sugita J,	検査・輸血部	Reliability of an ultrasonographical scoring system for diagnosis of sinusoidal obstruction syndrome / veno-occlusive disease in patients with hematopoietic stem cell transplantation	J Med Ultrason 2021;48(1):45-52.	Original article
582	Murayama M, Iwano H, Nishino H,	超音波センター	Simple two-dimensional echocardiographic scoring system for the estimation of left ventricular filling pressure.	J Am Soc Echocardiogr 2021;34(7):723-734.	Original article
583	Nishida M, Sugita J, Takahashi S,	検査・輸血部	Refined ultrasonographic criteria for sinusoidal obstruction syndrome after hematopoietic stem cell transplantation.	Int J Hematol 2021;114(1):94-101.	Original article
584	Ichikawa N, Homma S, Yoshida T,	消化器外科 I	An increase in the peripheral lymphocyte-to-monocyte ratio after primary site resection is associated with a prolonged survival in unresectable colorectal carcinoma.	Surg Today. 2020 Jun,50(6):604-614. doi: 10.1007/s00595-019-01927-1. Epub 2019 Nov 30.Surg Today. 2020.	Original Article
585	Ara T, Hashimoto D, Hayase E,	血液内科	Intestinal goblet cells protect against GVHD after allogeneic stem cell transplantation via Lypd8.	Sci Transl Med. 2020 Jul 1;12(550):eaaw0720. doi: 10.1126/scitranslmed.aaw0720.	Original Article
586	Abe Y, Suzuki M, Tsuji K,	内科 I	Lung metastasis from gastric cancer presenting as diffuse ground-glass opacities.	Respir Med Case Rep. 2020 May 23;30:101104. doi: 10.1016/j.rmcr.2020.101104. eCollection 2020.	Case Report
587	Goto R, Kawamura N, Watanabe M,	消化器外科 I	Post-transplant indolent T cell lymphoproliferative disorder in living donor liver transplantation: a case report.	Surg Case Rep. 2020 Jun 26;6(1):147. doi: 10.1186/s40792-020-00904-y.	Case Report
588	Fujimoto K, Hatanaka KC, Hatanaka Y,	血液内科	Association of Epstein-Barr virus with regression after withdrawal of immunosuppressive drugs and subsequent progression of iatrogenic immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders in patients with autoimmune diseases.	Hematol Oncol. 2020 Dec;38(5):799-807. doi: 10.1002/hon.2790. Epub 2020 Aug 21. doi: 10.1002/hon.2790.	Original Article
589	Hane Y, Tsuchikawa T, Nakamura T,	消化器外科 II	Immunological gene signature associated with the tumor microenvironment of pancreatic cancer after neoadjuvant chemotherapy.	Pancreas. 2020; 49(9): 1240-1245. doi: 10.1097/MPA.0000000000001665.	Original Article
590	Omotehara S, Nishida M, Yamanashi K,	超音波センター	A case of immune checkpoint inhibitor-associated gastroenteritis detected by ultrasonography.	J Clin Ultrasound. 2021 Feb 12. doi: 10.1002/jcu.22975. Online ahead of print.	Case Report

591	Kanno-Okada H, Takahashi K, Katano H,	病理部/病理診断科	A case of Epstein-Barr virus-associated lymphoepithelioma-like carcinoma of the colon.	Pathol Int. 2021 Mar 31. doi: 10.1111/pin.13095. Epub ahead of print.	Case Report
592	Ito S, Asahina H, Yamaguchi N, Tomaru U,	内科 I	A case of radio-insensitive SMARCA4-deficient thoracic undifferentiated carcinoma with severe right heart failure.	Respir Med Case Rep. 2021 Feb 18; 32: 101364. doi: 10.1016/j.rmcr.2021.101364.	Case Report
593	Oguma H, Seitoku E, Mutoh M,	口腔総合治療部	Size- and morphology- controlled preparation of surface-modified water-dispersible fullerene nanoparticles for bioapplications.	J Nanosci Nanotechnol, 20(5), 2668-2674, 2020.	Original Article
594	Kuramitsu K, Fukumoto T, Egawa H,	臓器移植医療部	A Multicenter Japanese Survey Assessing the Long-Term Outcomes of Liver Retransplantation using Living Donor Grafts	Transplantation・2020	Original Article
595	Fujii Y, Kawamura N, Zaitsu M,	臓器移植医療部	Outcome of Living-Donor Liver Transplantation Using Grafts from Donors Treated for Fatty Liver	Ann Transplant・2020	Original Article
596	Hara T, Eguchi S, Yoshizumi T,	臓器移植医療部	Incidental/misdiagnosed intrahepatic cholangiocarcinoma in patients undergoing liver transplantation: a multi-center study in Japan	J Hepatobiliary Pancreat Sci・2021	Original Article
597	Takikawa Y, Kakisaka K, Suzuki Y,	臓器移植医療部	Multicenter study on the consciousness-regaining effect of a newly developed artificial liver support system in acute liver failure: An on-line continuous hemodiafiltration system	Hepatology Research・2021	Original Article
598	Ono H, Kusano M, Yokoyama H,	臓器移植医療部	Endoscopic identification of colorectal cancer margin by indocyanine green fluorescence imaging	J GHR・2021	Original Article
599	Fukai M, Nakayabu T, Ohtani S,	臓器移植医療部	The phenolic antioxidant 3,5-dihydroxy-4-methoxybenzyl alcohol (DHMBA) prevents enterocyte cell death under oxygen-dissolving cold conditions through polyphyletic antioxidant actions	J. Clin・2021	Original Article
600	Eguchi S, Egawa H, Eguchi H,	臓器移植医療部	Indications and waiting list priority for deceased donor liver transplantation in HIV/HCV co-infected hemophilic patients in Japan through contaminated blood product	Hepatol Res・2021	Original Article
601	Ono H, Yokoyama H, Yoshida H,	臓器移植医療部	Aggravation of Pseudomyxoma Peritonei Recognized 31 Months Post Appendectomy	J GHR・2020	Case Report
602	Ono H, Yokoyama H, Yoshida H,	臓器移植医療部	Prevention of PEG Tube Misplacement in the Transverse Colon: Method of Introducing a Gastrografin into the Stomach	J GHR・2020	Case Report
603	Ono H, Yokoyama H, Yoshida H,	臓器移植医療部	Adenocarcinoma of the Third Portion of the Duodenum with an Acute Cholecystitis	J GHR・2021	Case Report
604	Ono H, Yokoyama H, Yoshida H,	臓器移植医療部	Actinomycosis of an Appendix with a Cecal Abscess	J GHR・2021	Case Report
605	Ono H, Kusano M, Yokoyama H,	臓器移植医療部	Effectiveness of Indocyanine Green Fluorescence in Gastric Adenosquamous Carcinoma with Hepatic Metastases	J GHR・2021	Case Report
606	Kikuchi J, Ohhara Y, Takada K,	がん遺伝子診断部	Clinical significance of comprehensive genomic profiling tests covered by public insurance in patients with advanced solid cancers in Hokkaido, Japan.	Jpn J Clin Oncol. 2021 Apr 30;51(5):753-761.(Epab 2021 Feb)	Original Article

607	Hagio K, Amano T, Hayashi H,	がん遺伝子診断部	Impact of clinical targeted sequencing on endocrine responsiveness in estrogen receptor-positive, HER2-negative metastatic breast cancer.	Sci Rep. 2021 Apr 14;11(1):8109	Original Article
608	Shuhei Ishikawa, Masaki Kobayashi,	薬剤部	Association Between N-Desmethylclozapine and Clozapine-Induced Sialorrhea: Involvement of Increased Nocturnal Salivary Secretion via Muscarinic Receptors by N-Desmethylclozapine	J Pharmacol Exp Ther 2020 Nov;375(2):376-384	Original Article
609	Yoshitaka Saito, Kazuki Uchiyama,	薬剤部	Pharmaceutical care contributes to the advanced management of patients receiving immune checkpoint inhibitors	Biol Pharm Bull 2020;43(12):1969-1974.	Original Article
610	Yoshitaka Saito, Yoh Takekuma,	薬剤部	Detection of risk factors related to administration suspension and severe neutropenia in gemcitabine and nab-paclitaxel treatment	Supportive Care in Cancer 2021 Apr, 29(6), 3277-3285	Original Article
611	Kazuki Uchiyama, Yoshitaka Saito,	薬剤部	Pharmacokinetics of mycophenolic acid after haplo-hematopoietic stem cell transplantation in Japanese recipients	Journal of Oncology Pharmacy Practice 2020 Dec 22 Online ahead of print	Original Article
612	Ayako Nishimura, Ayako Furugen,	薬剤部	Benzodiazepine Concentrations in the Breast milk and Plasma of Nursing Mothers: Estimation of Relative Infant Dose	Breastfeeding medicine 2021 Jan 15. Online ahead of print.	Original Article
613	Yoshitaka Saito, Kazuki Uchiyama,	薬剤部	Evaluation of chemotherapy regimen management practice by oncology-specialized and non-specialized pharmacists collaboration	Biol pharm bull 2021 Mar;44(3):293-297	Original Article
614	Yoshitaka Saito, Yoh Takekuma,	薬剤部	Impact of histamine type-2 receptor antagonists on the anticancer efficacy of gefitinib in patients with non-small cell lung cancer	European Journal of Clinical Pharmacology 2021 Mar;77(3):381-388	Original Article
615	Yoshitaka Saito, Yoh Takekuma,	薬剤部	Hypertriglyceridemia induced by fluorouracil: a novel case report	Case Reports in Oncology 2021 Mar 1;14(1):207-211	Case Report
616	Saito T, Yamashita Y, Tomoda A,	児童思春期精神医学研究部門	Using the drug repositioning approach to develop a novel therapy, tipepidine hibenzate sustained-release tablet (TS-141), for children and adolescents with attention-deficit/hyperactivity disorder	BMC Psychiatry Vol. 20 Issue 1, 530, 2020	Original Article
617	Suyama S, Yagyu K, Araki A,	児童思春期精神医学研究部門	Risk factors for motor coordination problems in preschool-age children	Pediatr Int 2020 Vol. 62 Issue 10, 1177-1183, 2020 Accession Number: 32353913 DOI: 10.1111/ped.14275	Original Article

1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
～					

(注) 1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	㊒・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	㊒・無
・手順書の主な内容 北海道大学病院で実施される臨床研究が「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」に適合して運用されるために「北海道大学病院における臨床研究の取り扱いに関する指針」を整備し、臨床研究の分類と担当する委員会、審査に関する手順を定めている。手順書では総則、総長の責務等、病院長の責務等、自主臨床研究審査委員会の責務等、自主臨床研究責任者の責務等、自主臨床研究事務局、個人情報等、研究に係る資料及び情報等の保管の 8 章 72 条の手順を規定している。 研究責任者は、該当する審査委員会に審査を受けるための申請を行うこととし、研究者がいずれの審査を受けるべきか判断に苦慮する場合は、本院自主臨床研究委員会事務局へ問い合わせることとなっている。	
③　倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注)　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	㊒・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	㊒・無
・規定の主な内容 「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反ポリシー」及び「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反マネジメント内規」を整備し、本院において実施する臨床研究に係る利益相反の適切な管理、審査及び指導等について必要な事項を定めている。	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回
・研修の主な内容 【タイトル】インフォームドコンセントを問い直す 【目的】臨床研究を実施する際に必要となる知識に関する教育	

【対象者】臨床研究を実施する者および支援する者
【研修時間】1時間30分
【研修内容】・ICとは
・臨床研究におけるIC
・ICに関する近年の議論
【実施日】令和2年9月15日

【タイトル】臨床研究法とどのように付き合うか～臨床研究の推進に向けて～
【目的】臨床研究を実施する際に必要となる知識に関する教育
【対象者】臨床研究を実施する者および支援する者
【研修時間】1時間30分
【研修内容】・臨床研究法のポイント
・CRBの視点と検討したい点
・臨床研究の推進に向けた富山大学の取組み
【実施日】令和2年10月1日

【タイトル】臨床研究におけるPPIの役割
【目的】臨床研究を実施する際に必要となる知識に関する教育
【対象者】臨床研究を実施する者および支援する者
【研修時間】1時間30分
【研修内容】・ささえあい医療人権COMLとは
・最近の相談者と意識と傾向
・臨床研究の課題
・患者中心　患者・市民参画
【実施日】令和3年2月5日

【タイトル】ゲノム指針と医学系指針の統合
【目的】臨床研究を実施する際に必要となる知識に関する教育
【対象者】臨床研究を実施する者および支援する者
【研修時間】1時間30分
【研修内容】・人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
【実施日】令和3年3月26日

（注）前年度の実績を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

当院は北海道の「最後の砦病院」として高度先進医療を実践するとともに、医育大学として初期臨床研修医のほか、各領域の後期研修医（専攻医）や専門医・指導医資格取得者、さらに国外の医師免許取得者（臨床修練医）に対する高度医療技術の維持・習得を目指し、様々な研修を行っています。教育資源としては、大学病院に特有の稀少症例や難治症例に加えて、北海道内の関連病院と連携して多様な臨床経験ができる様、各領域で研修体制を整備しています。このような体制のもと、全人的な診療能力を有する専門医を育成するとともに、リサーチマインドを涵養するため、大学院での研究活動を推奨し、新たな診断治療法の開発をすすめています。

平成30年度から新専門医制度が導入され、当院では総合診療科を除く18の基本領域において基幹施設として研修専門委員会を設置し、専門医制度整備指針に則って専門研修プログラムを取りまとめました。初期臨床研修修了後は、各科専門研修プログラムに沿って、当院および研修連携施設において臨床研修を行なって所定の修了要件を満たしますと、各基本領域の専門医資格試験を受験することが可能になります。尚、専門研修プログラムは、女性医師など専攻医の多彩な背景やニーズを考慮して多様な研修が行える様、配慮されています。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	７１７ 人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
豊嶋　崇徳	血液内科	教授	３６ 年	内科
真部　淳	小児科	教授	３７ 年	小児科
氏家　英之	皮膚科	教授	１９ 年	皮膚科
久住　一郎	精神科神経科	教授	３７ 年	精神科
平野　聡	消化器外科Ⅱ	教授	３３ 年	外科
岩崎　倫政	整形外科	教授	３３ 年	整形外科
渡利　英道	産婦人科	教授	３１ 年	産婦人科
石田　晋	眼科	教授	３０ 年	眼科
本間　明宏	耳鼻咽喉科	教授	３２ 年	耳鼻咽喉科
篠原　信雄	泌尿器科	教授	３７ 年	泌尿器科
藤村　幹	脳神経外科	教授	２７ 年	脳神経外科
工藤　與亮	放射線診断科	教授	２７ 年	放射線科
森本　裕二	麻酔科	教授	３５ 年	麻酔科
松野　吉宏	病理診断科	教授	３６ 年	病理
杉田　純一	検査・輸血部	講師	２１ 年	臨床検査（H31～R4年度受入休止）
早川　峰司	救急科	准教授	２４ 年	救急
山本　有平	形成外科	教授	３７ 年	形成外科
生駒　一憲	リハビリテーション科	教授	３８ 年	リハビリテーション

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）３　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
別紙のとおり
②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
別紙のとおり
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
無し

（注）1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

1　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

別紙

NO	主な内容		日程	参加人数
	研修名等	目的等		
1	2020年度　北海道大学病院初任職員研修　看護部オリエンテーション	看護部理念・看護者の責務・組織運営・人材育成・看護業務について理解する	年2回	203名
2	2020年度　新人看護職員技術研修（採血と検体の取り扱い）	看護技術を安全・安楽に提供できるために、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年8回	647名
3	1年目多重課題研修	看護技術を安全・安楽に提供できるために、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年2回	158名
4	HIV/AIDS研修会	看護師の知識、実践力向上	年1回	13名
5	RRS（Rapid Response System）の研修会	看護師の実践力向上、RRS周知	年13回	130名
6	「重症度、医療・看護必要度」指導者研修	2020年度診療報酬改定に伴う変更点の周知	年1回	32名
7	新任看護職員「重症度、医療・看護必要度」研修	研修受講が診療報酬の算定要件のため	年1回	83
8	夜間看護補助者研修①	学習・啓蒙目的	年4回	23名
9	2年目フィジカルアセスメント研修	患者の心身の状況と業務の関連をアセスメントし優先順位を判断できる	年1回	104名
10	3年目研修	3年目の果たす役割を明確にし、看護に対する自己啓発ができる	年2回	95名
11	第1回指導看護師養成研修ベーシックコース	部署内教育担当者の指導力向上を図る	年1回	11名
12	妊婦の呼吸状態のアセスメント	専門性のある看護の質の向上	年1回	15名
13	新生児のポジショニング	専門性のある看護の質の向上	年1回	9名
14	子どもの一時救命技術	専門性のある看護の質の向上	年1回	6名
15	子どもの状態変化の見方	専門性のある看護の質の向上	年1回	20名
16	看護助手研修	チーム医療における看護助手の役割を理解し、実践できる	年1回	130名
17	認知症看護実践力向上研修	認知症看護の実践力を高める	年1回	8名
18	プリセプター研修	経験から学ぶプロセスを理解し、プリセプティを支援できる	年1回	132名
19	令和2年度医事課医師事務作業補助員研修	初任者研修	年8回	13名
20	医師事務作業補助研修会	加算要件の指定研修	年1回	12名
21	保険診療に関する講演会	保険診療に対する理解を深めるため	年1回	662名
22	臨床研究開発センター・臨床研究監理部初任者研修会	新規入職者向け研修	年4回	32名
23	令和2年度臨床遺伝診療研修会	臨床遺伝診療に関する知識習得	年5回	85名
24	医療観察法病棟勤務者入職時オリエンテーション	学習・啓蒙目的	年3回	6名
25	新規感染対策マネージャー講習会①	学習・啓蒙目的	年1回	28名
26	院内学級第1回感染対策講習会	学習・啓蒙目的	年1回	12名
27	ひまわり分校教員研修	学習・啓蒙目的	年1回	6名
28	院内感染対策講演会 医療安全管理部・感染制御部合同講演会	学習・啓蒙目的	年2回	2799名
29	新入職者オリエンテーション	学習・啓蒙目的	年3回	5名
30	栄養管理部　食中毒予防講習会・演習	学習・啓蒙目的	年1回	143名
31	日臨技精度管理報告会の報告	医療知識の提供	年1回	57名
32	生体試料管理室の業務について	医療知識の提供	年1回	63名
33	HARTLEYでの検査結果確認方法	医療知識の提供	年1回	69名
34	2020年度新職員研修	新職員の教育	年1回	15名
35	「質量分析技術を用いた次世代臨床検査への取組み」	医療知識の提供	年1回	39名
36	「造血幹細胞移植後患者における尿沈渣検査の有用性」 「臍帯血移植後のドナー由来細胞にモノソミー７を認めたAMLの一症例」	医療知識の提供	年1回	45名

37	第8回サーベイランス是正処置の解説	検査・輸血部，病理部/病理診断科，生体試料管理室の全部員を対象とした，第8回サーベイランス指摘事項に対する是正処置の解説と周知，ISO15189の理解度向上のため。	年1回	87名
38	医療安全に関する講演会『採血・穿刺時の神経損傷予防」（DVD）	今年度より採血業務に従事している検査技師と採血室専任看護師を主な対象とし、採血時に起こりうる神経損傷およびその予防についての知識修得を目的とする。※医療安全管理部より一週間貸与されるDVDを使用するため、週内3回実施。	年1回	5名
39	予行会 「高度肺動脈弁逆流を伴うファロー四徴症心内修復術後遠隔期症例にみられた肺高血圧の発生機序に関する考察」	学会発表に向けた予行発表	年1回	41名
40	予行会 『尿蛋白定性検査とろう様円柱の関連」 「リポ蛋白-Yにより異常な反応タイムコースを示した症例解析」	学会発表に向けた予行発表	年1回	39名
41	2020年臨時内部監査報告会	2020臨時内部監査の解説	年1回	58名
42	第2回QMS勉強会	ISO15189の理解度向上のため	年1回	58名
43	予行会 「多種動物に反応する異好抗体により複数の試薬で偽陽性を呈した1症例」	学会発表に向けた予行発表	年1回	37名
44	FilmArray説明会	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	15名
45	『針刺し・切創事故発生時の対応』について 『化学物質管理規定：0-00-rul-16」	医療安全・感染対策 ISO15189の理解度向上のため	年1回	55名
46	予行会 「免疫チェックポイント阻害薬関連胃腸炎の1例」 「高度肥満例に対する肝脂肪化測定の試み」	学会発表に向けた予行発表	年1回	37名
47	2021年第1回QMS勉強会 尿定性検査の時間外検査実施について	ISO15189の理解度向上のため 検査技術に関する専門知識の向上	年1回	65名
48	時間外尿定性検査　補足事項	検査技術に関する専門知識の向上	年1回	26名
49	ＰＰＥ・スタンダードプリコーション学習会・演習	感染予防対策としての基礎知識を得る	年1回	30名
50	看護助手研修　（手指衛生　演習）	正しい手洗い方法の習得	年1回	11名
51	看護助手研修	チーム医療における看護助手の役割を理解できる	年1回	11名
52	材料室基礎学習会　洗浄編	医療器材洗浄方法の基礎知識を得る	年1回	24名
53	KYT学習会	作業状況での危険予知	年1回	29名
54	BLS学習会	救命救急についての基礎知識を知る	年1回	26名
55	材料室基礎学習会　組立て編	医療器材組立て方法の基礎知識を得る	年1回	28名
56	材料室基礎学習会　滅菌編	医療器材滅菌方法の基礎知識を得る	年1回	—
57	新任リスクマネジャー集合講習会	新任リスクマネジャーが知っておいてほしいこと、医療安全に関する知識と体制、役割	年1回	34名
58	医療機器に関する研修「輸液・ｼﾘﾝｼﾞﾎﾟﾝﾌﾟ編」	1. 輸液・シリンジポンプの操作に関する知識・技術を習熟する。 2. 部署内で輸液・シリンジポンプが安全に使用できているか評価を行い、インシデント軽減のための効果的な指導が展開できる。	年1回	30名
59	医薬品に関する講習会「危険薬の取り扱い」	医薬品に関する知識を習熟し、効果的な指導が展開できる。	年1回	30名
60	人工呼吸器安全管理講習会Ｉ基礎課程　1回目	人工呼吸器が稼働している部署の管理水準を向上すると共に、現場の人工呼吸器管理に関する指導的人材を育成する。	年1回	17名
61	専門領域に関する研修	人工呼吸器安全管理講習会	年5回	61名
62	医療安全の日講演会	北海道大学病院医療安全の日　講演会 『医療従事者を取り巻く法律問題について」	年1回	536名
63	UNIMO	新規導入機器	年27回	97名
64	ハミルトンC6/C1	新規導入機器	年18回	88名
65	UVDI360	新規導入機器	年7回	18名
66	除細動器	特定機能病院の定期研修	年6回	28名
67	Cardiosave	新規導入機器	年2回	18名
68	HAS-CFP	医療機器定期研修	年1回	3名
69	VISERA ELITEII	新規導入機器	年1回	3名
70	TR2020	試用に関連した講習会	年1回	6名
71	ACH-シグマ，アイノフロー	医療機器定期研修	年1回	10名
72	サーボi	医療機器定期研修	年1回	6名

73	HeartMateII, III	医療機器定期研修	年1回	4名
74	低圧持続吸引器	医療機器の研修	年1回	12名
75	HeartMateIIとIII	特定機能病院の定期研修	年1回	4名
76	特定機能病院の定期研修eラーニング	特定機能病院の定期研修	年1回	309名
77	北海道大学病院医療機器開発推進センター定期セミナー（Zoom webinar）	医療機器開発に関する知識習得	年2回	159名
78	令和2年度新規採用者多職種合同研修	職種間連携の必要性を理解し、組織の一員である医療職者として責任ある行動がとれる	年2回	425名
79	令和2年度北海道大学病院初任職員オリエンテーション	新たに本院に採用される医療職員及び事務職員に対して、本院職員として必要な基礎知識を習得させるために実施する	年1回	154名
80	令和２年度北海道大学病院臨床倫理研修	臨床において遭遇する倫理的問題の重要性を理解すること	年1回	713名
81	2020.年度　北大病院　PET 薬剤製造施設　教育訓練	PET 薬剤製造施設　教育訓練	年1回	－
82	医薬品に関する講習会	危険薬の取り扱い	年1回	16名
83	第8回小児緩和ケアKiC勉強会	こどもへの緩和薬物療法の基本	年1回	－
84	特定行為研修　演習：臨床薬理学　12回	異動後医師への危険薬取り扱い確認	年12回	2名
85	甲状腺癌に対する放射性ヨード内用療法	放射性ヨード内用療法に関する知識習得	年1回	10名
86	バセドウ病に対する放射性ヨード内用療法	放射性ヨード内用療法に関する知識習得	年1回	10名
87	神経芽腫に対するI-131 MIBG治療	神経芽腫に対するI-131 MIBG治療の知識習得	年1回	30名
88	パワハラ予防研修会	パワハラについて正しく理解する	年1回	9名
89	職員のための腰痛予防対策	腰痛予防におけるセルフケア方法についての知識習得	年1回	223名
90	看護職職場復帰支援プログラム	育児休業から職場復帰した看護職への支援体制についての情報提供	年1回	38名
91	メンタルヘルス研修会	心のセルフケアについての知識習得	年1回	157名
92	看護師を対象とした中国語講座	臨床現場に使用できる中国語　　に関する知識習得	年5回	30名
93	北海道大学病院産科学習会	－	年1回	－
94	新生児蘇生法講習会一般コース	－	年2回	12名
95	RDS学習会：中村医師	知識習得	年1回	5名
96	新生児蘇生実習：古瀬医師	知識、技術習得	年1回	6名
97	新生児蘇生法講習会一般コース	知識、技術習得	年2回	9名
98	ポジショニング・遊びの支援：古瀬医師、禰津認定看護師	知識習得	年1回	10名
99	早産児学習会：古瀬優太	知識習得	年1回	10名
100	TTTS学習会：本庄医師	知識習得	年1回	10名
101	院内歯科診療センター講演会「新型コロナウイルスについて生活・歯科診療での感染対策」	コロナ感染対策	年1回	80名
102	接遇・コミュニケーション技術研修	本院職員として接遇に関する知識を知り、日常業務に活用できる	年1回	－
103	第25回モーニングセミナー	－	年1回	－
104	第1回専門領域別研修会	学習・啓蒙目的	年1回	－
105	糖尿病ケアサポートチーム　ZOOMブラッシュアップ研修会	糖尿病治療薬の知識習得	年1回	30名
106	私のキャリアを考える	多様な背景をもつ職員一人一人が力を発揮できる方法・環境を考える	年1回	64名
107	ランチミーティング	ダイバーシティの観点から様々な背景の方が能力を発揮できる居心地のよい職場環境を考える	年1回	16名
108	2020年度 消化器内科Zoomｾﾐﾅｰ	様々な分野の知識習得	年1回	30名

2　業務の管理に関する研修の実施状況

NO	主な内容		日程	参加人数
	研修名	目的等		
1	新任看護師長オリエンテーション	看護師長の役割が理解できる	年1回	3名
2	新任副看護師長オリエンテーション	副看護師長の役割理解を理解し実践できる	年1回	10名

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1．計画　(2)．現状
管理責任者氏名	病院長　秋田　弘俊
管理担当者氏名	総務課長　医事課長　医療支援課長　薬剤部長

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	・病院日誌は総務課にて保管管理。 ・診療録を病院外に持ち出す際の取扱いについては，『北海道大学病院における個人情報管理に関するガイドライン』を定め，個人が特定できる情報については，個人情報保護管理区域外への一切の持出しを禁止し，相当程度に個人の特定が困難な情報については，保護管理者への届出を行った上でパスワードロックを用いた媒体でのみ持ち出しを許可している。 ・カルテは電子カルテと紙カルテの２種類を管理及び保管している。 ・平成22年に電子カルテを導入し，それ以前の紙カルテについては，10年間の保存期間を設けて診療録管理室にて保管している。また，紙媒体で生成される説明承諾書等については，スキャニングして電子カルテに取込み，かつ，原本も保管している。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療録管理室	
		看護記録	診療録管理室	
		検査所見記録	診療録管理室	
		エックス線写真	診療録管理室	
		紹介状	診療録管理室	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録管理室	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各課において適切に保管している。
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	臨床研究開発センター	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	
	規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課	適切に保管している。

		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療支援課	各課において適切に保管している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療支援課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療支援課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療支援課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療支援課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療支援課	各課において適切に保管している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療支援課	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療支援課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課	
		医療安全管理部門の設置状況	医療支援課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療支援課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療支援課	
		監査委員会の設置状況	医療支援課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療支援課	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療支援課	
		職員研修の実施状況	医療支援課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課、経営企画課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第 6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　(2) 現状
閲覧責任者氏名	総務課長　井川　恭輔，経営企画課長　三浦　順一
閲覧担当者氏名	総務係長　小倉　健二，経営企画係長　鈴木　雅樹
閲覧の求めに応じる場所	総務課事務室，経営企画課事務室
閲覧の手続の概要 利用者は必要に応じ，文書により閲覧責任者に閲覧を申し出，閲覧担当者は閲覧責任者に確認のうえ閲覧に応じる。	

（注）既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0　件
閲覧者別	医師	延　0　件
	歯科医師	延　0　件
	国	延　0　件
	地方公共団体	延　0　件

（注）特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の11第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有

・指針の主な内容：
1．本院の医療安全管理に関する基本的な考え方
2．医療に係る安全管理のための委員会等に関する組織の基本的事項
3．医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本的事項
4．医療機関における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針
5．医療事故等発生時の対応に関する基本方針
6．医療従事者と患者間の情報の共有に関する基本方針
7．患者等からの相談に関する基本方針
8．その他医療安全の推進のために必要な基本方針

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

・設置の有無（ 有 ）
・開催状況：年12回
・活動の主な内容：

1．医療安全管理上の問題が発生した場合の対応ならびに原因究明のための調査および分析に関すること
2．医療安全確保を目的とした改善のための方策の立案および実施に関すること
3．医療安全確保を目的とした方策の職員への周知に関すること
4．医療安全確保を目的とした方策の実施状況の把握および必要に応じた方策の見直しに関すること
5．医療安全に関わる職員の教育・研修に関すること
6．医療事故報告等に関する改善のための方策に関すること
7．その他医療事故等に関すること

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年３回

・研修の内容（すべて）：
1．医療安全・感染管理に関する講習会
「採血・穿刺時の神経損傷予防」
・受講方法：ＤＶＤ視聴（2019年度講演会の録画）
2．医療安全・感染管理に関する講習会（必修研修）
「指差し呼称」「COVID-19への対応」
「抗菌薬適正使用について（外来における急性気道感染症）」
・受講方法：エルゼビア社のe-ラーニングツール「Safety Plus」による受講
3．医療安全の日講演会
「医療従事者を取り巻く法律問題について」
・受講方法：対象者を制限した集合形式，ＤＶＤ視聴およびe-ラーニングによる受講

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

・医療機関内における事故報告等の整備　（　有　）

・その他の改善のための方策の主な内容：

1．報告書に伴う問題点の把握方法（各部署，安全管理部門の問題点の認識）

インシデント報告に関する分析からフィードバックまでの対応（職員への周知と再発防止）

1）専任リスクマネジャー（ＧＲＭ）が当該リスクマネジャー（ＲＭ）へ事実確認を行い，報告内容の監査・分析を行い，問題事例や有害事象の場合は，当該ＲＭとの検討，患者の影響度，患者への対応状況などを協議し対応している。

2）レベル３ｂの有害事象の場合は，当該部署のＲＭに当該部署として検討を行った結果と再発防止策について，事例報告書として詳細報告を要請し，事例報告書に基づき原因・起因を分析し，病院長に報告している。

3）レベル４，５の有害事象は，ＧＲＭが聞き取り・現場検証などの事実調査を行い，当該ＲＭ・関係者との事象の検討，患者の影響度，患者への対応などを協議している。ＧＲＭが作成した検証資料に基づき，病院長・医療安全管理部長・当該部署の責任者とＲＭにより原因検討を行い，重篤な事案の場合は医療事故対策特別部会で原因検討の上，病院の見解を明確にしている。

2．問題点の分析方法（各部署，安全管理部門の問題点の分析方法）

1）必要な事例については，専門分野の委員を指名し，ＷＧ，院内医療事故検討会を設置し，原因分析・再発防止策を作成する。

2）レベル３ａ以上の報告は，毎週月曜日にインシデントレポート検討・判定会において，レベル・過誤の判定と合併症の妥当性の検討を行うとともに，報告内容を分析し，原因と患者への影響度を検討し，医療事故報告制度への報告対象事例の判定を行っている。

3．改善策の検討方法

1）報告の全体的分析は，毎月と年間において実施し，発生レベル・報告状況・場面別に集計し，発生場面別や職種別の発生状況について定量的分析を行い「医療安全に関する報告集計」を作成し，各委員会に周知を図っている。また，病院運営会議においても報告し，周知を図っている。

2）各診療科・部署の安全管理を図るために，前年度の当該診療科・部署での報告について年間集計し，当該診療科・部署での優先的課題を分析し，年度前半で，診療科・部署ＲＭ等で対策を検討し，年度末に再度，今年度の当該診療科・部署での報告について集計し，優先的課題の評価を実施し，次年度に向けて継続事項を検討している。

3）医薬品・医療機器に関する事象については，関係専門委員会で再発防止策を検討し，システム改善・教育体制などの企画を検討している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有

・指針の主な内容：
北海道大学院内感染指針は以下の項目から成っている。
1 院内感染対策に関する基本的な考え方
2 院内感染対策に関する管理組織機構
（1）院内感染対策委員会
（2）院内感染対策特別部会
（3）感染制御部
（4）感染防止対策チーム
（5）感染対策マネージャー連絡会議
3 職員研修に関する基本方針
4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針
5 アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針
6 患者等への情報提供と説明に関する基本方針
7 その他院内感染対策の推進のために基本方針

② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年１２回

・活動の主な内容：
・院内感染防止対策の検討及び推進
・院内感染防止の対応及び原因究明
・院内感染等の情報収集及び分析
・院内感染防止等に関する職員の教育・研修

③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年２５回

・研修の内容（すべて）：
・医科研修医オリエンテーション：「感染対策研修」×２回
・新規感染対策マネージャー講習会：「感染対策マネージャーの役割」
・第1回院内感染対策講演会（医療安全管理部と共催）：DVDにて各部署で視聴
「COVID-19への対応」「抗菌薬適正使用について」
・第2回院内感染対策講演会（医療安全管理部と共催）：eラーニング
「指差し呼称」「COVID-19への対応」「抗菌薬適正使用について」
・専門領域別研修会：「標準予防策と耐性菌検出患者の感染対策」「血管内留置カテーテル管理」
・新入職員オリエンテーション：「院内感染予防」×３回
・栄養管理部食中毒予防講習会・演習：「食中毒防止のための手洗い」
・医療観察法病棟勤務者入職時オリエンテーション：「北大病院の感染管理」×３回
・夜間看護補助者研修：「夜間看護補助者研修」×４回
・eラーニング
「COVID-19への対応」
「抗菌薬適正使用について(外来における急性気道感染症)」
「インフルエンザ(2020年度版)」
「感染性胃腸炎(2020年度版)」
「検体採取(2020年度版)」
「手指衛生、PPE、咳エチケット(2020年度版)」
「標準予防策・感染性経路別予防策(2020年度版)」

「WHO手指衛生(2020年度版)」
・部署内研修

④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・病院における発生状況の報告等の整備　　（　有　）
・「感染症のアウトブレイク発生に伴う保健所への報告基準」を制定し，保健所や大学内の報告に係る基準及び方法等について整備済みである。（平成２３年６月１７日医政指発第１号に基づき，平成２３年８月２５日病院執行会議において承認）

・その他の改善のための方策の主な内容：
・感染防止対策チームを設置して，院内感染状況，抗菌薬の適正使用，職員の感染防止策等の実施状況の把握と指導を行っている。
・耐性菌サーベイランス，COVID-19等，感染症法に基づく院内感染症発生状況の迅速な把握と対応を行っている。
・加算２を算定する各連携医療機関とのカンファレンスおよび加算１の連携医療施設と加算２の連携医療施設（各加算１連携医療施設の加算２医療連携施設を含む）合同カンファレンスの開催等により市内の医療機関との連携を図っている。
・令和３年１月から，感染制御部専任の医師（助教）１名を新たに配属した。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年６回

・研修の主な内容：

１．研修医オリエンテーション「処方全般」
　　開催回数：1回（2020年4月資料配布のみ）、対象：医師、歯科医師

２．新任職員研修「薬の知識とリスクマネジメント」
　　開催回数：1回（2020年4月資料配布のみ）、対象：医師以外全職種

３．医薬品に関する講習会「危険薬の取扱い」
　　開催回数：2回（2020年8月21日、8月28日）、対象：看護師

４．異動後医師研修「危険性の高い薬剤の取り扱い」
　　開催回数：2回（2020年4月、10月オンデマンド）、対象：医師

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・手順書の作成　　（ 有 ）
・手順書の内訳に基づく業務の主な内容：

医薬品安全使用に関する手順書

１）医療安全上、注意を要する薬剤リスト
　（１） 特に安全管理が必要なリスト
　（２） 配合注意・投与ルートで注意を要する注射薬
　（３） 誤認に注意薬剤

２）指示・伝達ルール
　（１） 指示・伝達ルール
　（２） 口頭指示は原則禁止

３）内服薬に関する管理基準
　（１） 内服薬管理基準
　（２） 薬剤管理指導業務手順書
　（３） 入院患者の持参薬確認業務手順書
　（４） 誤調剤に対する調剤室対応手順

４）注射薬に関する管理基準
　（１） 注射業務管理基準
　（２） 注射薬混合調製（ミキシング）手順書

５）危険性の高い薬剤に関する手順書
　（１） 危険性の高い薬剤の取扱い手順書
　（２） カリウム注射剤取り扱いマニュアル
　（３） アナフィラキシーショックへの対応
　（４） 抗凝固・抗血小板療法施行時における出血性合併症および処置・手術時の対応

６）抗がん薬に関する手順書
　（１） 院内がん化学療法要項
　（２） がん化学療法実施運用手順書
　（３） 抗がん薬被爆防止に関するマニュアル

（４） 院内におけるがん化学療法の安全性に関する取り決め
（５） 血管外漏出およびアレルギー反応発生時の対応について
７）医療安全情報管理
（１） 医療安全性情報管理体制
（２） 薬剤部における医薬品情報管理マニュアル
８）医薬品管理
（１） 病棟における注射剤管理業務手順書
（２） 病棟における薬剤業務基準
（３） 麻薬管理取扱い手順
９）インスリン療法マニュアル
（１） インスリン療法マニュアル
（２） インスリンラインナップ
（３） 各製剤の使い方
（４） 参考資料
１０）医薬品の採用に関する手順書
１１）他施設との連携に関する手順書

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・医薬品に係る情報の収集の整備　　（ 有 ）
・未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：
１）シドフォビル；造血幹細胞移植後あるいは免疫抑制後に発症した重症アデノウイルス感染症
２）I-131 MIBG注射液；難治性神経内分泌腫瘍

・その他の改善のための方策の主な内容：
・医薬品の情報管理体制として、薬剤部における医薬品情報管理手順を作成し、それに基づき、日本医療機能評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」として、医薬品医療機器総合機構（PMDA）からの医療安全情報は「PMDA医療安全情報」「緊急安全性情報」「安全性速報」「PMDAから医薬品適正使用のお願い」としてメールにより診療科・部門に提供している。また、関係機関からの医薬品に関する情報、新聞報道からの事故情報などは「緊急情報提供と点検のお願い」にて情報提供とともに現場での業務点検を依頼している。
・医薬品に関するインシデント集計・分析結果により、専門委員会やワーキング等で医薬品に関するインシデント防止対策や講習会内容の検討を行っている。
・未承認薬に関して、未承認新規医薬品等管理部において当院で使用したことのない医薬品または高度管理医療機器であって「医薬品医療機器法」による承認または認証を受けていないものの提供に関する申請の受理および提供の可否について審査する体制としている。
・適応外使用に関しては、薬剤部においては調剤時に確認・記録を実施している。また、医薬品適応外使用（禁忌含む）の把握と申請の徹底を図るため、医薬品適正使用ワーキングを通じて申請状況を親委員会である医薬品安全管理体制専門委員会に諮ることとなっている。また、薬剤部においては適応外ならびに禁忌薬使用状況を疑義照会履歴等で定期的に同委員会に報告し、問題がある場合は適宜、委員会から指導を行う体制としている。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	有
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年８回

・研修の主な内容：
放射線部
・診療用高エネルギー放射線発生装置　(2020/4/2, 12/22)
・診療用放射線照射装置（2020/9/8, 9/24, 12/24）
・陽子線治療装置（2020/4/17, 9/1, 12/23）

③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・医療機器に係る計画の策定　　（　有　）
・機器ごとの保守点検の主な内容：

【放射線部管理機器】
放射線治療機器における、①始業点検、②２回/月以上の出力線量測定、③３ヶ月及び６ヶ月毎に放射線特性及び幾何学的点検、④漏洩線量等の放射線管理に関する測定を実施している。
他に製造メーカーと保守契約を結び年間4回の定期メンテナンスを実施している。

④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・医療機器に係る情報の収集の整備　　（　有　）
・未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし（放射線）

・その他の改善のための方策の主な内容：
月に1回定例で放射線治療品質管理会議を開催。放射線科治療医、医学物理士、診療放射線技師で情報共有を行っている。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有

・責任者の資格（　医師　・　歯科医師　）
・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況

医療安全管理責任者として，副病院長（医療安全担当）（医師）を配置し，医療安全管理部門，医療安全管理委員会，医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。

② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（５名）

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況
薬剤部において，医薬品情報の整理，周知及び周知状況の確認の徹底並びに適応外，禁忌等の処方に係る確認等については，薬剤師を指名して同様の業務を実施している。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況
薬剤部において，医薬品情報の整理，周知及び周知状況の確認の徹底並びに適応外，禁忌等の処方に係る確認等については，薬剤師を指名して同様の業務を実施している。

・担当者の指名の有無（有）

・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部　，職種　薬剤師（室長））	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　（　有　）
・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：
インフォームド・コンセントについては，院内マニュアルに沿って実施し，診療録管理室が現状のモニタリングを行い，指導等を行っている。また，説明する機会も増えていることから，関連部門（各診療科・看護部）・医療安全管理部と協議してマニュアルの改正等（要項を含む）があれば，職員に周知する。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：
診療録の記載内容の確認について，毎年，各部署の診療録点検を実施し指導している。
また，点検結果をリスクマネジャー連絡会議において報告し，各部署へ周知し，適切に診療録等の管理が行われるようにしている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有

・所属職員：専従（４）名、専任（　）名、兼任（６）名
　うち医師：専従（１）名、専任（　）名、兼任（２）名
　うち薬剤師：専従（１）名、専任（　）名、兼任（１）名
　うち看護師：専従（２）名、専任（　）名、兼任（　）名
（注）報告書を提出する年度の 10 月１日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：
　１　医療事故及びインシデント（以下「医療事故等」という。）報告の受理及び分析に関すること。
　２　医療安全管理委員会の運営並びにその記録等の作成及び保存，その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。
　３　リスクマネジャー連絡会議の運営並びにその記録等の作成及び保存，その他リスクマネジャー連絡会議の庶務に関すること。
　４　医療安全に関する教育及び研修に関すること。
　５　医療現場からの医療事故等の相談に関すること。
　６　医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載内容の確認及び指導に関すること。
　７　医療事故等の発生時における患者又はその家族への対応状況の確認及び必要な指導に関すること。
　８　医療事故等に対する原因究明の実施状況確認及び必要な指導に関すること。
　９　医療安全に係る連絡調整に関すること。
　１０　医療安全の確保に資する診療の状況の把握に関すること。
　１１　職員の医療安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。
　１２　その他医療安全対策の推進に関すること。

※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（１２件）、及び許可件数（１２件）
・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（　有　）
・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（　有　）

・活動の主な内容：
　１　高難度新規医療技術の提供に関する実施申請の受理及び提供の可否について審査すること。
　２　高難度新規医療技術の実施における手順等の遵守状況の確認に関すること。
　３　その他高難度新規医療技術に関すること。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（　有　）
・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（　有　）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（１７件）、及び許可件数（０件）
・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（　有　）
・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（　有　）

・活動の主な内容：
1　未承認新規医薬品等の提供に関する申請の受理及び提供の可否について審査すること。
2　未承認新規医薬品等の提供に関する実施状況の確認に関すること。
3　その他未承認新規医薬品等に関すること。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（　有　）
・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無　（　有　）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年２５１件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年９５件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
1　医療安全管理上の問題が発生した場合の対応並びに原因究明のための調査及び分析に関すること。
2　医療安全確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施に関すること。
3　医療安全確保を目的とした方策の職員への周知に関すること。
4　医療安全確保を目的とした方策の実施状況の把握及び必要に応じた方策の見直しに関すること。
5　医療安全に関わる職員の教育・研修に関すること。
6　医療事故報告等に関する改善のための方策に関すること。
7　その他医療事故等に関すること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（　有（病院名：旭川医科大学病院））
・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（　有（病院名：札幌医科大学附属病院））

・技術的助言の実施状況
※自己チェックシートによる書面審査を実施，事故チェックシートへの記載内容についての質問および回答。
＜自己チェックシート（１）医療安全＞
１．Ⅴ　COVID－19の状況に関するディスカッションの重点項目の未記載の理由
回答：現在，研修については対応を検討中であり，会議についてもメール開催と広い会場での開催で対応しており，継続したいと考える取り組みを行っていない。研修については，外部ツールを利用したe-ラーニングの導入（契約）を検討中。

２．薬剤師１人目，Ⅳ-4-②-ア　担当している業務について

①5 インシデント事例などの調査・分析・対策立案（薬剤に関する事例）について，薬剤に関するインシデント事例に対して，医療安全専従の薬剤師であるからこそできる医療安全活動・業務に何があるか。力を入れている活動について具体的に知りたい

回答：具体的に例あげると，医薬品の経管投与時の閉塞事例について
閉塞した際の医薬品の経管投与の可否の判断，溶解した際の水の容量などに問題がなかったかを確認。多くの事例で水の容量不足があったが，経管投与不適切な薬剤もあったため，病棟薬剤師の活用も提言。その他は長期留置によるものが多かった。その都度，ルール遵守と留置期間の確認を行った。検証までは行っていないが，閉塞事例は減少傾向である。
また，提言３のアナフィラキシーショックへの対応整備として，エピペンの院内配置について行動し，2019 年４月からフロア毎に１本を配置，4～5 月に院内での使用説明会を開催して運用を開始している。

②専従薬剤師として，医師への対応で苦慮されていることはどのようなことか。どのように解決しようとされているか

回答：医師への対応で苦慮していることは，ほとんどない。対応に困りそうな案件は，専従医師に依頼している。敢えて挙げるのであれば，未承認薬や適応外使用医薬品などの相談の際に，医療安全管理部，特に専従薬剤師に頼り過ぎの傾向があるため，診療科で十分に検討した上で自ら資料を収集し必要なデータを揃えて申請するように依頼している。

＜自己チェックシート（Ⅱ）医薬品等＞

１．Ⅱ－２－④　４薬学的知見に基づく薬剤師からの提案の具体的な内容について

回答：癌性心膜炎に対するカルボプラチンの心嚢腔への注入に対して，irritant drug であるカルボプラチンを使用するより，筋肉内注射や皮下注射の適応のあるブレオマイシンの使用を提案。肺癌診療ガイドラインの記載には，心膜癒着術を行うよう弱く推奨とあり，カルボプラチンもブレオマイシンも有効事例が報告されていたが，文献から対象症例数（10vs79）と OS 延長傾向（69 日 vs119 日）からもブレオマイシンの使用を提案し，最終的にブレオマイシンで申請され，使用可となった。

２．Ⅳ－５　未承認新規医薬品などの担当部門・評価委員会の申請・審査の対象禁忌使用，あるいは適応外使用に該当する医薬品に対する対応はどのように行われているか

回答：十分なエビデンスがある場合は，医薬品安全管理体制専門委員会の下部組織にあたる医薬品適正使用に関する WG で検討し対応。使用条件や同意説明書の使用の有無なども含めて，問題がないか確認。エビデンスが十分でない場合かつ他に治療法がない場合は，病院倫理委員会で対応。

＜自己チェックシート（Ⅲ）高難度＞

１．Ⅱ－１－２担当部門の構成員のうち手術を行う部門に所属している医師は，どの部署の医師か

回答：北海道大学病院手術部

２．Ⅱ－４　よろしければ，手順書の閲覧を希望します

回答：別添ファイル参照（手順書）

３．Ⅱ－５－①　一部の診療科に体制を確認する手順，ルール又は仕組みがあると回答されている具体的な内容について知りたい

回答：Ａ診療科（内科系）
教授総回診や医局検討会の際に，各診療グループから，診療体制の変更等の事項が報告され，それによって体制を確認している。
：Ｂ診療科（外科系）
全症例において，術前カンファレンスの際に，適切な体制が確保されているか確認している。

４．Ⅲ－１－①と②　令和元年度の評価委員会【8 回】及び担当部門【3 回】の開催回数の違いの

理由

回答：当院においての高難度技術の申請から実施許可までの流れは以下のとおり。

① 診療科からの申請

② 担当部門において「難度」及び「新規性」を確認のうえ，評価委員会への附議を兼用（担当部門委員会１回目）

③ 評価委員会において，審議（医療評価委員会）

④ 評価委員会の審議結果を踏まえ，実施の可否を検討（担当部門委員会２回目）

上記のように，１件の技術申請に対し，２回の担当部門委員会及び１回の評価委員会が開催されるため，上述の件数の差異が生じている。

5．Ⅲ－4，5　令和元年度に診療科から担当部門に申請された総「技術」件数【3件】と評価委員会で審査された総「技術」件数【4件】の違いの理由

回答：過年度に申請された技術１件について，令和元年度に評価委員会にて審査があったため。

6．Ⅳ－4　全件確認している，との回答である。　内保連が作成した難易度の基準を使用するという情報をどのように得て，いつから確認を開始したのか

回答：診療科からの申請書の欄に，外保連試案の掲載の有無及び難易度を記入する欄を設けており，それに基づいて確認していることから，全件確認していると回答している。従前の申請において，内保連の難易度に触れている申請はないため，これに基づく確認はしておらず，また，高難度の判断の際に，内保連の難易度基準も使用する旨のルールは定めていない。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談室を設置し，医療支援課が対応している。医療支援課長が室長となり，業務を総括している。窓口の周知方法は，外来ホールにポスターを掲示し周知している。なお，医療安全に係る情報は，ＧＲＭに連絡し，調査を行う。また，医療支援課と患者相談窓口・医療安全管理部合同会議を月１回開催し，情報を共有している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

1．医療安全・感染管理に関する講習会「採血・穿刺時の神経損傷予防」

2．医療安全・感染管理に関する講習会「指差し呼称」「COVID-19への対応」「抗菌薬適正使用について（外来における急性気道感染症）」

3．医療安全の日講演会「医療従事者を取り巻く法律問題について」

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：2021.2.14　受講済（継続）

医療安全管理責任者：2020.11.11　受講済（継続）

医薬品安全管理責任者：2020.12.16　受講済（継続）

医療機器安全管理責任者：2020.12.16　受講済（継続）

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2018年に日本医療評価機構が実施する病院機能評価（機能種別版評価項目　一般病院3 3rdG:V.2.0）の訪問審査のうえ、病院機能評価の認証を受けている。病院機能評価に係る改善審査及び期中の確認について書面による受審。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

日本医療評価機構を通じ公表。

・評価を踏まえ講じた措置

期中の確認について自己評価書作成。
審査結果報告書における評価Ｃの項目に対する改善の取組報告書作成。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第７条の２の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・基準の主な内容 医療法第10条に規定する者であって，人格が高潔で，学識に優れ，かつ，組織管理能力等の病院を管理する上で必要な資質及び能力並びに医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有すること。 ・基準に係る内部規程の公表の有無（　有　） ・公表の方法 本学ホームページで公表。

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	無

・選考を実施した場合、委員会の設置の有無（　有・無　）
・選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（　有・無　）
・選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（　有・無　）
・公表の方法

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 （〇を付す）	選定理由	特別の 関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有

・合議体の主要な審議内容

1. 医療安全管理上の問題が発生した場合の対応並びに原因究明のための調査及び分析に関すること。
2. 医療安全確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施に関すること。
3. 医療安全確保を目的とした方策の職員への周知に関すること。
4. 医療安全確保を目的とした方策の実施状況の把握及び必要に応じた方策の見直しに関すること。
5. 医療安全に関わる職員の教育・研修に関すること。
6. 医療事故報告等に関する改善のための方策に関すること。
7. その他医療事故等に関すること。

・審議の概要の従業者への周知状況

1. 病院運営会議
2. リスクマネジャー連絡会議

・合議体に係る内部規程の公表の有無（　無　）

・公表の方法

・外部有識者からの意見聴取の有無（　無　）

合議体の委員名簿

氏名	委員長（○を付す）	職種	役職
秋　田　弘　俊	○	医師	病院長
平　野　　聡		医師	副病院長／臨床研修センター長
北　川　善　政		歯科医師	副病院長（歯科担当）
南須原　康　行		医師	医療安全管理責任者／医療安全管理部長 ゼネラルリスクマネジャー（医師）
根　岸　　淳		歯科医師	医療安全管理部副部長 ゼネラルリスクマネジャー（歯科医師）
藤　原　　晶		医師	ゼネラルリスクマネジャー（医師）
本　田　秀　子		看護師	ゼネラルリスクマネジャー（看護師長）
古　藤　幸　子		看護師	ゼネラルリスクマネジャー（看護師長）
沖　　洋　充		薬剤師	ゼネラルリスクマネジャー（薬剤師）
石　田　　晋		医師	手術部長

武　冨　紹　信		医師	物流管理センター部長
遠　藤　　晃		教員	医療情報企画部長
豊　嶋　崇　徳		医師	国際医療部長
本　間　明　宏		医師	ＭＥ機器管理センター部長
菅　原　　満		薬剤師	薬剤部長／未承認新規医薬品等管理部長
髙　橋　久美子		看護師	看護部長
澁　谷　　斉		臨床検査技師	医療技術部長
石　黒　信　久		医師	感染制御部長
篠　原　信　雄		医師	高難度新規医療技術管理部長
佐　藤　典　宏		医師	臨床研究開発センター長
深　澤　博　昭		事務	事務部長
渡　利　英　道		医師	教授（産科，婦人科）

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- **管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（　無　）**
- **公表の方法**

- **規程の主な内容**

病院長は、副病院長を総長へ推薦、病院長補佐を指名、診療科長、中央診療施設等の長を命ずる権限を有している。

病院執行会議、病院経営委員会、病院教員人事委員会等病院の管理運営・経営・人事に係る重要な会議において議長となり議決している。

- **管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割**

副病院長（総務担当）は、病院全体の運営にかかる連絡調整を行い、副病院長（医科担当）は医科診療科の総括及び他部署との連絡調整を行い、副病院長（歯科担当）は、歯科診療科の総括及び他部署との連絡調整を行い、副病院長（医療安全担当）は、医療安全にかかる総括及び他部署との連絡調整を行い、副病院長（看護業務担当）は、看護部の総括及び他部署との連絡調整を行っている。

また、病院長補佐（再開発担当、歯科担当、企画、経営・財務担当、経営戦略担当、経営・事務担当、国際医療、国際交流、研究担当、臨床研究中核病院、産学官連携、研究支援担当、広報、地域連携、100周年記念事業担当、薬剤部担当、医療技術部担当）は、病院長が特に命じた事項について、企画及び立案並びに病院に各部署間の連絡調整を行っている。

- **病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況**

本院職員のうち、長年職務に精通し、経験豊富な者から人選する。

研修は組織管理、働き方改革に関するシンポジウム等に参加している。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有

・**監査委員会の開催状況**：年２回
・**活動の主な内容**：
1. 北海道大学病院の医療に係る安全管理の業務執行の状況について、北海道大学病院長等から報告を求め，又は必要に応じて確認を実施すること。
2. 北海道大学病院の医療に係る安全管理について、北海道大学総長及び病院長に報告し、必要に応じて是正措置を講じるよう意見を述べること。
3. 前２号に掲げる業務について、その結果を公表すること。

・**監査委員会の業務実施結果の公表の有無**（　有　）
・**委員名簿の公表の有無**（　有　）
・**委員の選定理由の公表の有無**（　有　）
・**監査委員会に係る内部規程の公表の有無**（　有　）
・**公表の方法**：北海道大学ホームページ

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
橋本　暁佳	札幌医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
萩原　正子	小樽市立病院		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
坂本　大蔵	ほくと総合法律事務所	○	法律に関する識見を有する者	無	1
高田　　久	北海道信用保証協会		医療を受ける者	無	2
生駒　一憲	北海道大学病院		医療を提供する者	有	3

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容 既存の大学規程や内部規程で対応。 ・専門部署の設置の有無（　無　） ・内部規程の整備の有無（　有　） ・内部規程の公表の有無（　有　） ・公表の方法 本院ホームページ上に掲載

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

・病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況
平成30年10月に「国立大学法人北海道大学病院管理運営協議会」を設置し、
年１回、特定機能病院としての管理・運営状況について調査・審議している。

なお、構成員は以下のとおりである。
(1)　医療に係る識見を有する者　若干名
(2)　法律に関する識見を有する者　若干名
(3)　病院の管理及び運営に関する識見を有する者　若干名
(4)　その他総長が必要と認めた者

・会議体の実施状況（　年１回　）

・会議体への管理者の参画の有無および回数（　有　）（　年１回　）

・会議体に係る内部規程の公表の有無（　有　）

・公表の方法
本学ホームページ上（全学規則集）に掲載

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：　国立大学法人北海道大学病院管理運営協議会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長（○を付す）	利害関係
中　村　　隆	札幌総合法律事務所	○	無
長　瀬　　清	北海道医師会長		無
土　橋　和　文	札幌医科大学附属病院長		無
吉　見　　宏	北海道大学理事・副学長		無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（　有　）
・通報件数（年２６３件）※令和２年度実績
・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（　有　）
・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（　有　）
・周知の方法 病院ホームページに掲載のほか、各病棟フロアに患者相談室のポスターを掲示

（様式第７）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	有 ・ 無

・情報発信の方法、内容等の概要

広報誌及びウェブサイトにて、本院の理念と目標、地域の中核としての役割、先進的な医療に関する情報提供を行っている。

2　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有 ・ 無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

診療科間の連携についてのルールが整備されており、他診療科への受診依頼、依頼先においての検査結果等の患者情報が電子カルテを通して共有されている。患者の情報が不足している場合は補足説明を電話で直接行う等により緊密かつ緊急に連携できる体制を整えている。

(様式第 9)

海 大 第 7 2 4 号
令和３年１０月２８日

厚生労働大臣　　殿

北海道大学総長　　寳　金　清　博

北海道大学病院に関する変更について

標記について、医療法施行令（昭和 23 年政令第 326 号）第 4 条の 3 の規定に基づき、以下のとおり変更があったので届け出ます。

名　　称
・変更があった事項及びその内容 開設者 　変更前：名和　豊春 　変更後：寳金　清博 診療科名 　変更前：神経内科 　変更後：脳神経内科

(注) 1　必要がある場合は続紙に記載して添付すること。
2　開設者名の記入箇所及び「名称」欄には、変更があった場合は、変更後のものを記入すること。
3　「変更があった事項及びその内容」欄には、変更があった事項を明らかにした上で、その事項についての変更のみを、変更前と変更後の内容を区別して下記により記入すること。
① 開設者の氏名及び名称の変更については、変更前のもののみを記載することとしても差支えない。
② 診療科名の変更の場合は、医療法施行規則第 6 条の 4 に掲げる診療科名をそれ以外の診療科名よりも先に記入し、削除又は追加された診療科名に下線を付すこと。
③ 集中治療室、無菌病室等又は医薬品情報管理室の構造設備の変更については、承認申請書に記載することとされている事項に係る変更のみを変更前と変更後のそれぞれを区別して記入すること。なお、集中治療室、無菌病室等又は医薬品情報管理室を有しなくなった場合にはその旨を記載し、固定式の無菌病室や専用の医薬品情報管理室を新たに設けたなどの場合には承認申請書に記載することとされているものと同じ事項について記入すること。
(記載例：50 床増床し、集中治療室にペースメーカーを導入した場合)
病床数
変更前：550 床
変更後：600 床
集中治療室に備える機器
変更前：人工呼吸装置、心電計、心細動除去装置
変更後：人工呼吸装置、心電計、心細動除去装置、ペースメーカー